

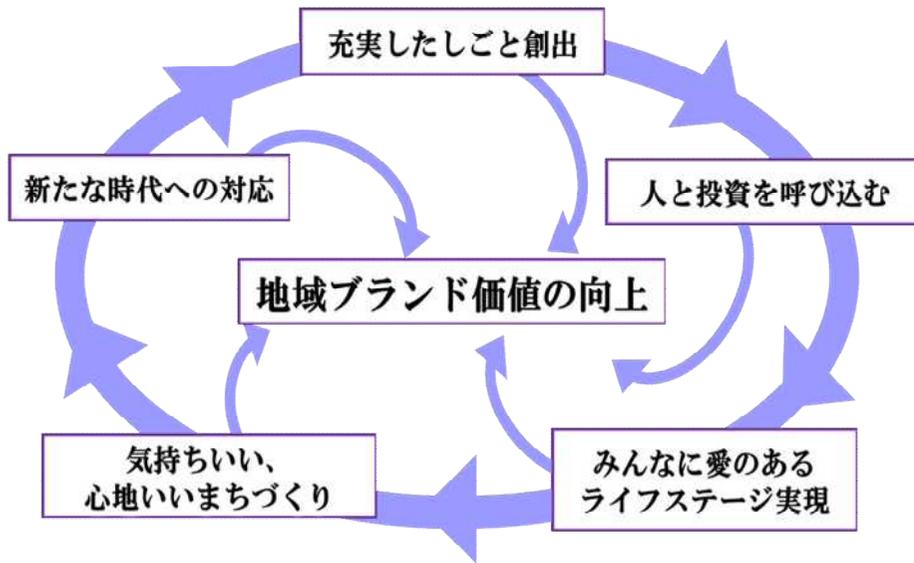
第六次諏訪市総合計画

令和5年度 効果検証

【目次】

- ・ 実現すべき重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
- ・ 重点指標の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
- ・ 重点目標効果検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- ・ 基本方針効果検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.17
- ・ 【参考】基本方針KPI一覧

実現すべき重点目標



No.	実現すべき重点目標		地域ブランド 価値の向上	充実した しごと創出	人と投資を 呼び込む	みんなに愛のある ライフステージ実現	気持ちいい、 心地いいまちづくり	新たな時代への 対応
	基本方針							
1	子ども・子育て							
2	地域福祉							
3	障がい者福祉							
4	高齢者福祉							
5	社会保障制度							
6	健康づくり							
7	地域医療							
8	学校教育							○
9	地域教育							
10	生涯学習・文化芸術							
11	スポーツ振興							
12	文化財保護・活用							
13	環境保全				○	○		
14	森林保全						○	○
15	環境衛生						○	○
16	道路整備・計画					○	○	
17	都市空間				○		○	
18	上水道・下水道					○	○	
19	温泉				○		○	
20	地域公共交通					○	○	
21	工業			○	○			
22	観光			○	○			
23	商業・流通			○	○			
24	農林漁業			○			○	
25	雇用・スタートアップ支援			○	○			
26	防災・危機管理						○	○
27	安心生活					○	○	
28	まちの賑わい創出				○		○	
29	多様な市民の参画				○		○	
30	持続可能な地域					○	○	
31	健全財政						○	○
32	スマート化						○	○
33	広域連携						○	○

全ての分野の魅力向上により成り立つ目標

重点指標の状況

重点指標項目	令和5年度目標値	令和5年度実績値	達成率
諏訪市の魅力度	138位	155位	98.1%
市内事業所課税標準額平均	2,149千円/者	2,833千円/者	131.8%
平均社会増減数(過去5年間)	△55.7人	△59.6人	93.5%
合計特殊出生率	1.82	※令和6年9月頃発表	—
諏訪市への居留意欲度	119位	195位	91.8%
市民満足度調査平均満足度	3.15	3.11	98.7%

※「諏訪市の魅力度」及び「諏訪市への居留意欲度」は、「地域ブランド調査（株式会社ブランド総合研究所）」より把握。調査対象は47都道府県を含む1047地域。

◎「魅力度」について、調査対象の全市区町村(n=1,000)の中では上位であるものの、前年度実績値及び目標値を下回るものとなった。当該順位は、市民以外の多くの人の評価も反映しながら、諏訪市の認知度、イメージ、居留意欲度などを多角的にスコア化するものであり、順位アップのためには総合的な取組が必要となる。

◎「市内事業所課税標準額平均」は、目標値を大きく上回る結果となった。目標値が、コロナ禍の数値を基準としているため、社会情勢や経済状況など今後の動向を注視しながら、来年度以降の達成状況を分析していく必要がある。

◎「平均社会増減数」は、令和3年の社会減数が大きかったため目標値を割ったが、令和2年及び令和4年は社会増となっており、今後も人口動態を注視していく必要がある。

重点目標効果検証

重点目標	①	地域ブランド価値の向上
------	---	-------------

●各分野の現状・課題・今後の取組

福祉	<p>社会経済や地域福祉を取り巻く環境の変化に伴い、市民が抱える福祉課題は、複雑・多様化している。また、コロナ禍を経て、人々のつながりや関係性の希薄化、地域における助け合い機能の脆弱化が進んでいる。少子高齢社会を担う福祉・医療分野における人材不足も喫緊の課題である。</p> <p>令和5年度には、本市における保健福祉領域の上位計画となる「第5期諏訪市地域福祉計画（令和6年度～令和10年度）」を策定した。本計画の推進により、年齢、性別、環境、障がいの有無等に関わらず、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりを推進する。</p>
学習	<p>コミュニティスクールなどを通じ地域との結びつきを強化し、子どもの豊かな学びを促進するとともに、市民の地域社会での学びや文化芸術への積極的な参画を支援し、地域課題解決や地域力の向上に貢献する仕組みを確立することが求められている。</p> <p>多様な教育ニーズに柔軟に対応し、地域の魅力と資源を活かした教育環境を築くことが必要となる。</p>
環境	<p>自然環境の保護と再生、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組及び循環型社会の推進を図るための事業を展開し、持続可能なまちづくりを進めている。</p> <p>市民参加による自然環境保全を行い、更なる意識醸成を目指すほか、再生可能エネルギーの導入促進やプラスチック資源循環の強化を図る。また、森林保全については、森林整備の計画的推進に積極的に取り組む。</p>
インフラ	<p>「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を実現するため、官民が相互に連携しながら持続的なまちづくり活動を実施しているほか、諏訪湖周辺へのアクセス性・利便性向上によって、諏訪湖周サイクリングロード・上諏訪温泉・美術館などの観光資源の有機的連携による観光振興や混雑を回避した輸送ルート確立による産業発展に寄与することを目指し、スマートICの供用開始に向け事業を実施している。また、低廉な上水道料金の実現にも注力している。</p> <p>上諏訪駅周辺整備に係る事業展開を更に推進するほか、空き家対策や大規模災害への備えとして橋梁の老朽化修繕等に取り組み質の高いインフラ整備を目指す。また、AIオンデマンド交通の導入促進を通じて、住民の生活利便性と地域経済の振興を図る。</p>
産業	<p>地政学的影響や円安による原材料高騰などの課題に直面しつつも、新技術開発や観光振興に向けた支援を強化している。また、花火大会や各種コンテンツを通じた観光振興と地域活性化を目指し、地域観光資源を活かしたブランド化を進めている。</p> <p>中小企業の人件費増加と競争力強化の両立が大きな課題となっており経営基盤強化が重要となる。知的財産権の活用と共に、SDGsや脱炭素社会への対応を加速し、新事業への参入と技術開発を推進する。また、観光振興や地域ブランド化を促進するための取組を継続していく。</p>
防災	<p>準用河川や普通河川の改修工事や避難所環境整備を重要事項と位置づけ事業を進めている。また、災害時の迅速な情報提供のためのICTを活用した情報管理や地域防災力の中核となる消防団員の処遇改善にも取り組んでいる。</p> <p>浸水対策や内水氾濫の課題が顕在化しており、地元との協働で河川整備や防災倉庫の設置を推進していく。また、交通安全施設の充実と交通事故防止教育、消費者教育の強化を通じて、地域全体の安心・安全を向上させる取組を引き続き行っていく。</p>
参画協働	<p>地域福祉、防災、まちづくりなど様々な地域課題に対する協働意識、多様な市民の参加が重要となっている。</p> <p>「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」の実現に向け官民一体となった事業が始動しているものの、今後の大型事業の計画段階においても、更なる市民の参画を図っていく必要がある。</p>
行政経営	<p>広告収入やふるさと納税などの制度を活用し自主財源確保を強化、財政基盤の安定化を図っている。デジタル技術導入やマイナンバーカード普及による行政の更なる効率化を図っている。職員の定年延長や広域連携により、行政の効率化を更に推進し、少子高齢・人口減少社会に対応しなくてはならない。</p>

●重点目標の総合考察

<p>ゼロカーボンシティ宣言、低廉な上水道料金の実現、特色ある観光コンテンツの充実など、諏訪市独自の地域ブランド価値の向上に資する取組を積極的に行っている。今後は、これらの取組の発信方法の工夫のほか、人口減少や物価高などの各種課題への対応を柔軟に行い、引き続き地域ブランド価値の向上に資する取組を効果的に行っていくことが重要となる。</p>
--

重点目標効果検証

重点目標

②

充実したしごと創出

●各分野の現状・課題・今後の取組

産業	<p>産業全般にわたる複数の課題に直面しており、特に外部要因による経済への影響や人口減少による労働力不足が顕著な問題として発生している。とりわけ中小企業においては、賃上げに伴う人件費の増加をどう価格に転嫁するかが課題となっており、経営基盤の強化が従前にも増して求められている。</p> <p>観光分野においては、アフターコロナにおける新たな観光需要の創出や供給体制の整備が急務となっている。こうした中、地域資源のブランド化を推進し、新たな観光コンテンツの造成を通じて安定的に観光客を引きつける取組も進めている。</p> <p>また、商業分野においては、各商業地の特性を生かした発展が、農林漁業分野においては、持続可能性の確保が重要となる。特に農業では耕作放棄地や遊休農地の活用を促進し、地産地消を推し進めることで地域経済の活性化を目指していく。</p> <p>今後も地域の課題に適切に対応するための包括的な取組を継続し、持続可能な地域経済の発展を図ることにより、雇用の受け皿を確保するとともに企業の採用活動の支援や人材のミスマッチ解消も更に強化していく必要がある。</p>
----	--

●重点目標の総合考察

第六次総合計画における「充実したしごと創出」では、生産性・付加価値・働きやすさの向上を重要な要素として位置付けているが、労働力不足が顕著となった現在において、とりわけ企業の働きやすさの向上が求められる。この課題に効果的にアプローチするため、産業分野にとどまらず、子ども・子育て支援や女性参画といった分野からも包括的に施策を展開する必要が生じている。

重点目標	②	充実したしごと創出
------	---	-----------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①工業	製造品出荷額等	目標値	1,010億円以上	1,020億円以上	1,030億円以上	1,040億円以上	1,050億円以上
		実績値	861億円	1,058億円			
	製造業の従業者数	目標値	5,100人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
		実績値	5,004人	5,235人			
②観光	宿泊客数	目標値	420,000人/年	480,000人/年	600,000人/年	606,000人/年	612,000人/年
		実績値	431,312人/年	464,841人/年			
	観光消費額	目標値	1,574,000万円/年	1,771,000万円/年	1,968,000万円/年	1,987,000万円/年	2,006,000万円/年
		実績値	1,580,166万円/年	1,739,487万円/年			
③商業・流通	推せんみやげ品新規登録数	目標値	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年
		実績値	0件/年	9件/年			
	商業連合会会員店舗数	目標値	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗
		実績値	232店舗	230店舗			
④農林漁業	農業の担い手への農地集積率	目標値	39.3%	41.7%	44.7%	47.6%	50.0%
		実績値	37.3%	37.6%			
	木材搬出面積	目標値	33.5 ha	34.5 ha	35.5 ha	36.5 ha	37.5 ha
		実績値	27.31ha	23.46ha			
⑤雇用・スタートアップ支援	新入社員歓迎大会申込者数	目標値	300人/年	400人/年	400人/年	400人/年	400人/年
		実績値	354人/年	492人/年			
	諏訪市の支援を受けて実現した創業数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件
		実績値	17件	33件			

重点目標効果検証

重点目標	③	人と投資を呼び込む
------	---	-----------

●各分野の現状・課題・今後の取組

学習	<p>多くの文化遺産が保護され、博物館や美術館に収蔵されているが、収蔵庫の老朽化のほか、保護に要する財源や人材の確保等が課題となっている。そうした中、文化遺産の意義を広く理解し、観光などで活用する取組の検討が進められており、今後は、地域の歴史と文化を活かした展示や情報発信を強化し、市民の知恵や力を活用することがより強く求められる。</p>
インフラ	<p>都市空間整備分野においては、令和5年3月に策定した「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を実現するため、官民が相互に連携しながら持続的なまちづくり活動に資するプロジェクトを検討・実践していく。</p> <p>温泉分野においては、温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら配湯管の更新・耐震化に取り組んでおり、温泉新規契約件数について、令和5年度は目標値を上回る7件となったが、契約廃止件数も多い状態が続いている。今後、新たに策定（更新）する温泉事業経営戦略に基づき持続可能な温泉事業を目指していく。</p>
産業	<p>中東情勢や円安、物価高の影響により企業の経営への影響が懸念されているほか、賃上げによる人件費の増加分の価格転嫁が大きな課題であり、経営基盤の強化が求められている。また、知的財産権の活用やSDGs、脱炭素社会の実現が企業ブランドの向上と国際競争力の維持に不可欠となっている。こうした状況に対して、地方創生臨時交付金を活用し、新技術・新製品開発事業や展示会出展支援事業、AI・IoT導入支援事業などの補助事業を行い、企業の生産性向上等を支援している。</p> <p>さらに、企業における人材確保のための中小企業者奨学金返済支援制度応援補助金を創設し、地域に人を呼び込むための支援策を講じている。</p> <p>観光分野においては、観光グランドデザインを実現するために「誘客コンテンツ造成プロモーション事業」を実施し、観光需要の変化に対応し、交流人口・関係人口の創出に寄与している。</p>
参画協働	<p>移住イベントやホームページを通じて移住・定住を促進しているほか、ふるさと納税制度を活用して寄附金収入の増加と地域経済の活性化を図っている。</p> <p>移住促進については、より事業効果を向上させるため、各種補助金の更なる拡充と効果的な情報発信が必要である。また、諏訪圏移住交流推進事業連絡会と連携し、諏訪地域の魅力を伝えつつ新たな事業展開を検討していくほか、最大6カ月間の家賃補助事業等により移住・定住を促す環境を整備していく。</p> <p>ふるさと寄付に係る新たな返礼品や体験型返礼品の掘り起こし、新しいポータルサイトの追加などを通じて、諏訪市の魅力を発信し、寄附金額の増加を目指す。</p>

●重点目標の総合考察

「人と投資を呼び込む」ための様々な施策を講じており、KPI指標からも一定の効果が確認できる。本重点目標の達成に向け、産業・参画協働分野を中心とする施策実施に引き続き取り組むとともに上諏訪駅周辺を中心とする都市空間整備により、中長期的な人と投資の誘致に向けた下地を整えることが重要である。

重点目標	③	人と投資を呼び込む
------	---	-----------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑫文化財保護・活用	講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	目標値	32%	34%	36%	38%	40%
		実績値	10%	29%			
	文化遺産関連の保存活動に参加した人数	目標値	93人	96人	99人	102人	105人
		実績値	146人	185人			
⑬都市空間	住宅の耐震診断戸数	目標値	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年
		実績値	23件/年	13件/年			
	危険空家等の改善	目標値	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年
		実績値	3件/年	18件/年			
⑭温泉	配湯管耐震化率	目標値	98.3%	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%
		実績値	98.3%	98.5%			
	温泉年間新規契約件数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値	2件	7件			
⑮工業	製造品出荷額等	目標値	1,010億円以上	1,020億円以上	1,030億円以上	1,040億円以上	1,050億円以上
		実績値	861億円	1,058億円			
	製造業の従業者数	目標値	5,100人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
		実績値	5,004人	5,235人			
⑯観光	宿泊客数	目標値	420,000人/年	480,000人/年	600,000人/年	606,000人/年	612,000人/年
		実績値	431,312人/年	464,841人/年			
	観光消費額	目標値	1,574,000万円/年	1,771,000万円/年	1,968,000万円/年	1,987,000万円/年	2,006,000万円/年
		実績値	1,580,166万円/年	1,739,487万円/年			
⑰商業・流通	推せんみやげ品新規登録数	目標値	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年
		実績値	0件/年	9件/年			
	商業連合会会員店舗数	目標値	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗
		実績値	232店舗	230店舗			
⑱雇用・スタートアップ支援	新入社員歓迎大会申込者数	目標値	300人/年	400人/年	400人/年	400人/年	400人/年
		実績値	354人/年	492人/年			
	諏訪市の支援を受けて実現した創業数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件
		実績値	17件	33件			
⑲まちの賑わい創出	駅前交流テラスすわっちゃオ貸館利用件数	目標値	2,940件	3,080件	3,220件	3,360件	3,500件
		実績値	3,618件	4,352件			
	コワーキングスペース登録有料会員数	目標値	21者	22者	23者	24者	24者
		実績値	26者	32者			
	駅前駐車場利用台数（定期利用除く）	目標値	110,000台	120,000台	120,000台	120,000台	120,000台
		実績値	88,071台	100,416台			
⑳多様な市民の参画	移住サポートによる移住定着率	目標値	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		実績値	20.1%	24.7%			
	ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	目標値	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		実績値	13.8%	50.4%			
	委員会、審議会等における女性登用率	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
		実績値	34.8%	35.1%			

重点目標効果検証

重点目標	④	みんなに愛のあるライフステージ実現
------	---	-------------------

●各分野の現状・課題・今後の取組

福祉	<p>妊産婦、子どもとその家庭への支援では「すわ☆あゆみステーション」を中心に、関係機関とも連携して切れ目のないサービス提供に努めている。なお、あゆみステーションでは、子どもに関する新たな課題や複雑化する問題に対して児童福祉と母子保健の機能が一体となって支援できる体制の強化を図っている。</p> <p>令和5年度には、第9期介護保険事業計画と連携し「諏訪市高齢者福祉計画（令和6年度～令和8年度）」を更新した。本市の高齢化率は31%を超えている。今後、2025年・2040年問題など高齢者人口の増加と生産年齢人口の減少に伴う諸課題に対応していくため、地域包括ケアシステムの深化・推進と、さらなる健康寿命延伸への取組が重要となる。</p> <p>また、障がい福祉サービスの目標値などをまとめた計画も更新した。これらの計画に基づき、分野ごとにサービス等の拡充を図ることにあわせ、問題の複合化や制度の狭間の課題に対応できる包括的な支援体制の構築が求められる。</p>
学習	<p>基礎学力の定着と情報活用力、問題解決力など「生きる力」を育む教育を重視している。また、地域との豊かな関わりを通じ、郷土への関心を育てることが求められ、地域教育の促進の必要性が高まっている現状がある。</p> <p>一方、少子高齢化による地域行事の減少や活動人材の確保が困難になることが懸念されるほか、特別支援教育の充実、多様化する家庭環境への経済的支援、GIGAスクール構想に対応する教育環境の整備などが重要課題として挙げられる。</p> <p>こうした状況に対し、郷土学習や地域活動への支援を強化し地域教育を更に推進するとともに、「未来創造『あい』プラン」に基づき、全ての児童生徒が学びあい、認めあい、支えあう学校づくりを進める必要がある。</p>
インフラ	<p>地域住民の通学・通勤・買い物等の交通手段を確保するため、地域公共交通の維持・向上は必要不可欠であり、AIオンデマンド交通の導入に向け準備を進めていく。</p> <p>また、ハード面では、子どもから高齢者まで安心して歩いて移動できるまちを目指し、歩行者空間のバリアフリー化に取り組んでいく。公園遊具等については、経年劣化等により腐食・破損が見られ、令和4年度より遊具の長寿命化更新工事を行ってきた。令和7年度に遊具の更新工事を完了させ、令和8年度以降は公園施設の更新に向け計画を策定していく。</p>
防災	<p>交通事故の防止が喫緊の課題となっており、特に交通弱者である子どもや高齢者を対象とした交通安全教室等の啓発活動により、安全意識の向上を図っている。今後、高齢者の増加により高齢者が関係する事故の増加が予想されることから、警察、交通安全協会等関係機関と協働して、交通安全教育の充実を図っていく。また、特殊詐欺や消費者被害の被害者の多くが高齢者であり、被害を未然に防ぐための街頭啓発やホームページ等により、引き続き情報発信・啓発活動を行い、安心して生活を送ることができる環境を目指していく。</p>
参画協働	<p>地域福祉・防災など多様化する地域課題について、身近なコミュニティ組織である自治会の重要性が増している。一方で、役員の担い手不足、負担感の増大等により地域活動の縮小が課題として挙げられている。「協働の取組の基本方針」に基づき、住民、自治会、ボランティア団体、NPO法人等と行政が協働の取組を進めることにより、地域課題の解決を図っていく。</p>

●重点目標の総合考察

福祉分野、教育分野における個々人の問題や地域における課題が複雑化・多様化しているなかで、それらを支援・解決していく人材不足が生じ、包括的な支援体制の確立が課題となっている。インフラや防災分野においては、行政の担う役割に加え、官民協働の意識をこれまで以上に醸成し、市民同士が助け合える環境、仕組みづくりなどに取り組んでいく必要性が高まっている。

重点目標	④	みんなに愛のあるライフステージ実現
------	---	-------------------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①子ども・子育て	子ども・子育て支援事業の充実	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38	3.2			
	待機児童ゼロ維持（待機児童数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値	0人	0人			
②地域福祉	地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	目標値	45%	50%	55%	60%	70%
		実績値	66%	-			
	ボランティア登録者率	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
		実績値	25.3%	20.7%			
③障がい者福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	目標値	6人	10人	10人	11人	12人
		実績値	6人	9人			
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	目標値	9回	10回	12回	12回	12回
		実績値	13回	20回			
④高齢者福祉	要介護認定率	目標値	18.5%以下	18.9%以下	19.3%以下	19.6%以下	19.8%以下
		実績値	17.7%	18.0%			
	認知症サポーターの養成累計	目標値	4,380人	4,620人	4,860人	5,100人	5,340人
		実績値	4,117人	4,354人			
⑤社会保障制度	生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	目標値	43件	43件	43件	43件	43件
		実績値	33件	28件			
⑥健康づくり	特定保健指導の実施率	目標値	50.6%	50.6%	50.6%	60.0%	60.0%
		実績値	59.1%	59.0%			
	特定健診におけるⅡ度高血圧の人の割合	目標値	4.9%以下	4.9%以下	4.9%以下	4.4%以下	4.4%以下
		実績値	10.1%	4.3%			
⑦地域医療	在宅当番医の利用者数	目標値	1,500人	2,000人	2,500人	2,900人	2,900人
		実績値	2,002人	2,569人			
	諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
		実績値	49.2%	47.8%			
⑧学校教育	「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	目標値	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		実績値	83.2%	77.6%			
	奨学金制度の新規利用者	目標値	8人	8人	8人	8人	8人
		実績値	6人	7人			
⑨地域教育	学校支援ボランティア参加者延べ数	目標値	20,000人	20,250人	20,500人	20,750人	21,000人
		実績値	7,602人	8,668人			
	地区育成会等活動支援事業参加者数	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
		実績値	1,249人	1,537人			
⑩生涯学習・文化芸術	講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	目標値	22%	24%	26%	28%	30%
		実績値	15%	38%			
	生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	目標値	310人	320人	330人	340人	350人
		実績値	235人	338人			
⑪スポーツ振興	スポーツ施設利用者数	目標値	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
		実績値	212,002人/年	243,390人/年			
	スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	目標値	92.6%	93.2%	93.8%	94.4%	95.0%
		実績値	91.7%	93.6%			

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑫文化財保護・活用	講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	目標値	32%	34%	36%	38%	40%
		実績値	10%	29%			
	文化遺産関連の保存活動に参加した人数	目標値	93人	96人	99人	102人	105人
		実績値	146人	185人			
⑬道路整備・計画	道路舗装整備延長率	目標値	3.1%	3.6%	4.1%	4.6%	5.1%
		実績値	3.1%	3.6%			
	都市計画道路整備率	目標値	27.8%	28.2%	28.6%	29.0%	29.4%
		実績値	29.1%	29.3%			
⑭上水道・下水道	導送水及び配水管耐震化率	目標値	29.3%	30.0%	30.7%	31.4%	32.1%
		実績値	28.9%	30.0%			
	耐震化対象下水道管渠耐震化率	目標値	66.0%	75.0%	84.0%	93.0%	100.0%
		実績値	72.5%	75.7%			
⑮地域公共交通	かりんちゃんバス1便当たり利用者数	目標値	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便
		実績値	6.1人/便	6.5人/便			
	スワンバス1便当たり利用者数	目標値	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便
		実績値	12.7人/便	12.8人/便			
⑯安心生活	交通死亡事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		実績値	1件	2件			
	相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	100%			
⑰持続可能な地域	区・自治会への加入率	目標値	87%	87%	87%	87%	87%
		実績値	82.2%	82.1%			
	外国籍市民相談窓口の年間相談件数	目標値	800件	800件	800件	800件	800件
		実績値	587件	533件			

重点目標効果検証

重点目標	⑤	気持ちいい、心地いいまちづくり
------	---	-----------------

●各分野の現状・課題・今後の取組

福祉	<p>令和5年度には「第5期諏訪市地域福祉計画」を、市社会福祉協議会が推進する「地域福祉活動計画」と一体的に策定した。保健福祉分野における人材の確保や地域における担い手不足が課題になる中であって、行政と市社協の相互連携はもとより、住民との協働により地域福祉の一層の推進に取り組む必要があることから、本計画では、地域や市民の行動提案（取組の指標）を示している。</p> <p>住民の健康と安心を守るため諏訪市医師会、諏訪赤十字病院等と連携して、新型コロナワクチン接種事業を実施したほか、各種健（検）診事業、予防・健康づくり事業に取り組んでいる。また、「生きることへの包括的な支援」として位置づける「第2期自殺対策計画」を策定し、こころの健康づくりに取り組む。</p>
学習	<p>学校教育や地域教育においては、安全で快適な学習環境や地域との豊かな関わりが重視されている。特別支援教育の充実やいじめ・不登校問題への対応を進め、すべての子どもが安心して学べる環境整備に引き続き注力するとともに、地域社会全体で子どもたちを見守り、コミュニティスクールを中心に地域教育力の向上を目指す。また、少年愛護委員による街頭巡視活動などを強化し、安全で安心できる環境づくりを更に進めていく。</p> <p>スポーツ施設や文化遺産の適切な管理・保存にも引き続き努め、健康で文化的な生活を促進する。</p>
環境	<p>市民参加の草原再生や外来植物駆除作業を行うことにより、市民の環境意識を醸成するとともに霧ヶ峰高原や諏訪湖の自然環境保全に注力している。再生可能エネルギーの導入や省エネ化を進めるため、「ゼロカーボンシティ推進戦略」を設定し、効果的な取組を推進する体制を整えている。循環型社会実現のためのリサイクル推進やごみ処理体制の強化を図り、災害時の廃棄物処理体制も整備していく必要がある。</p>
インフラ	<p>市道や河川の改修や上下水道の耐震化を進めているほか、市民生活の利便性の向上などに資するための国道20号諏訪バイパスや諏訪湖スマートICの整備を推進している。このほか、公園遊具の長寿命化更新工事や、地域交通の利便性向上を目指した公共交通の維持とAIオンデマンド交通の導入も進めている。</p> <p>空き家対策では、空き家等対策計画に基づき、適正管理や利活用を促進し、地域の景観と生活環境の向上を目指していく。</p>
産業	<p>農林漁業分野において、諏訪市猟友会や諏訪市鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣駆除のほか、諏訪市鳥獣被害対策協議会に対し、鳥獣駆除及び侵入防護柵設置の支援を行っており、これらの取組を更に強化していく。</p>
防災	<p>台風や集中豪雨対策として河川や水路の改修を進め、避難所環境の整備や迅速な気象情報提供に努めている。今後も河川の氾濫防止と内水氾濫の軽減、防災倉庫の設置や地域防災力の向上を計画的に進め、安心で心地いいまちづくりを目指していく。</p> <p>また、消防団員の確保や交通安全教室、消費生活センターの支援活動などを多方面から実施していく。</p>
参画協働	<p>地域福祉や防災の面から自治会の役割が重要であるが、担い手不足が課題となっており、自治会活動を支援する枠組みが重要となる。</p> <p>上諏訪駅周辺整備については、住民と行政の協働で地域課題を解決し、将来のまちづくりを担う人材育成も支援していく。</p>
行政経営	<p>諏訪広域連合が主体となり、介護、消防、行政情報システム、救護施設など15の事務を実施している。（小児夜間急病センターは、令和5年度末で運営終了。）</p> <p>広域的なまちづくりを進めていく上でも広域連合の役割・重要度は年々高まっており、市町村が連携し産業や観光、公共施設等の分野についてもより一層の効率化を図っていく必要がある。</p>

●重点目標の総合考察

<p>「気持ちいい、心地いいまちづくり」の実現に向け、子育て支援や高齢者の地域包括ケアシステム構築、学校教育の充実等に注力している。一方、インフラや各種公共施設の更新等のための財源確保が大きな課題となっている。また、自治会運営をはじめとする様々な分野において、住民と行政とが協働で地域課題を解決することの重要性が更に高まっている。</p>

重点目標	⑤	気持ちいい、心地いいまちづくり
------	---	-----------------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①子ども・子育て	子ども・子育て支援事業の充実	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38	3.2			
	待機児童ゼロ維持（待機児童数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値	0人	0人			
②地域福祉	地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	目標値	45%	50%	55%	60%	70%
		実績値	66%	-			
	ボランティア登録者率	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
		実績値	25.3%	20.7%			
③障がい者福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	目標値	6人	10人	10人	11人	12人
		実績値	6人	9人			
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	目標値	9回	10回	12回	12回	12回
		実績値	13回	20回			
④高齢者福祉	要介護認定率	目標値	18.5%以下	18.9%以下	19.3%以下	19.6%以下	19.8%以下
		実績値	17.7%	18.0%			
	認知症サポーターの養成累計	目標値	4,380人	4,620人	4,860人	5,100人	5,340人
		実績値	4,117人	4,354人			
⑤社会保障制度	生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	目標値	43件	43件	43件	43件	43件
		実績値	33件	28件			
⑥健康づくり	特定保健指導の実施率	目標値	50.6%	50.6%	50.6%	60.0%	60.0%
		実績値	59.1%	59.0%			
	特定健診におけるⅡ度高血圧の人の割合	目標値	4.9%以下	4.9%以下	4.9%以下	4.4%以下	4.4%以下
		実績値	10.1%	4.3%			
⑦地域医療	在宅当番医の利用者数	目標値	1,500人	2,000人	2,500人	2,900人	2,900人
		実績値	2,002人	2,569人			
	諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
		実績値	49.2%	47.8%			
⑨地域教育	学校支援ボランティア参加者延べ数	目標値	20,000人	20,250人	20,500人	20,750人	21,000人
		実績値	7,602人	8,668人			
	地区育成会等活動支援事業参加者数	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
		実績値	1,249人	1,537人			
⑩生涯学習・文化芸術	講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	目標値	22%	24%	26%	28%	30%
		実績値	15%	38%			
	生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	目標値	310人	320人	330人	340人	350人
		実績値	235人	338人			
⑪スポーツ振興	スポーツ施設利用者数	目標値	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年
		実績値	212,002人/年	243,390人/年			
	スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	目標値	92.6%	93.2%	93.8%	94.4%	95.0%
		実績値	91.7%	93.6%			
⑬環境保全	再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO2削減量	目標値	4,235t	4,435t	4,635t	4,835t	5,035t
		実績値	4,424t	4,689t			
	霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計	目標値	140ha	145ha	150ha	155ha	160ha
		実績値	137ha	141ha			

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑭森林保全	森林整備面積	目標値	105.0ha	107.0ha	109.0ha	111.0ha	113.0ha
		実績値	83.97ha	57.31ha			
	松枯損木の伐倒処理件数	目標値	15本	15本	15本	15本	15本
		実績値	26本	6本			
⑮環境衛生	燃やすごみ排出量	目標値	11,442t以下	11,479t以下	11,471t以下	11,531t以下	11,444t以下
		実績値	12,147t	11,662t			
	ごみリサイクル率	目標値	23.1%	22.9%	22.5%	22.2%	22.0%
		実績値	18.1%	18.3%			
⑯道路整備・計画	道路舗装整備延長率	目標値	3.1%	3.6%	4.1%	4.6%	5.1%
		実績値	3.1%	3.6%			
	都市計画道路整備率	目標値	27.8%	28.2%	28.6%	29.0%	29.4%
		実績値	29.1%	29.3%			
⑰都市空間	住宅の耐震診断戸数	目標値	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年
		実績値	23件/年	13件/年			
	危険空家等の改善	目標値	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年
		実績値	3件/年	18件/年			
⑱上水道・下水道	導送水及び配水管耐震化率	目標値	29.3%	30.0%	30.7%	31.4%	32.1%
		実績値	28.9%	30.0%			
	耐震化対象下水道管渠耐震化率	目標値	66.0%	75.0%	84.0%	93.0%	100.0%
		実績値	72.5%	75.7%			
⑲温泉	配湯管耐震化率	目標値	98.3%	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%
		実績値	98.3%	98.5%			
	温泉年間新規契約件数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値	2件	7件			
⑳地域公共交通	かりんちゃんバス1便当たり利用者数	目標値	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便
		実績値	6.1人/便	6.5人/便			
	スワンバス1便当たり利用者数	目標値	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便
		実績値	12.7人/便	12.8人/便			
㉑農林漁業	農業の担い手への農地集積率	目標値	39.3%	41.7%	44.7%	47.6%	50.0%
		実績値	37.3%	37.6%			
	木材搬出面積	目標値	33.5 ha	34.5 ha	35.5 ha	36.5 ha	37.5 ha
		実績値	27.31ha	23.46ha			
㉒防災・危機管理	防災メールの登録者数	目標値	9,100人	9,200人	9,300人	9,400人	9,500人
		実績値	7,927人	8,172人			
	諏訪市防災気象情報システムアクセス数	目標値	80,200件	80,400件	80,600件	80,800件	81,000件
		実績値	60,348件	106,800件			
㉓安心生活	交通死亡事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		実績値	1件	2件			
	相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	100%			

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
②まちの賑わい創出	駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数	目標値	2,940件	3,080件	3,220件	3,360件	3,500件
		実績値	3,618件	4,352件			
	コワーキングスペース登録有料会員数	目標値	21者	22者	23者	24者	24者
		実績値	26者	32者			
	駅前駐車場利用台数（定期利用除く）	目標値	110,000台	120,000台	120,000台	120,000台	120,000台
		実績値	88,071台	100,416台			
②多様な市民の参画	移住サポートによる移住定着率	目標値	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		実績値	20.1%	24.7%			
	ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	目標値	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		実績値	13.8%	50.4%			
	委員会、審議会等における女性登用率	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
		実績値	34.8%	35.1%			
③持続可能な地域	区・自治会への加入率	目標値	87%	87%	87%	87%	87%
		実績値	82.2%	82.1%			
	外国籍市民相談窓口の年間相談件数	目標値	800件	800件	800件	800件	800件
		実績値	587件	533件			
③健全財政	将来負担比率	目標値	76.0%	73.0%	70.0%	67.0%	64.0%
		実績値	56.5%	46.4%			
	財政調整基金・減債基金残高	目標値	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上
		実績値	31億円	34億円			
	公共施設の総延床面積における縮減率	目標値	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%
		実績値	7.0%	7.1%			
③スマート化	市民向けオンライン手続き件数指標	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151	205			
	ICTツールの置換時間指標	目標値	200	400	600	800	1000
		実績値	310	630			
③広域連携	諏訪広域連合が処理する事務数	目標値	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上
		実績値	15件	15件			

重点目標効果検証

重点目標	⑥	新たな時代への対応
------	---	-----------

●各分野の現状・課題・今後の取組

学習	<p>小中学校に1人1台タブレット端末を配備し、タブレットや電子黒板を活用したICT教育を実施している。今後もICT機器を活用し、双方向授業や遠隔授業を推進し、多様な学びや異年齢交流、プレゼンテーション機会の拡大を図る。「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画に基づき、小中一貫教育を推進し南部地区の小中学校再編・整備に向けた基本構想策定等を進めていく。</p>
環境	<p>第三次環境基本計画に基づき、霧ヶ峰高原の自然保全、諏訪湖の環境保全、ゼロカーボンシティ推進などの各種施策を実施している。ゼロカーボンシティ実現に向けて、再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査の結果を基に「ゼロカーボンシティ推進戦略」を設定し、効果的な取組を推進する体制を整えている。</p> <p>霧ヶ峰や諏訪湖の自然保全活動については、参加者が楽しみながら参加できるイベントとして実施できるよう更に工夫を重ねていく。ゼロカーボンシティの実現のため、「ゼロカーボンシティ推進戦略」に基づく創エネ、省エネ、蓄エネに関する取組を加速させる。具体的には、公共施設へのPPA方式によるハード整備を推進するとともに民間の再エネ導入も後押ししていく。</p>
防災	<p>市内の気象情報を迅速に収集解析し、PCやスマホ等を通じて市民に提供することで、早期の避難行動等に役立てるよう情報システム（すわそらサイト）の運用を行っており、画面構成の見直し等に取り組んでいる。ライブカメラ映像の追加表示を可能にするシステム改修を行うなど、より多くの方に利用いただくため様々な手法で活用方法の更なる周知を行っていく。</p>
行政経営	<p>コロナ禍を経て、デジタル技術の活用が急速に浸透し、行政分野におけるオンラインでの情報発信や手続きが一般化し、マイナンバーカードも広く普及した。また、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や地方公務員の定年延長制度が開始されるなど、行政を取り巻く環境が大きく変化している。</p> <p>こうした中、行政においてもデジタル技術を十分に活用し、市民目線に立ったサービス向上に努めていく必要がある。また、「誰一人取り残さない」DX推進を念頭に、ICTツールの利活用により組織に生み出される時間を、直接的な市民対応など人にしか出来ない仕事に充てられる組織体制の構築を目指していく。</p>

●重点目標の総合考察

<p>各分野においてICTの活用が進められているが、人口減少や職員確保に係る課題のほか、様々な地域課題を踏まえ、更なる利活用を図っていくことが重要となる。同時に「誰一人取り残さない」DX推進も念頭に置きつつ、きめ細かなサービス提供も併せて行っていく必要がある。</p> <p>環境分野においては「ゼロカーボンシティ推進戦略」に基づく各種施策を実施し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を加速していく必要がある。</p>
--

重点目標	⑥	新たな時代への対応
------	---	-----------

※市民満足度調査結果を除く

基本方針	K P I		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
⑧学校教育	「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	目標値	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		実績値	83.2%	77.6%			
	奨学金制度の新規利用者	目標値	8人	8人	8人	8人	8人
		実績値	6人	7人			
⑬環境保全	再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO2削減量	目標値	4,235t	4,435t	4,635t	4,835t	5,035t
		実績値	4,424t	4,689t			
	霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計	目標値	140ha	145ha	150ha	155ha	160ha
		実績値	137ha	141ha			
⑭森林保全	森林整備面積	目標値	105.0ha	107.0ha	109.0ha	111.0ha	113.0ha
		実績値	83.97ha	57.31ha			
	松枯損木の伐倒処理件数	目標値	15本	15本	15本	15本	15本
		実績値	26本	6本			
⑮環境衛生	燃やすごみ排出量	目標値	11,442t以下	11,479t以下	11,471t以下	11,531t以下	11,444t以下
		実績値	12,147t	11,662t			
	ごみリサイクル率	目標値	23.1%	22.9%	22.5%	22.2%	22.0%
		実績値	18.1%	18.3%			
⑯防災・危機管理	防災メールの登録者数	目標値	9,100人	9,200人	9,300人	9,400人	9,500人
		実績値	7,927人	8,172人			
	諏訪市防災気象情報システムアクセス数	目標値	80,200件	80,400件	80,600件	80,800件	81,000件
		実績値	60,348件	106,800件			
⑰健全財政	将来負担比率	目標値	76.0%	73.0%	70.0%	67.0%	64.0%
		実績値	56.5%	46.4%			
	財政調整基金・減債基金残高	目標値	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上
		実績値	31億円	34億円			
公共施設の総延床面積における縮減率	目標値	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	
	実績値	7.0%	7.1%				
⑱スマート化	市民向けオンライン手続き件数指標	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151	205			
	ICTツールの置換時間指標	目標値	200	400	600	800	1000
		実績値	310	630			
⑳広域連携	諏訪広域連合が処理する事務数	目標値	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上
		実績値	15件	15件			

基本方針効果検証			
基本方針	① 子ども・子育て	主関連課	こども課
子育ての希望が叶い、子どもが幸せに輝く			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
子ども・子育て支援事業の充実	-	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38	3.2			
		達成率(達成度)	96.6% 順調	91.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
待機児童ゼロ維持(待機児童数)	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
		達成率(達成度)	100% 非常に順調	100% 非常に順調			
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	2.87	2.87	2.87	2.87	2.87
		実績値	2.87	2.99			
		達成率(達成度)	100.0%	104.2% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

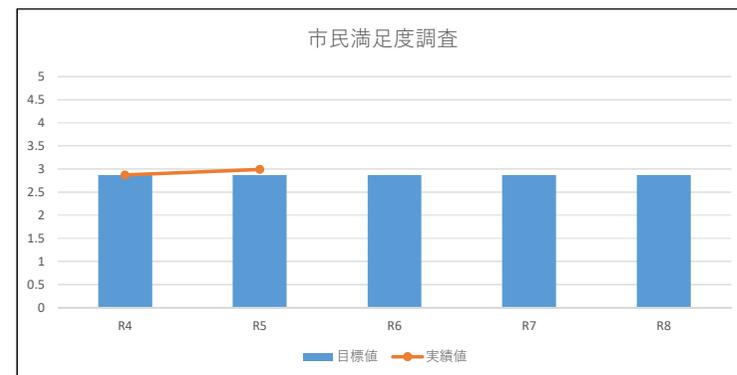
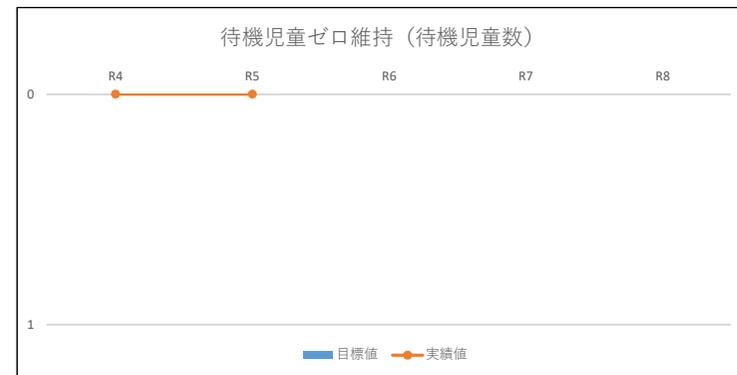
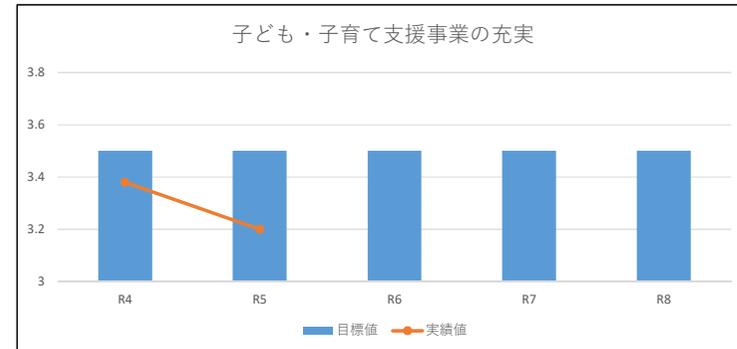
・妊娠前から子どもの社会的自立に至るまで切れ目なく、子どもと子育て家庭を支援するため、「顔が見える関係」を大切にした寄り添い支援を基本として、「すわあゆみステーション」の連携体制や相談機能を強化し、安心して健やかに成長できる支援を行っていく。
 ・貧困や虐待、また近年ではヤングケアラーが社会的課題となっており、地域や関係機関と連携しながら、居場所づくりや養育支援、学習支援などを通じ、児童虐待等や貧困の防止に力を注ぎ、全ての子どもが健やかに成長できる支援と環境づくりが求められている。
 ・保育ニーズの多様化に対応して、未満児保育室等の整備を行い、待機児童ゼロを維持している。
 ・全出生児を対象にした家庭訪問や乳幼児健診を実施し、母子の健康や生活状況を把握しながら、相談にのり育児不安解消に努めている。

●課題

・子どもや子育て家庭等が抱える課題は複雑化、多様化しており、包括的かつ一体的な相談体制の構築と、関係機関の連携強化が求められている。
 ・支援が必要な子どもが増えているなか、質の高い支援を安定的に提供できる福祉人材の確保と専門的対応の強化が必要。
 ・少子化とともに保育人材不足により、保育の質を維持していくことが、今後さらに難しくなることが想定される。限られた保育資源を有効に再配置していくことが必要。
 ・出生数は減少しているが、継続的に支援が必要な家庭は増えており、今後も妊娠から子育て期にわたる、切れ目ない支援が必要となる。一方で、必要なサービスが行き届いていない可能性もあるので、情報発信の強化と、きめ細かい対応が重要。

●今後の取組の方向性

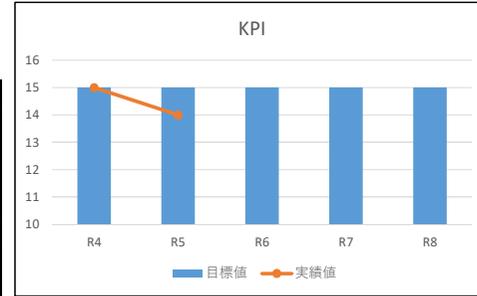
・全ての子ども・子育て家庭を対象に、保護者の不安や悩みの解決をサポートする「すわあゆみステーション」を中心に、子ども・子育てに関する様々な支援策を切れ目なくつなぎ、関係機関の連携により、一体的な支援を充実させていく。
 ・専門機関や子育て・子育て支援拠点との綿密な情報共有による、連携と協働に取り組み、より質の高い専門的対応を図っていく。
 ・将来にわたり保育の質とサービスを維持していくために、保育所の適正規模・適正配置・民間活力の活用を積極的に進めていく。
 ・伴走型相談支援により、妊産婦や養育者のニーズや傾向を把握し、必要な支援を計画・実施する。



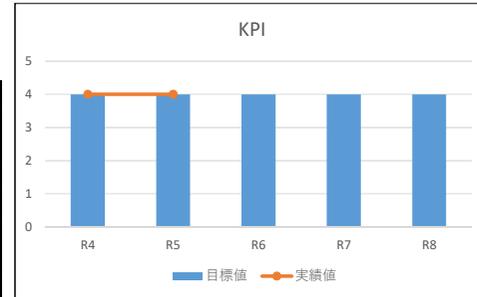
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

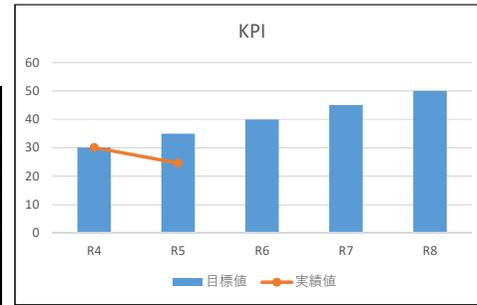
事業名	子ども家庭総合支援拠点事業	担当課・係	こども課 子育て支援係				
事業概要 現状	児童福祉法に基づく「諏訪市子ども家庭総合支援拠点すわあゆみステーション」の運営。こども課(子育て支援係・こども応援係)と教育総務課(学務係の一部)で共同運営し、部局・課所を越えた戦略的な連携を図る。						
課題	孤立した子育て、保護者の養育力低下、児童虐待や子どもの貧困、それらの世代間連鎖など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境は厳しさを増している。地域の子育てを総合的かつ継続的に支える中心的役割を市町村が担うことが求められている。	単位	回				
	目標	15	15				
	実績	14	14				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	93.3%			
今後の取組 の方向性	子育て世帯を包括的に支援する体制を構築するため、子育て世代包括支援センターと機能を統合した「諏訪市子ども家庭センター」を令和6年度に設置する。	必要経費(千円)					
		予算額	4,296	4,692	4,296		
		決算額	3,470	3,387	3,470		



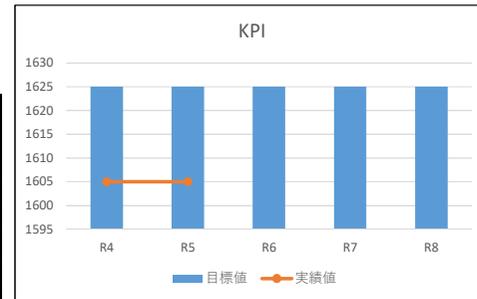
事業名	発達支援事業	担当課・係	こども課 こども応援係				
事業概要 現状	0歳から社会的自立に至るまでの発達に関する相談、指導、療育、サービス調整、研修啓発などを統括することも応援係の運営費。ライフステージに沿った支援体制の強化・維持を中心的に担い、切れ目のない体系的な支援を表現する。						
課題	子どもの成長過程では幅広い関係者・関係機関が支援に関わるため支援が途切れやすい。個々の状況に対応できる多様な専門性が求められる分野であり、支援を担える人員体制を確保し、社会的自立に至るまでの支援を切れ目なくつなぐ必要がある。	単位	人				
	目標	4	4				
	実績	4	4				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	100.0%			
今後の取組 の方向性	相談員の確保や関係機関との連携により、子どもとその家庭への寄り添い支援を継続できる体制を強化する。また、療育サービスの利用に係る業務を担うことで子どもの発達段階に応じた切れ目のない体系的な支援を推進する。	必要経費(千円)					
		予算額	13,587	14,663	13,587		
		決算額	13,111	14,008	13,111		



事業名	母子保健一般事業・出産包括支援事業	担当課・係	健康推進課 健康支援係				
事業概要 現状	妊娠前から出産・子育て期まで切れ目のない支援を行い母子の心身の健康を保持するため、妊婦健診・産婦健診・乳幼児健診・相談の実施、委託した産科医療機関・開業助産所での産後ケア事業、ヘルパー事業所による産後サポート事業の実施等により支援する。						
課題	核家族の増加、地域のつながりの希薄化等により相談相手、支援者とのつながりが減少し養育者が孤立しやすい状況にある。また子育て等に関する情報や知識の不足が生じたり、逆にインターネットにより不正確な情報の広がりや情報過多に陥りやすい。	単位	%				
	目標	35	30.1				
	実績	24.6	30.1				
評価	C	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	70.3%			
今後の取組 の方向性	産後ケア事業のうち、もっとも利用者の多い訪問・相談について、交付している助成券の額を増額するとともに、使用方法の利便性を高めて利用を促進する。また、相談支援を強化するため、妊娠8か月時に必要に応じて面談を行う。	必要経費(千円)					
		予算額	62,088	52,273	62,088		
		決算額	46,270	43,284	46,270		



事業名	保育所管理運営事業	担当課・係	こども課 保育係				
事業概要 現状	老朽化した施設・設備等の更新、保育の利便性を高めるための機能向上等を計画的に実施。保護者の利便性及び保育現場の負担軽減を図るため、保育支援システム(コドモン)を導入。						
課題	公立保育所13園の多くが築30年を経過しており、大規模な修繕・更新の時期を順次迎えていくとともに、少子化の進展により、適正規模が確保・維持できない園所が増加している状況。	単位	人				
	目標	1,625	1,625				
	実績	1,605	1,605				
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	98.8%			
今後の取組 の方向性	施設・設備等の更新や機能向上等を実施するとともに、「保育所」笑顔プラン」及び「保育所民営化ガイドライン」に基づき、保育・幼児教育環境の最適化を着実に進めていく。	必要経費(千円)					
		予算額	652,054	634,498	652,054		
		決算額	611,941	607,921	611,941		



基本方針効果検証			
基本方針	② 地域福祉	主関連課	社会福祉課
みんなでの助け合い、支え合い			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	%	目標値	45	50	55	60	70
		実績値	66	-			
		達成率（達成度）	146.7% 非常に順調		0.0%	0.0%	0.0%
ボランティア登録者率	%	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	25.3	20.7			
		達成率（達成度）	126.5% 非常に順調	103.5% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査（R5年度調査比向上）	-	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96	3.04			
		達成率（達成度）	100.0%	102.7% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

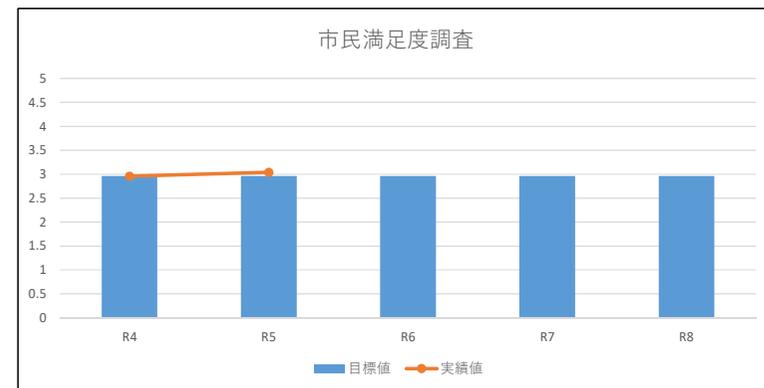
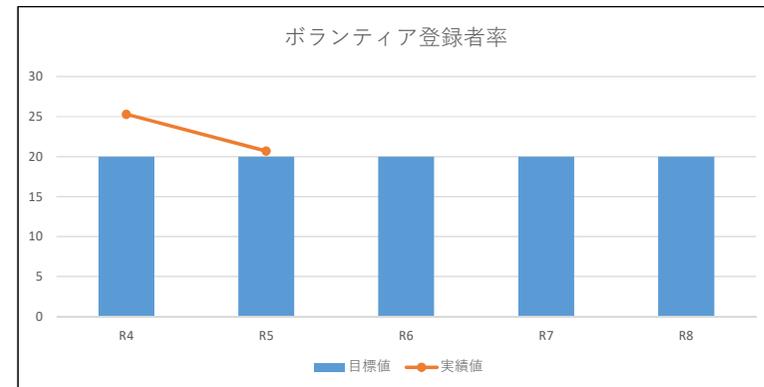
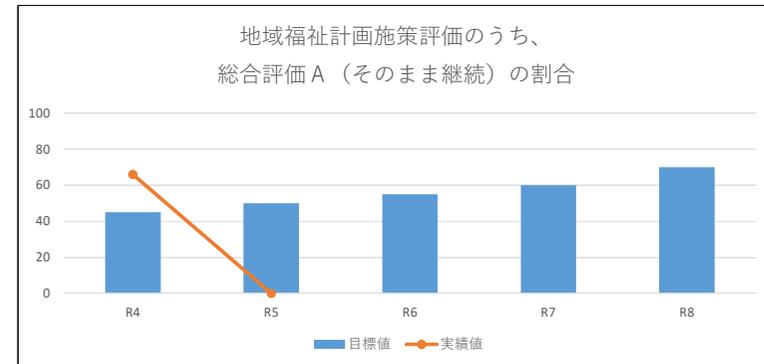
・令和5年度に「第5期諏訪市地域福祉計画・諏訪市地域福祉活動計画」「再犯防止推進計画」「犯罪被害者支援条例」を策定・制定した。
 ・関係団体などとの連携により、支援を必要とする人が地域で孤立することなく、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、民生児童委員協議会、保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員協議会と連携して事業を行っている。
 ・全ての市民がお互いの人権を尊重し、平和の尊さを重んじる心を持ち、差別や偏見のないまちづくりの活動として広報による啓発、定期的な相談会の開催を行っている。

●課題

・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ご近所同士のつながりや支え合いが希薄化している。
 ・少子高齢化や核家族化等の社会情勢の変化により、地域住民の生活課題が複雑化・複合化しており、包括的相談支援体制の更なる強化が必要。
 ・人口減少・高齢化等により、民生委員や地区役員といった地域の担い手が減少している。
 ・インターネット上の人権侵害が社会的問題となっている。

●今後の取組の方向性

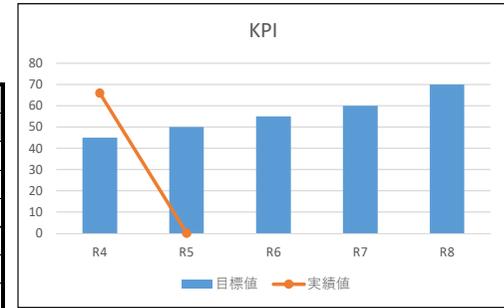
・策定した第5期地域福祉計画の推進、再犯防止の推進、犯罪被害者支援。
 ・総合福祉センターは地域福祉推進の活動拠点として、市民の健康増進、交流が図られているが、利用者の減少、施設の老朽化が進んでいる。利用者の安全安心を図るための危機管理体制及び障害者差別解消法施行による来館者への配慮を進める。
 ・人権を認め尊重する意識の高揚を図るため、人権擁護委員と連携し啓発活動、研修会等を実施していく。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

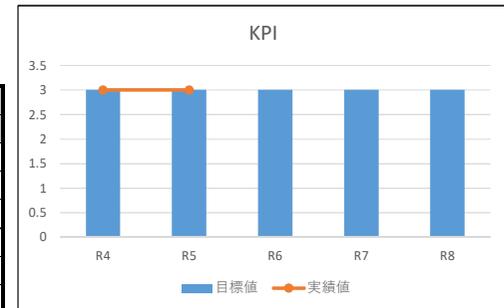
事業名	地域福祉推進事業	担当課・係	社会福祉課 社会係
事業概要 現状	第5期地域福祉計画策定が完了した。諏訪市ホームページに掲載、製本化し、関係者に配布を行った。		
課題	今後の計画推進の評価方法の検討。新しい「地域福祉計画推進協議会」の設置、メンバーの選出。	K P I	
		地域福祉計画施策評価のうち総合評価Aの割合	
評価	A	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	%
今後の取組 の方向性	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	50
		実績	-
		達成率	146.7%
		必要経費(千円)	
予算額	4,092	71	4,092
決算額	3,587	61	3,587



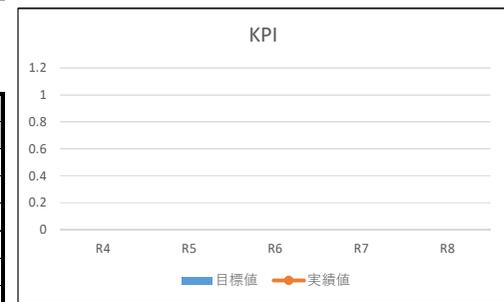
事業名	総合福祉センター管理運営事業	担当課・係	社会福祉課 社会係
事業概要 現状	地域福祉推進の拠点として市民の健康増進、交流が図られる場所として整備されている。老朽化に伴う修繕を計画的に行っている。		
課題	建設から20年が経過したこともあり、機械・電気設備等の老朽化が進んでいる。	K P I	
		総合福祉センター利用者数	
評価	A	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	人
今後の取組 の方向性	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	109,000
		実績	99,483
		達成率	91.3%
		必要経費(千円)	
予算額	80,996	71,304	80,996
決算額	77,842	71,303	77,842



事業名	地域人権啓発活動活性化事業	担当課・係	社会福祉課 社会係
事業概要 現状	花の栽培を通じて協力・感謝・命の尊さを知ってもらうとともに人権の意識を培うことを目的に市内小学校において地域人権啓発活動活性化事業「人権の花」運動を実施。		
課題	秋の「人権の花を囲む会」を行った際に、植えた花の種類によっては、花が落ちた後だった事があった。	K P I	
		「人権の花」運動による学校訪問回数	
評価	A	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	回
今後の取組 の方向性	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	3
		実績	3
		達成率	100.0%
		必要経費(千円)	
予算額	401	775	401
決算額	191	361	191



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	K P I		
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較	
		単位	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	
		実績	
今後の取組 の方向性		達成率	
		必要経費(千円)	
		予算額	
		決算額	



基本方針効果検証			
基本方針	③ 障がい者福祉	主関連課	社会福祉課
障がいのある人もない人も共に生きる地域			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
福祉施設から一般就労への移行者数	人	目標値	6	10	10	11	12
		実績値	6	9			
		達成率(達成度)	100.0% 順調	90.0% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	回	目標値	9	10	12	12	12
		実績値	13	20			
		達成率(達成度)	144.4% 非常に順調	200.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97
		実績値	2.97	3.03			
		達成率(達成度)	100.0%	102.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

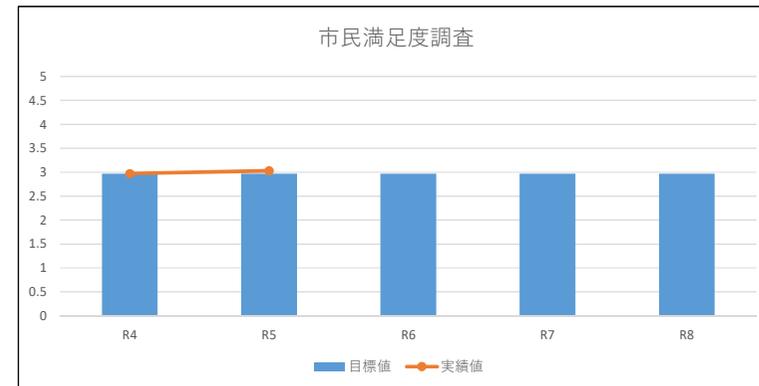
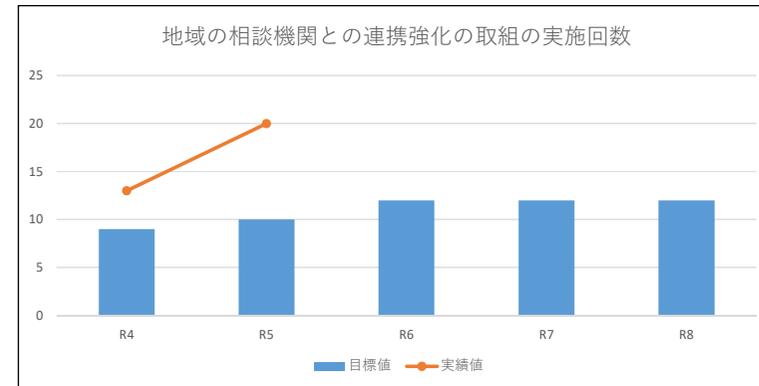
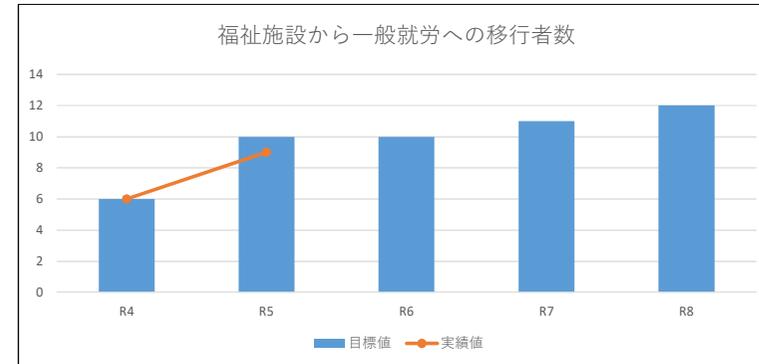
- ・諏訪地域障がい福祉自立支援協議会により、様々な問題に対する自発的な活動が行われている。
- ・障がい者支援の中核となる相談支援専門員が諏訪圏域全体で不足しており、必要な方へのサービス提供に影響が出ないよう、相互連携を図っている。
- ・障がい者が地域で暮らすための重要な選択肢である「グループホーム」について、障がいの特性により利用困難な場合があり、他圏域の施設利用を余儀なくされる事例があるため、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会の地域生活支援拠点事業推進会議において協議している。

●課題

- ・身体障がい者は減少傾向であるが、精神障がい者が著しく増加しており、支援体制の充実が不可欠となっている。
- ・障がいに関する様々な法改正を踏まえ、就労、教育、地域等全てにおいて、合理的配慮の提供が一層必要となり、障がい者の一般就労への移行支援がより重要となっている。
- ・地域共生社会の実現に向け、高齢・障がい・貧困等の複合問題に対する重層的支援体制の構築に向けた検討が必要となってきている。

●今後の取組の方向性

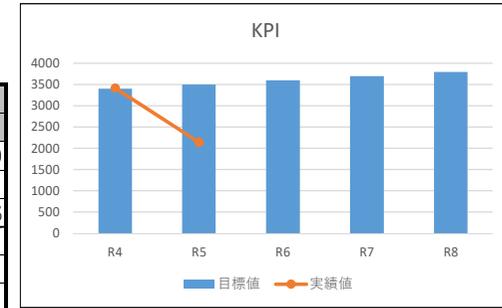
- ・基幹相談支援センターを活用し、地域の相談支援事業者に対する訪問による専門的な指導・助言の実施及び重層的支援体制の構築に向け、地域の相談機関との連携強化を図っていく。
- ・就労を希望する障がい者や家族に対して就労に関する相談支援体制の充実を図るとともに、福祉的就労の場の確保に向けた取組を継続する。
- ・子どもの発達段階に応じ、切れ目ない一体的な支援体制の強化を図る（障がい児通所支援事業等に係る業務は社会福祉課からこども課へ令和5年度から移管済）。
- ・要援護者登録台帳の整備、災害時要援護者リストの作成、各地区の災害時支え合いマップ作成を促進するとともに、地域住民へ働きかけ、個々の実情に応じた支援体制を構築していく。
- ・全ての市民が安全に暮らせるよう、公共施設や道路のバリアフリー化の推進に努めていく。



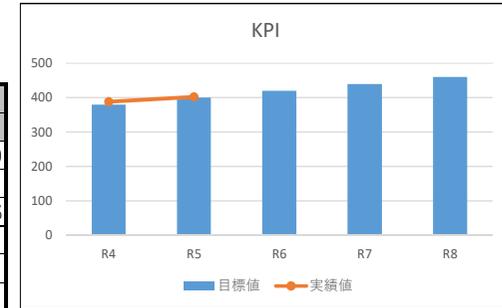
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

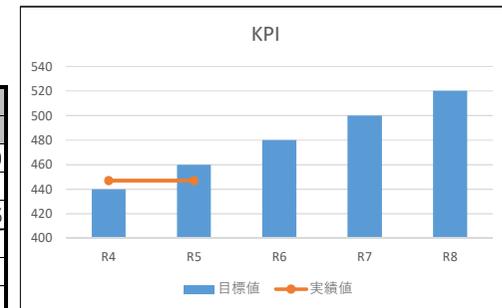
事業名	障がい者自立支援センター運営事業	担当課・係	社会福祉課 障がい福祉係				
事業概要 現状	障がいのある方及びその家族や関係者の相談に応じ、福祉サービスの利用、社会資源の活用などを進め、当事者のニーズ、将来の希望等を聞いて、その人らしい暮らしが送れるように支援する。センターの運営は、指定管理者に委託。						
	K P I 相談者数						
課題	諏訪圏域における基幹相談支援センターとしての役割の一層の強化が求められている。相談内容が複雑化・多様化し、併せて困難ケースや緊急ケースが増え、職員の固定化及び専門化が求められている。						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
		単位	人	R4	R5	R6	R7
今後の取組 の方向性	諏訪圏域内の基幹相談支援センターとして障がい者支援の中核を担い、複雑化・多様化する支援ニーズに対応するため、一層の機能強化を求めていく。センターの評価は、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会において行っている。						
	必要経費(千円)						
	予算額	51,973	43,915	51,973			
	決算額	51,973	43,914	51,973			



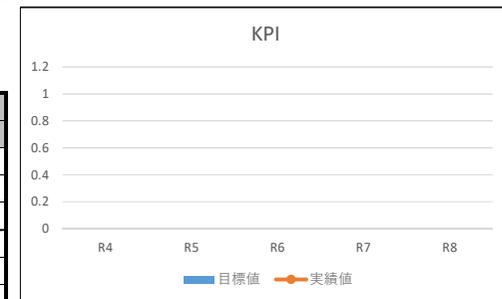
事業名	障がい者訓練等サービス給付事業	担当課・係	社会福祉課 障がい福祉係				
事業概要 現状	身体的または社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行う、障がい福祉サービス。障がい福祉サービスを利用することによって、利用者が望む暮らしが送れるように支援する。						
	K P I 利用者数						
課題	就労継続支援サービスの利用者が増加。併せてサービス等利用計画の確認とケア会議、支給決定などの事務量とケースへの対応が増加している。						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
		単位	人	R4	R5	R6	R7
今後の取組 の方向性	事業所の見学、体験を通して、利用者に合った事業所を選択し、長く利用できるように支援していく。						
	必要経費(千円)						
	予算額	500,565	487,988	500,565			
	決算額	492,477	469,760	492,477			



事業名	成年後見支援センター事業	担当課・係	社会福祉課 障がい福祉係				
事業概要 現状	成年後見制度利用促進のため、地域連携ネットワークの「中核機関」として位置付けている。相談件数は、新規相談が減少し、継続相談が増加した。						
	K P I 相談件数						
課題	成年後見制度は、利用手続きが煩雑なことや、成年後見人の受け手（弁護士、社会福祉士、司法書士及び行政書士等の専門職、被後見人の親族、社会福祉協議会（法人後見）、その他（市民後見人等））が不足している。						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
		単位	件	R4	R5	R6	R7
今後の取組 の方向性	成年後見制度利用促進基本計画は、令和5年度中に地域福祉計画に併載する形で策定できたことから、今後は計画に基づき、新たな担い手の確保や利用しやすい制度の運用を推進していく。						
	必要経費(千円)						
	予算額	8,459	7,079	8,459			
	決算額	8,454	7,068	8,454			



事業名		担当課・係				
事業概要 現状	K P I					
	K P I ・ 必要経費 経年比較					
課題	単位					
	目標		R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績				
		達成率				
今後の取組 の方向性	必要経費(千円)					
	予算額					
	決算額					



基本方針効果検証			
基本方針	④ 高齢者福祉	主関連課	高齢者福祉課
誰もが元気に安心して暮らせるまちづくり			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
要介護認定率 (目標値以下)	%	目標値	18.5	18.9	19.3	19.6	19.8
		実績値	17.7	18.0			
		達成率 (達成度)	104.5% 非常に順調	105.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
認知症サポーターの養成累計	人	目標値	4,380	4,620	4,860	5,100	5,340
		実績値	4,117	4,354			
		達成率 (達成度)	94.0% 順調	94.2% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		実績値	2.90	3.05			
		達成率 (達成度)	100.0%	105.2% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

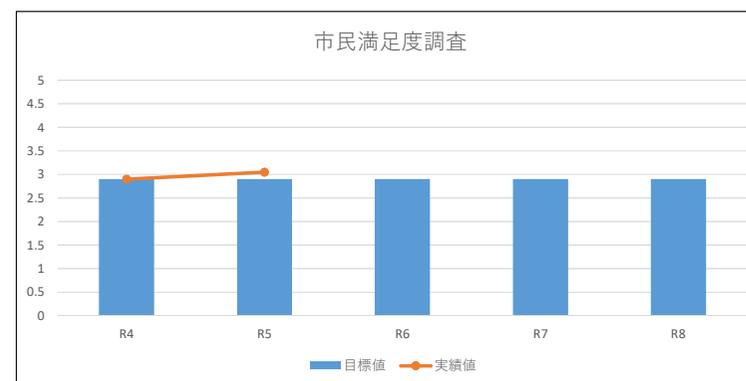
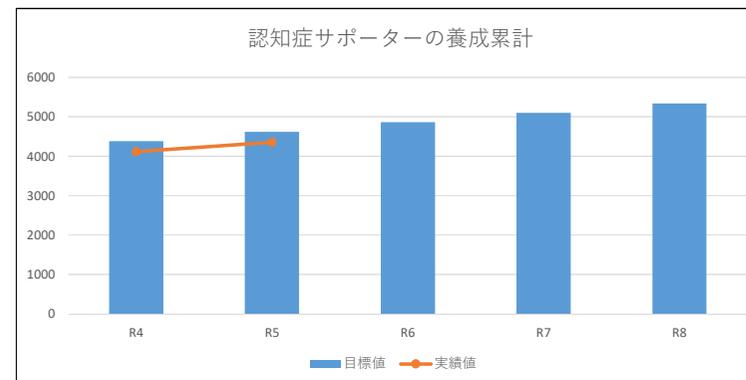
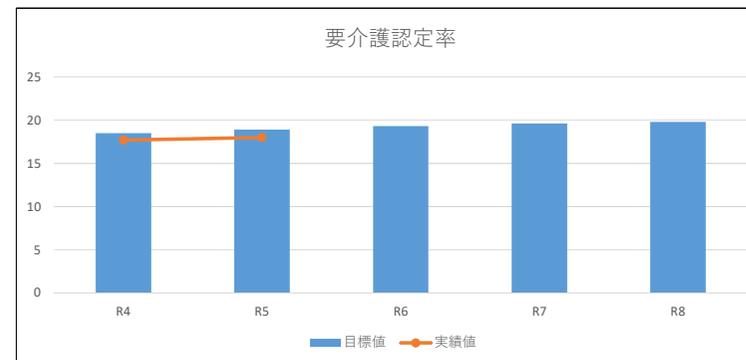
人口減少社会の進行（特に生産年齢人口の減少）に伴い、将来的に医療や介護を担う人材不足が懸念されるなかで、要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域の中で尊厳を保ちながら自立した日常生活を営むことができる「地域包括ケアシステム」の構築を目指している。具体的には、諏訪市医師会（ライフドアすわ）に「在宅医療・介護連携推進」「生活支援体制整備」「認知症総合支援」「地域ケア会議推進」の4事業を一括業務委託し、介護予防と健康づくりの取組を強化し、高齢者が社会で役割を持って活躍できる環境の整備を進め、自立支援、重度化防止を図るとともに、地域の社会資源を活用しながら保健・医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの充実・強化を官民協働で推進する。

●課題

基本方針の実現に向けて地域包括ケアシステムの構築を推進しているが、地域包括ケアシステムとは行政からの働きかけにより、医療・介護等の各種専門職や関係機関、更には地域住民、ボランティア等との連携・協働によって構築される高齢者の暮らしを維持するためのシステム「まちづくり」である。専門職には医療・介護保険制度の狭間を埋める連携やサービスの枠を超えたインフォーマルサービスの検討、地域住民には、高齢者が抱える地域課題の解消に向けたボランティア活動等の検討について行政から働きかけを行っているが、少子高齢化に伴い生じる地域課題を他人事ではなく、将来の自分事として捉え認識してもらうことが必要である。

●今後の取組の方向性

地域包括ケアシステムの構築に向けて、諏訪市医師会「ライフドアすわ」に「在宅医療・介護連携推進」「生活支援体制整備」「認知症施策推進」「地域ケア会議推進」の4事業を業務委託し、一体的な事業実施により行政、医師会、諏訪赤十字病院、社会福祉協議会が連携しながら切れ目のない在宅医療、介護の提供体制を構築していく。

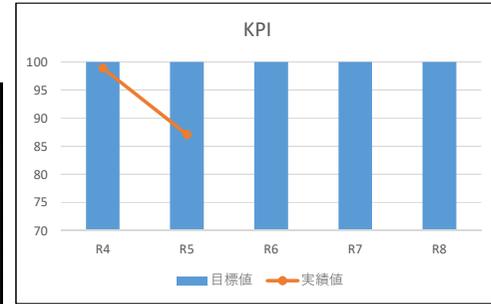


●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

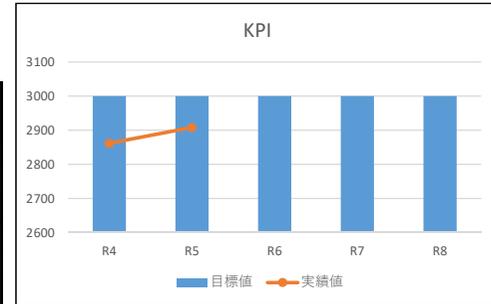
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	担当課・係	健康推進課 健康支援係
事業概要 現状	健康寿命の延伸と医療費等の安定化を目指し、医療・保健事業と介護予防を担当する課所が連携、調整を図りながら、情報共有をして各事業を一体的に行う。市の健康課題を把握し、より効率的・効果的な事業を計画し実施・評価していく。	K P I	
		保健指導実施率	
課題	後期高齢者対象で、生活パターンが固定化しがちであり生活改善が難しい場合がある。また長年未受診で生活してきた場合、健診の検査値が受診勧奨レベルであっても動機づけが乏しく、受診へつなげることが難しい。	単位	%
		目標	100
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績
		達成率	87.1%
今後の取組 の方向性	生活習慣病のハイリスク者、未治療、治療中断者への積極的なアプローチを行う。サロンへの介入を増やし、家庭血圧測定の普及などの健康教育を推進する。	必要経費(千円)	
		予算額	3,617
		決算額	2,631

K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
目標	100	100	100	100	100	100
実績	87.1	98.9	87.1			
達成率	87.1%	98.9%	87.1%	0.0%	0.0%	0.0%
必要経費(千円)						
予算額	3,617	3,536	3,617			
決算額	2,631	3,250	2,631			



事業名	総合相談支援事業	担当課・係	高齢者福祉課 高齢者福祉係
事業概要 現状	地域に住む高齢者に関する様々な相談を受け止め、適切な保健・医療・福祉サービスや機関・制度につなぎ、継続的にフォローをしており、地域包括支援センターの全ての業務の入り口としてワンストップサービスの機能を果たしている。	K P I	
		総合相談延べ件数	
課題	核家族化による独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加、更には8050問題や地域での孤立など、各家庭の抱える課題が複雑化している。超高齢化による多死社会を迎えるなかで、これまで以上に支援の提供が必要になっている。	単位	件
		目標	3,000
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績
		達成率	96.9%
今後の取組 の方向性	民生委員や民間事業所と連携し、課題を抱える世帯の早期発見とアウトリーチでの相談支援、サービスの提供を図る。更に複雑化した課題の解決に向け、関係機関や関係部署が連携して重層的支援を実施する。	必要経費(千円)	
		予算額	70,060
		決算額	69,041

K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績	2,908	2,862	2,908			
達成率	96.9%	95.4%	96.9%	0.0%	0.0%	0.0%
必要経費(千円)						
予算額	70,060	68,738	70,060			
決算額	69,041	60,627	69,041			



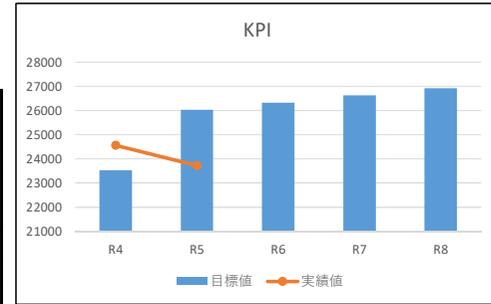
事業名	介護予防普及啓発事業	担当課・係	高齢者福祉課 高齢者福祉係
事業概要 現状	要介護状態に至る前段階であるフレイル(虚弱)化を予防するためには日常的な運動による筋力維持が不可欠であり、介護予防教室を通して自宅で簡単に取り組める運動の習得と、日常的な運動の習慣化を促進している。	K P I	
		介護予防教室参加延べ人数	
課題	介護予防教室を通して多くの高齢者が運動習慣を身に付け、フレイル予防を意識した日常生活に心掛ける必要がある。しかし、各教室への参加者は固定化している。健康意識の低い高齢者(特に男性)への継続的な周知が必要である。	単位	人
		目標	2,000
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績
		達成率	112.4%
今後の取組 の方向性	高齢者がフレイル予防に取り組み始める契機として、まずは介護予防教室に多くの高齢者が参加してもらえるように、高齢者のニーズに合った多彩な内容の教室の企画運営に取り組む。	必要経費(千円)	
		予算額	8,242
		決算額	8,239

K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績	2,248	1,413	2,248			
達成率	112.4%	70.7%	112.4%	0.0%	0.0%	0.0%
必要経費(千円)						
予算額	8,242	9,359	8,242			
決算額	8,239	8,673	8,239			



事業名	食の自立支援事業	担当課・係	高齢者福祉課 高齢者福祉係
事業概要 現状	高齢者が健康で自立した在宅生活を維持するため、栄養バランスに配慮した弁当の配達支援と見守りサービスを実施。市内在住の非課税世帯の独居高齢者又は高齢者のみ世帯を対象に、お弁当一食あたり400円を市で補助。	K P I	
		配食数(見守りサービス利用回数)	
課題	核家族化の進展により独居高齢者又は高齢者のみ世帯が増加傾向にあり、簡易で偏った食生活に陥ることにより、体力低下や肥満、高血圧などの疾患に発展する傾向がある。	単位	食
		目標	26,030
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績
		達成率	91.1%
今後の取組 の方向性	独居高齢者又は高齢者のみ世帯が増加傾向にあり、高齢者の自立した在宅生活を維持するため、山間地域への配食を含めて当該事業を維持していく必要がある。	必要経費(千円)	
		予算額	11,264
		決算額	9,794

K P I ・ 必要経費 経年比較						
単位	食	R4	R5	R6	R7	R8
目標	26,030	23,530	26,030	26,330	26,630	26,930
実績	23,723	24,563	23,723			
達成率	91.1%	104.4%	91.1%	0.0%	0.0%	0.0%
必要経費(千円)						
予算額	11,264	10,264	11,264			
決算額	9,794	9,826	9,794			



基本方針効果検証			
基本方針	⑤ 社会保障制度	主関連課	社会福祉課
健康で文化的な生活の保障			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	件	目標値	43	43	43	43	43
		実績値	33	28			
		達成率 (達成度)	76.7% 順調	65.1% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
		目標値					
		実績値					
		達成率 (達成度)					
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98	3.10			
		達成率 (達成度)	100.0%	104.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

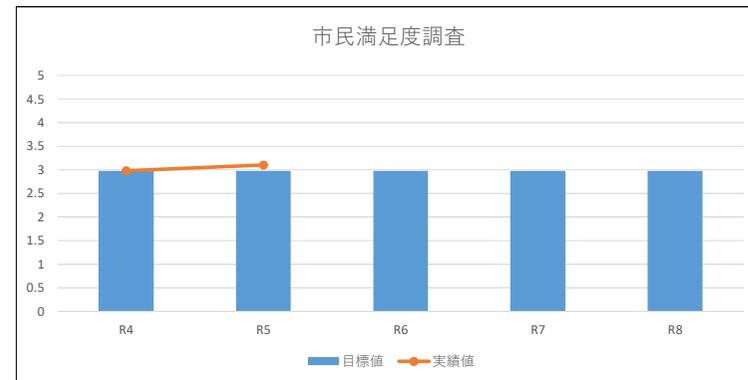
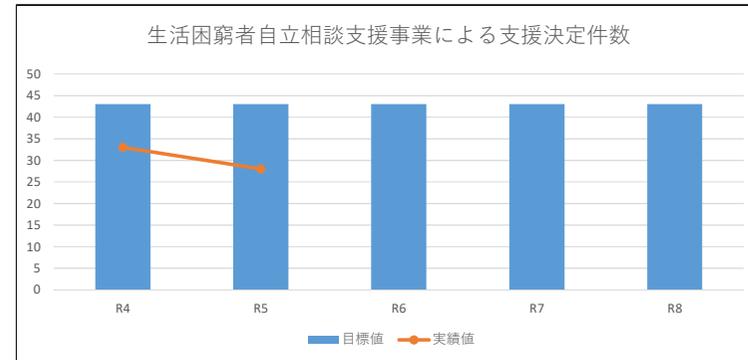
・生活困窮者自立支援法に基づく相談窓口「生活就労支援センターまいさぼ諏訪市」の運営を令和3年4月より諏訪市社会福祉協議会へ業務委託し、専任の相談員を追加配置するなど、体制の充実・強化を図っている。
 ・生活保護受給者数は近年増加傾向にあり、現在も高止まりの状態が推移している。
 ・子ども、障がい者、ひとり親等の早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図るため、福祉医療費給付事業を実施している。

●課題

・生活困窮者の自立支援については、多様で複合的な課題を抱える相談者が増加していることから、制度の有効利用及び関係機関との連携を強化するとともに、相談員の人材確保、育成を図る必要がある。
 ・生活保護は受給世帯数・支給額ともに高止まりの状況が続いており、処遇困難なケースも増えている。
 ・福祉医療給付金制度は、令和5年度からの対象年齢及び現物給付方式対象の拡大による給付費の増加が課題である。

●今後の取組の方向性

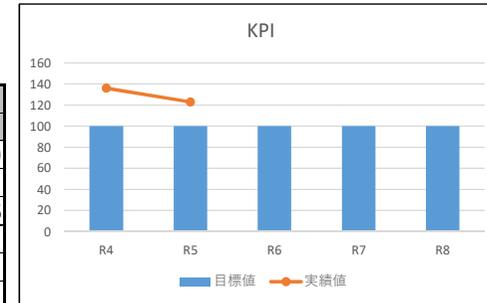
・まいさぼ諏訪市の運営を引続き社会福祉協議会に委託し、専門知識を必要とする相談員の人材確保、サービスの向上を図る。関係機関・団体等と連携を図り、情報共有を行い幅広いネットワークによる支援を行っていく。
 ・生活保護からの自立に向けた就労支援に努めるとともに、生活困窮者自立支援制度と協調した支援体制により生活保護の適正な運用に努める。
 ・引き続き、福祉医療費給付制度による支援を行うとともに、現物給付となる受給者に対し、医療機関の適切な受診に向けた啓発を行っていく。



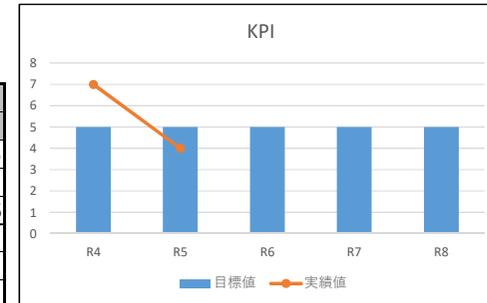
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

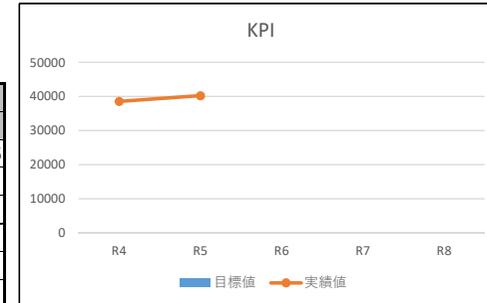
事業名	生活困窮者自立支援事業	担当課・係	社会福祉課 生活福祉係			
事業概要 現状	生活保護に至る前の第2の社会保障セーフティネットとして行う、生活困窮者自立支援法（H27.4月施行）に基づく事業。諏訪市では社会福祉課内に「まいざほ諏訪市」を相談窓口として設置し、生活困窮者の自立に向けた支援を行っている。					
課題	中高年を中心としたひきこもり等複合的な課題を抱える困難ケースが増加していることから、制度の有効利用及び関係機関との連携を強化する必要がある。					
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性	多様で複合的な課題を抱える生活困窮者に対して伴走型支援を行う。また、「R050問題」「ひきこもり」など、潜在的な困窮者に対してアプローチを進めるため、関係機関・団体等との連携を強化しアウトリーチに努める。また令和元年度より開始した「子どもの学習・生活支援事業」を継続する等貧困の連鎖を断ち切るための支援メニューの充実を図っていく。					
KPI						
新規相談件数						
KPI・必要経費 経年比較						
単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
目標	100	100	100	100	100	100
実績	123	136	123			
達成率	123.0%	136.0%	123.0%	0.0%	0.0%	0.0%
必要経費（千円）						
予算額	22,836	51,596	22,836			
決算額	20,371	36,817	20,371			



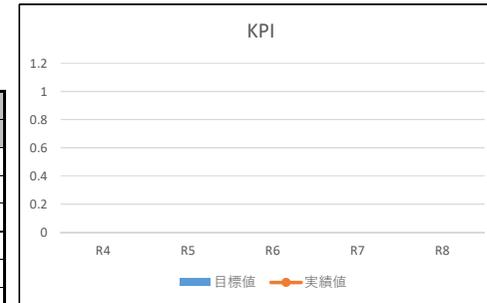
事業名	生活保護制度の運用	担当課・係	社会福祉課 生活福祉係			
事業概要 現状	経済的に困窮する者に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するため保護費を支給する制度。					
課題	受給者数が高止まりの状況であるため、今後も要保護者の自立促進を図り、保護費の抑制に努める。					
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性	生活保護制度は、経済的困窮者に対して最低限度の生活を保障するものであるが、その前提として能力や資産の活用、扶養親族等の援助を優先しつつ自立に向けた援助を継続して行う。また、平成27年度から実施されている「生活困窮者自立支援事業」とも連携しながら、経済的自立・社会的自立等に着目した支援を実施する。					
KPI						
就労により生活保護から自立した件数						
KPI・必要経費 経年比較						
単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
目標	5	5	5	5	5	5
実績	4	7	4			
達成率	80.0%	140.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
必要経費（千円）						
予算額	425,159	491,674	425,159			
決算額	403,826	449,006	403,826			



事業名	福祉医療費給付事業	担当課・係	市民課 国保医療係			
事業概要 現状	こども、障がい者、ひとり親等の早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図るため、受給者負担金（500円/1レセプト当たり）を超える医療費について給付を行うもの。令和5年度より、こどもの支給対象年齢及び現物給付方式の適用年齢を、15歳までから18歳までに拡大。給付費の一部については、県補助金を充当。					
課題	国全体の一人当たり医療費の増加並びに令和5年度からの対象年齢及び現物給付方式対象の拡大による給付費の増加が課題。					
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性	KPI指標の動向を踏まえつつ、医療機関の適正受診の啓蒙等を引き続き行っていく。また、本事業に関する他自治体の動向及び県補助金の動向等を注視し、必要に応じて本事業の在り方について検討を加える。					
KPI						
一人当たり給付費						
KPI・必要経費 経年比較						
単位	円	R4	R5	R6	R7	R8
目標	38,976±10%	38,400±10%	38,976±10%	39,561±10%	40,154±10%	40,756±10%
実績	40,206	38,569	40,206			
達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
必要経費（千円）						
予算額	384,353	350,433	384,353			
決算額	368,927	321,973	368,927			



事業名		担当課・係				
事業概要 現状						
課題						
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了					
今後の取組 の方向性						
KPI						
KPI・必要経費 経年比較						
単位		R4	R5	R6	R7	R8
目標						
実績						
達成率						
必要経費（千円）						
予算額						
決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	⑥ 健康づくり	主関連課	健康推進課
健康でいきいきとした暮らし			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
特定保健指導の実施率	%	目標値	50.6	50.6	50.6	60.0	60.0
		実績値	59.1	59.0			
		達成率 (達成度)	116.8% 非常に順調	116.6% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
			4.9	4.9	4.9	4.4	4.4
特定健診におけるⅡ度 高血圧の人の割合 (目標値以下)	%	目標値	10.1	4.3			
		実績値	10.1	4.3			
		達成率 (達成度)	48.5% 効果なし	114.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
			3.46	3.46	3.46	3.46	3.46
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.46	3.41			
		実績値	3.46	3.41			
		達成率 (達成度)	100.0%	98.6% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

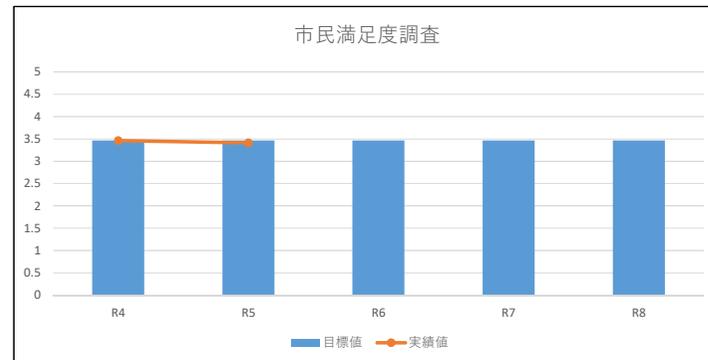
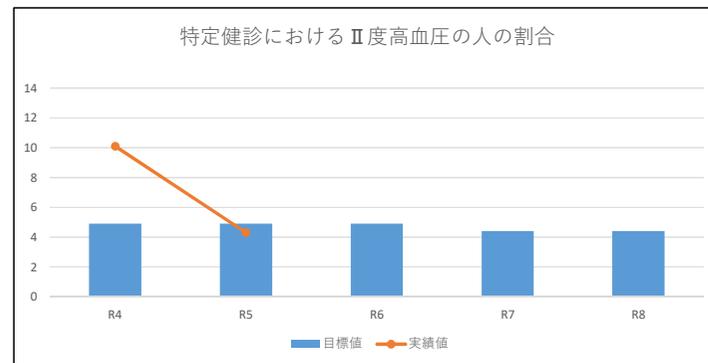
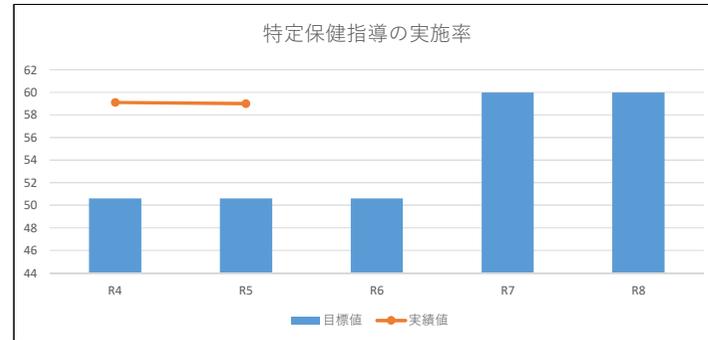
国保被保険者の特定健診受診率はコロナ禍が始まった令和2年度から低下がみられる一方で、特定保健指導実施率は徐々に上昇している。また、特定保健指導該当者以外で検査値が高い人に対して、健診の結果説明や個別保健指導を行っている。
 運動習慣の定着を目的とした「健康づくりプロジェクト」や糖尿病または耐糖能異常を指摘されている人を対象とした「血糖改善教室」を開催し、運動、食事についての学習や実践方法を学んでもらっている。
 主に75歳以上を中心とした高齢者については、介護予防教室や地域のサロンにおいて、同時に市の健康課題をもとにした健康教育を行い介護予防と保健事業を一体的に行っている。

●課題

特定健診の受診率が低下しており、生活習慣病の発症予防や重症化予防のためには継続的な健診受診が重要なため、受診率向上の方策を考える必要がある。
 また、令和6年度から開始している第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画の分析結果から、要介護者の有病として脳卒中が最も多かった。高血圧や動脈硬化を進行させる高血糖、脂質異常症について生活改善による予防と同時に、発症している場合は早期に受診・治療することを勧奨する必要がある。

●今後の取組の方向性

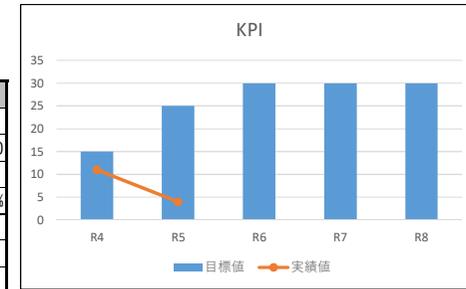
生活習慣病発症予防のための運動習慣の定着、食習慣・嗜好品の見直し、健診の継続的な受診を目指す。そのために、より効果的・効率的に行えるよう対象者を設定して抽出すると共に、周知啓発のため広く広報していく。(ハイリスク及びポピュレーションの両面からのアプローチ)
 また、各年代における健康課題を分析しながら、課題に対応した健康づくり、保健事業を実施していく。



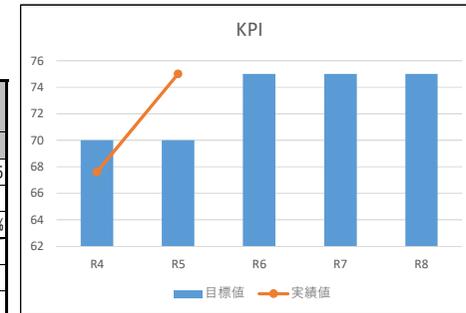
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	受動喫煙防止に向けた取組	担当課・係	健康推進課 健康予防係/健康支援係
事業概要 現状	重点区域を中心に巡回を行い、禁煙区域での喫煙、受動喫煙が発生している場合に喫煙者へ協力を求める。また、喫煙者の疾病予防等及び受動喫煙防止推進のため禁煙を希望する者に禁煙外来治療費の補助を行う。(禁煙チャレンジ補助金)		
課題	受動喫煙防止は禁煙を強要するものではなく、喫煙者がマナーを守り受動喫煙防止を意識してもらうこと、自らの健康への影響を考えてもらう機会となるよう、事業を推進していく必要がある。		
	単位	人	
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組の方向性	受動喫煙、禁煙チャレンジ補助金に関する定期的な啓発、周知を行う。		
	必要経費(千円)		
	予算額	390	1,000
	決算額	239	693



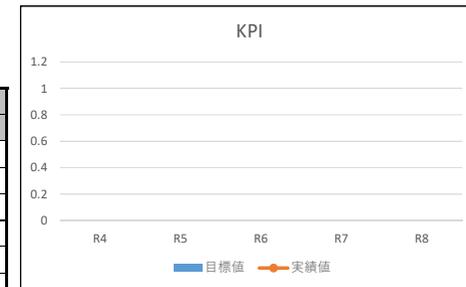
事業名	医療費適正化事業	担当課・係	健康推進課 健康支援係
事業概要 現状	当年度の特定健診の結果から、特定保健指導該当者以外で、検査値が受診勧奨値を超えかつ医療機関未受診の者に対して保健指導と受診勧奨を行い、疾病の発症を予防する。		
課題	生活習慣病は症状がないことから、保健指導、受診等に関する動機づけに乏しく、生活改善や必要な受診がなされない場合が多い。		
	単位	%	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組の方向性	対象者に来所してもらうことを基本としているが、来所しなかった者に対しても訪問・電話・通知によりアプローチを行い、いずれかの方法で情報提供等を継続していく。		
	必要経費(千円)		
	予算額	6,818	5,491
	決算額	5,121	4,293



事業名	すわかランド管理運営事業	担当課・係	健康推進課 健康予防係
事業概要 現状	厚生労働大臣認定健康増進施設であり、子どもからお年寄りまで市民の健康増進を目的として運営。令和4年度から第3期指定管理期間として新たな指定管理者のもと、民間の発想を取り入れたサービス構築が図られている。		
課題	施設の経年劣化による不具合箇所の増、指定管理者による省エネ設備投資も実施しているが、物価・電力等の価格高騰の影響等により指定管理者の経費および市の財政負担が増している。		
	単位	人	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組の方向性	個別施設計画に基づく中規模改修を見据えた施設修繕の実施。指定管理者による市民サービスの向上、コスト削減の取組を行う。		
	必要経費(千円)		
	予算額	71,700	128,582
	決算額	71,700	128,582



事業名		担当課・係	
事業概要 現状			
課題			
	単位		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	
	達成率		
今後の取組の方向性			
	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	⑦ 地域医療	主関連課	健康推進課
住み慣れた地域での医療及び包括ケアの充実			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
在宅当番医の利用者数	人	目標値	1,500	2,000	2,500	2,900	2,900
		実績値	2,002	2,569			
		達成率 (達成度)	133.5% 非常に順調	128.5% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	%	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	49.2	47.8			
		達成率 (達成度)	98.4% 順調	95.6% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56
		実績値	3.56	3.41			
		達成率 (達成度)	100.0%	95.8% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

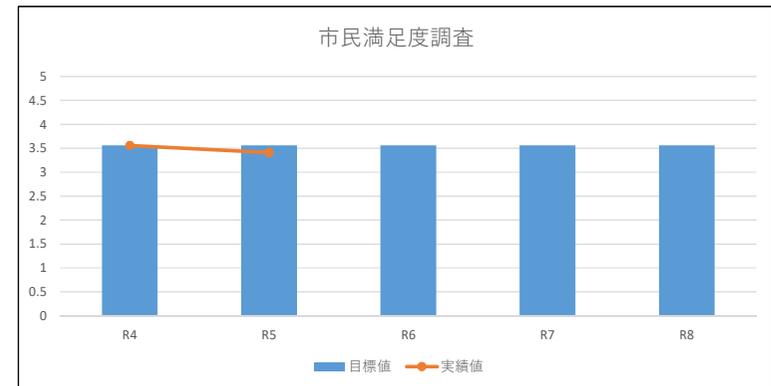
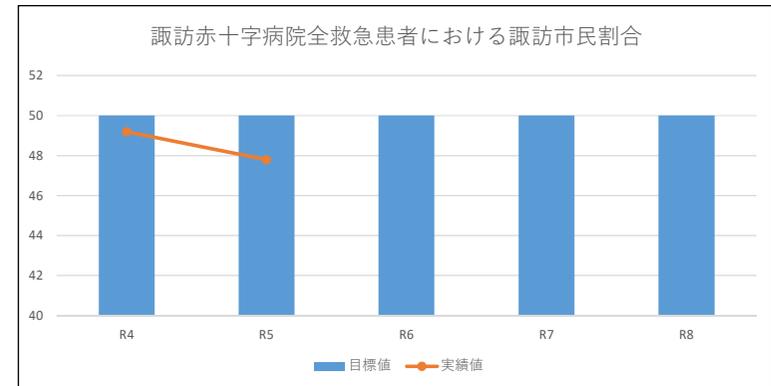
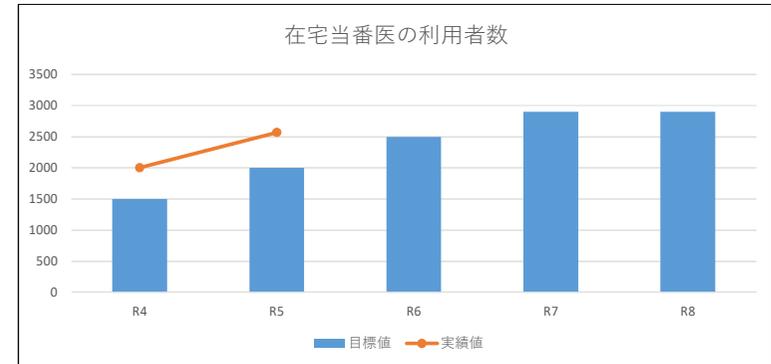
- ・基幹病院である諏訪赤十字病院や諏訪市医師会との連携により、医療資源の保護や活用を検討し、地域医療の充実に取り組んでいる。
- ・諏訪市医師会へ休日当番医制を委託し、諏訪赤十字病院ほかの輪番病院、広域消防との連携により救急医療体制の整備を行っている。
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、地域医療・介護連携推進センター「ライフドアすわ」と連携し取り組んでいる。

●課題

- ・新型コロナウイルス感染症は5類移行されたが、新たな新興感染症に備え、これまでの医療提供体制の維持及び急を要する特殊な対応ができる医療体制も求められている。
- ・地域医療体制について、2025年、2040年問題として、本市においても一般診療所における医師の高齢化や後継者不足、諏訪赤十字病院においても医療人材の不足が考えられる。
- ・地域包括ケアの充実のため、各種専門職や地域住民の協力と意識の醸成が必要。地域住民が様々な課題を他人事ではなく自分事としてとらえていく取組が必要。

●今後の取組の方向性

- ・諏訪市医師会、諏訪赤十字病院との連携体制を維持するため、定期的な協議等を継続していく。
- ・将来の地域医療体制については、長野県による諏訪医療圏地域医療構想を注視し、市として必要な対応に取り組む。
- ・「地域包括ケア推進会議」や日常生活の支援策を検討する「協議体」を継続開催し、医療・介護等の専門職や多くの地域住民に地域課題を認識してもらいながら、新たなインフォーマルサービスの創出とサービスを担う地域の多様な団体育成に努める。



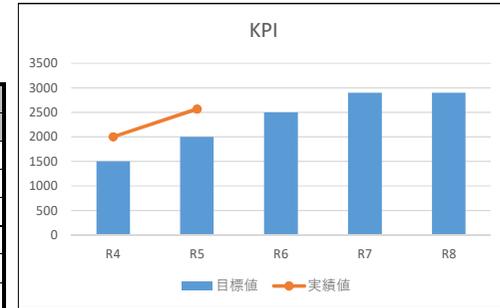
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

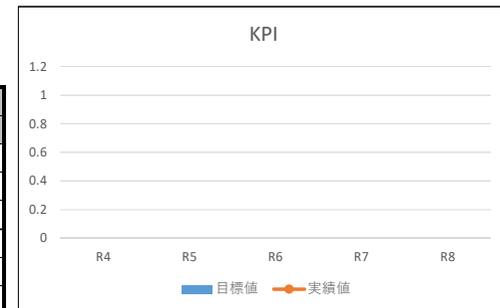
事業名	諏訪赤十字病院移転新築事業補助金	担当課・係	健康推進課 健康予防係					
事業概要 現状	諏訪赤十字病院移転新築に要する経費のうち、事業者の事業資金である50億円以内の借入金の元金及び年4%以内の利子相当額について、長期に亘り財政支援を行うもの。							
課題	公立病院を有さない当市の市民病院的役割を持ち、救急医療を含めた高度医療を提供する諏訪赤十字病院の体制を維持するためにも、長期にわたる財政支援が必要である。	K P I						
		諏訪赤十字病院全がん患者における諏訪市民割合						
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
今後の取組 の方向性	2025年、2040年問題を抱える地域医療体制における高度急性期医療、専門医療を担う諏訪赤十字病院とは、定期的に協議を実施し、必要な支援や連携を検討する。	目標	30.5	30.5	30.5	30.5	30.5	
		実績	30.8					
		達成率	101.0%	100.0%	101.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		必要経費(千円)						
		予算額	167,390	167,390				
		決算額	167,390	167,390				



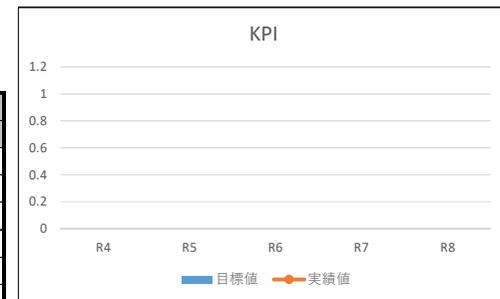
事業名	休日在宅当番医制運営事業	担当課・係	健康推進課 健康予防係					
事業概要 現状	休日・夜間等に発生した突発的の傷病について、市民が医療の提供を受けることができるよう、諏訪市医師会に対し、在宅当番医制の運営を委託、初期救急医療の整備を図る。							
課題	少子高齢化・人口減少による地域医療体制確保のための医療人材不足が懸念される。またコンビニ受診や感染症流行期の受診マナーを市民へ周知啓発することにより、医療機関の負担を軽減する必要がある。	K P I						
		在宅当番医の利用者数						
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
今後の取組 の方向性	市民が必要に応じ、休日等であっても適切な医療を安心して受けられるよう、諏訪市医師会と連携し、初期救急医療体制を維持していく。	目標	2,000	1,500	2,000	2,500	2,900	2,900
		実績	2,569	2,002	2,569			
		達成率	128.5%	133.5%	128.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		必要経費(千円)						
		予算額	11,069	11,080	11,069			
		決算額	11,047	11,058	11,047			



事業名		担当課・係					
事業概要 現状	K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位		R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標					
		実績					
今後の取組 の方向性		達成率					
		必要経費(千円)					
		予算額					
		決算額					



事業名		担当課・係					
事業概要 現状	K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位		R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標					
		実績					
今後の取組 の方向性		達成率					
		必要経費(千円)					
		予算額					
		決算額					



基本方針効果検証			
基本方針	⑧ 学校教育	主関連課	教育総務課
自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	%	目標値	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
		実績値	83.2	77.6			
		達成率(達成度)	109.5% 非常に順調	100.8% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
奨学金制度の新規利用者	人	目標値	8	8	8	8	8
		実績値	6	7			
		達成率(達成度)	75.0% 努力が必要	87.5% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98	3.20			
		達成率(達成度)	100.0%	107.4% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

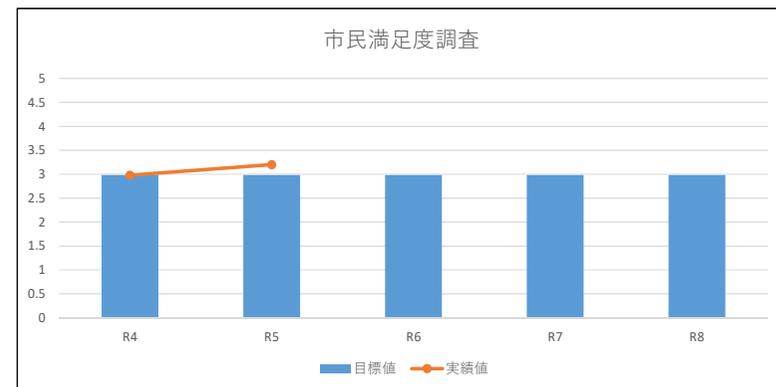
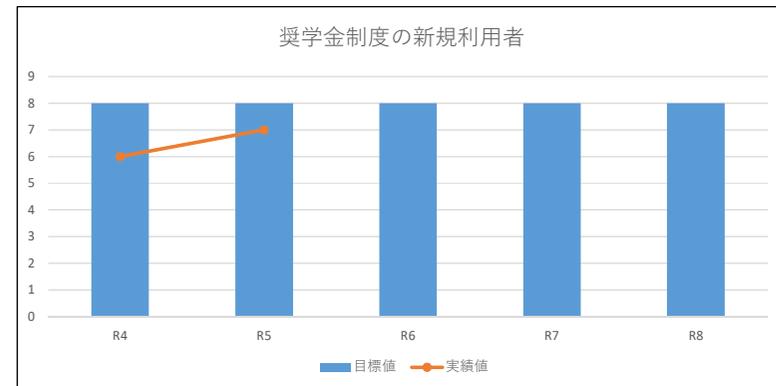
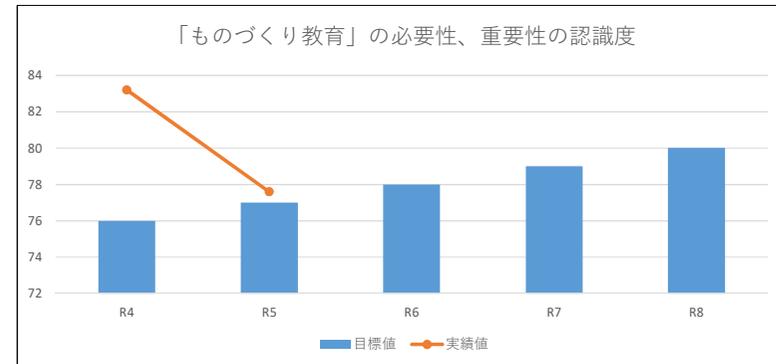
- ・基礎的な学力の定着を基盤に、情報活用力・判断力・表現力・問題解決力等の「生きる力」を育てる教育の重要性が高まっている。
- ・相手意識に立つものづくり科という諏訪市独自の教育は、子どもたちの体験の幅の増大や表現力や課題解決力という生きる力の育成に繋がっている。
- ・奨学金制度については、国等の動向を見定めたくうえで、より柔軟な対応が求められている。
- ・ICT環境整備が行われ、学校における更なる活用と、情報モラル教育が必要となっている。
- ・老朽化や学校環境の多様化に対応した施設整備や改修等、安全安心な学習環境づくりが必要。
- ・子どもたちを取り巻く社会環境、情報環境が複雑化し、個別の事情等に応じた支援が必要。

●課題

- ・様々な特性をもつ児童生徒が増加傾向にあり、特別支援教育の更なる充実が必要。
- ・多様化する家庭環境により、就学への経済的支援について、より柔軟な対応が必要。
- ・GIGAスクール構想実現のため端末の整備を実施したが、今後も時代の変化に応じた新たなツールの教育現場への導入が想定される。
- ・地域の実情や特性を踏まえつつ、市内小中学校の適正規模・配置をすることが必要。
- ・いじめや不登校の要因・背景によっては、様々な機関が連携して対応する必要があり、問題解決や社会的自立に向けた協力体制や受け皿の確保が必要。

●今後の取組の方向性

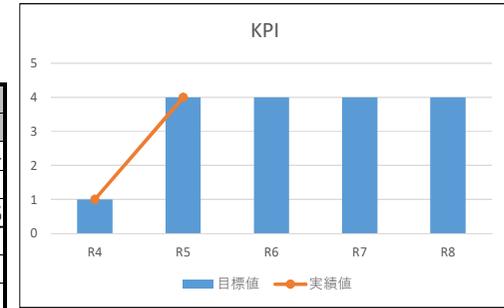
- ・年度ごと作成する学校教育の具体的な計画「未来創造『あい』プラン」に基づき、全ての児童生徒が学びあい、認めあい、支えあい、自分らしく学べる学校づくり、学級づくりに取り組む。
- ・諏訪版キャリア教育としてのものづくり教育を更に深め充実させる。
- ・特別な支援を必要とする子どもが安心して学校生活が送れるように、支援を充実させる。
- ・経済的に厳しい家庭への就学援助や奨学金の支給・貸与を継続して行う。
- ・いじめ問題や不登校など児童生徒の悩みや課題に対し、チームで寄り添い支援する。
- ・ICT教育を更に推進する。
- ・未来創造ゆめスクールプランに掲げた小中一貫教育学校の設置に向け、着実に推進する。
- ・小中一貫教育学校を見据えた計画的な学校施設の改修・修繕を進める。



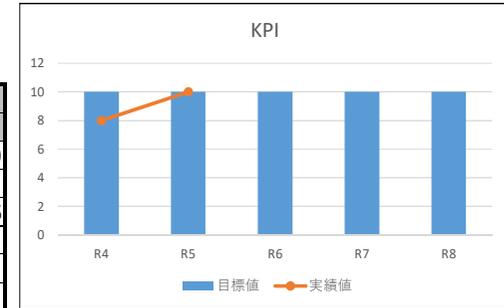
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

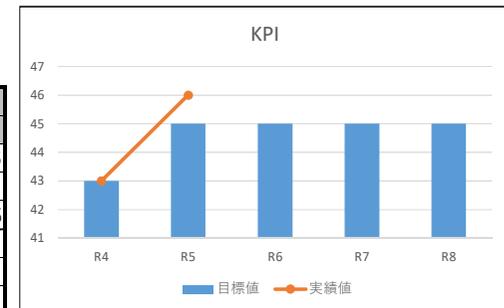
事業名	未来創造ゆめスクールプラン事業	担当課・係	教育総務課 教育企画係				
事業概要 現状	「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画に基づき、市内小中学校の小中一貫教育を進め、施設分離型においても実践可能な教育課程の研究、R5年度より南部地区の再編・整備に向けた推進委員会を立ち上げ協議を進めている。						
課題	K P I 小中一貫教育（併設型・分離型）						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
	単位	中学校区	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
	目標	4	1	4	4	4	4
	実績	4	1	4			
今後の取組 の方向性	施設分離型においても実践可能な小中一貫教育の教育課程の研究を進める。併せて、南部地区の再編・整備に向けた基本構想を策定し、建設基本設計の準備を進めていく。						
	必要経費（千円）						
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		予算額	13,327	8,251	13,327		
		決算額	13,220	8,036	13,220		



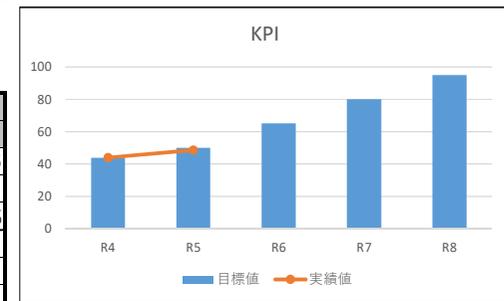
事業名	ICT教育推進事業	担当課・係	教育総務課 教育企画係				
事業概要 現状	小中学校において1人1台端末を配備し、タブレットを活用した授業を実践するとともに全小中学校に導入した電子黒板を活用し双方向型の授業等ICT教育を効果的に実施している。						
課題	K P I 端末利活用状況等実態調査（週1回以上の端末利活用状況）						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
	単位	校	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
	目標	10	10	10	10	10	
	実績	10	8	10			
今後の取組 の方向性	ICTの効果的な活用を進めるため、教職員のICT活用指導力の向上が必要である。児童生徒がICTを適切に活用し、論理的思考力や情報活用能力を育成する授業展開が必要。						
	必要経費（千円）						
	達成率	100.0%	80.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
		予算額	96,009	175,908	96,009		
		決算額	95,342	173,695	95,342		



事業名	児童・生徒学習支援事業	担当課・係	教育総務課 学務係				
事業概要 現状	小中学校に学習支援員を配置し、授業中の学習支援を行うとともに、自立生活支援員を配置し、肢体不自由等の障がいや様々な特性を抱える児童生徒に対し、自律した生活習慣の定着や安全な学校生活を送るための支援を行う。						
課題	K P I 学習支援員・自立生活支援員数						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
	単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
評価	B:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
	目標	45	43	45	45	45	
	実績	46	43	46			
今後の取組 の方向性	支援が必要な児童生徒が増加しており、学校現場や保護者からの支援員の配置要望が年々高まっているが、支援員の人材確保が課題である。						
	必要経費（千円）						
	達成率	102.2%	100.0%	102.2%	0.0%	0.0%	
		予算額	37,976	35,048	37,976		
		決算額	37,659	34,520	37,659		



事業名	学校施設整備事業	担当課・係	教育総務課 教育総務係				
事業概要 現状	建築年数が長期間経過し老朽化している校舎を中心に、学校施設維持のための施設整備を行う。						
課題	K P I 学校トイレ洋式化率						
	K P I ・ 必要経費 経年比較						
	単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
	目標	50	43.9	50	65	80	
	実績	48.6	43.9	48.6			
今後の取組 の方向性	・未来創造ゆめスクールプランとも連携し、学校施設のより実効的な長寿命化計画の策定及び計画的な修繕等が必要。 ・トイレ洋式化率の向上、エアコン未設置教室への対応。						
	必要経費（千円）						
	達成率	97.2%	100.0%	97.2%	0.0%	0.0%	
		予算額	22,637	30,004	22,637		
		決算額	22,637	29,991	22,637		



基本方針効果検証			
基本方針	⑨ 地域教育	主関連課	教育総務課
地域に学び、地域に生きる子どもを育てる			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
学校支援ボランティア参加者延べ数	人	目標値	20,000	20,250	20,500	20,750	21,000
		実績値	7,602	8,668			
		達成率 (達成度)	38.0% 努力が必要	42.8% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
地区育成会等活動支援事業参加者数	人	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績値	1,249	1,537			
		達成率 (達成度)	78.1% 努力が必要	96.1% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13
		実績値	3.13	3.18			
		達成率 (達成度)	100.0%	101.6% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

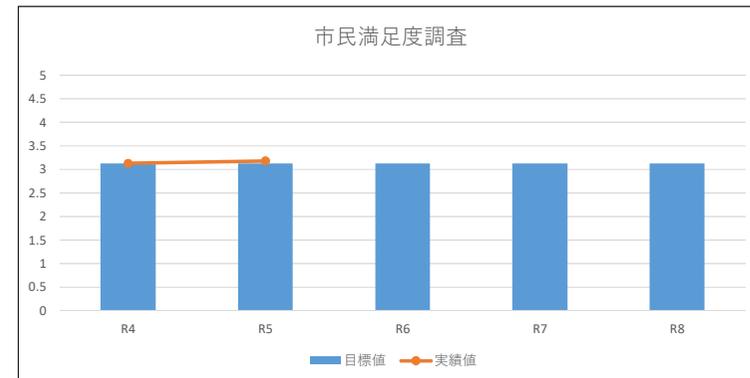
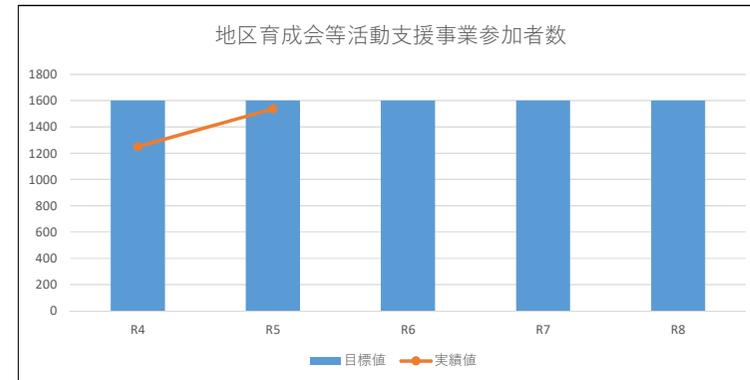
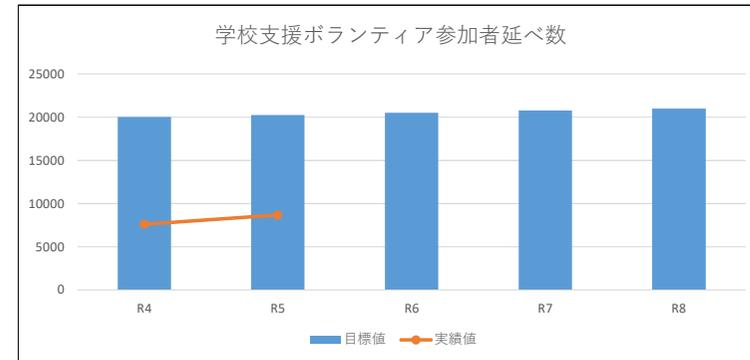
・少子化が急激に進み、地域における子どもの活動が減少していく中で、子どもたちの地域との豊かな関わりの創出・郷土への関心が求められている。
 ・子どもが地域で学び、地域が子どもを育てることを促進するには、コミュニティスクールとの連携が必須である。
 ・地域教育を促進するには、地域社会で子どもを見守る土壌をつくり、地域活動への子どもたちの積極的な参画を促す方策の検討が必要。
 ・情報機器の急速な普及等により、青少年がネット上のトラブルに巻き込まれる可能性が高まっている。

●課題

・少子高齢化が進むことで、地域行事の減少や活動に参画する人材の確保が困難になることが考えられる。
 ・各種感染症感染拡大などにより、地域活動の制限がされることで、地域と子どもの関わりが弱くなってしまいう可能性がある。

●今後の取組の方向性

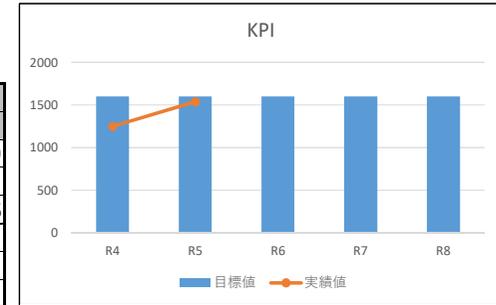
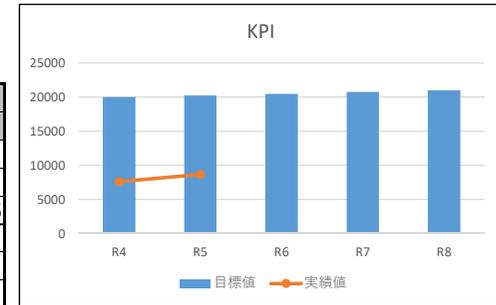
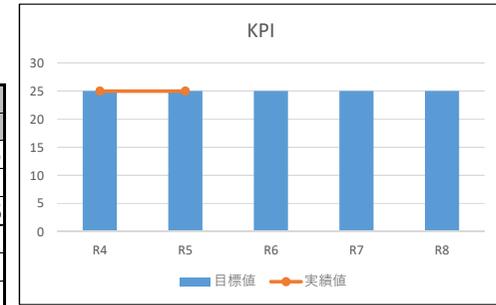
・コミュニティスクールを通じた学校運営参画をすることで、学校と地域の信頼関係を深め、地域教育力を高める。
 ・諏訪版キャリア教育としてのものづくり教育に、地域ぐるみで取り組む。
 ・郷土諏訪の「ひと・もの・こと」を題材にした「ふるさと学習」の充実を図る。また、生涯学習施設と連携し地域の歴史文化や芸術を学ぶ機会を増やす。
 ・子どもたちが地域活動に積極的に参加できる機会を得るため、地域の育成会が実施する育成事業、伝統文化事業への支援をする。
 ・少年愛護委員による定期的な街頭巡視活動を行いながら、地域の中で子どもたちをとりまく環境を見守り、地域の安心・安全につながるよう委員活動の充実を図る。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	ものづくり教育推進事業	担当課・係	教育総務課 教育企画係
事業概要 現状	諏訪のものづくりの精神を児童生徒に伝えるため、企業・行政・教育の3者による「地域密着型ものづくり講座」を実施。「相手意識に立つものづくり科」授業では子供たちが使うのことを考えて作品を製作し、思いやりや助け合いの心を身につける。	KPI	相手意識に立つものづくり科 年間授業時間(各学年あたり)
課題	地域の特性(ひと・もの・こと)を指導に活かし、地元の人材や地元企業との連携を持ち、地域素材を活用した学習活動を展開していく必要がある。	単位	時間
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	25
今後の取組の方向性	諏訪地域の「ものづくり精神」を生かした「相手意識に立つものづくり科」を実施し、諏訪版キャリア教育としての「ものづくり教育」を更に深め充実させる。	実績	25
		達成率	100.0%
		必要経費(千円)	
		予算額	8,520
		決算額	6,600
		R4	25
		R5	25
		R6	25
		R7	25
		R8	25
		必要経費(千円)	
		予算額	6,620
		決算額	8,520
		R4	6,600
		R5	8,520
		R6	
		R7	
		R8	
		必要経費(千円)	
		予算額	4,068
		決算額	3,815
		R4	4,252
		R5	4,068
		R6	
		R7	
		R8	
		必要経費(千円)	
		予算額	2,072
		決算額	2,018
		R4	2,060
		R5	2,072
		R6	857
		R7	2,018
		R8	
		必要経費(千円)	
		予算額	5,173
		決算額	3,731
		R4	3,458
		R5	5,173
		R6	
		R7	
		R8	
		必要経費(千円)	
		予算額	2,072
		決算額	2,018
		R4	2,060
		R5	2,072
		R6	857
		R7	2,018
		R8	
		必要経費(千円)	
		予算額	5,173
		決算額	3,731
		R4	3,458
		R5	5,173
		R6	
		R7	
		R8	



基本方針効果検証			
基本方針	⑩ 生涯学習・文化芸術	主関連課	生涯学習課
学びや文化芸術に、親しみ、活かし、つなぐ			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	%	目標値	22	24	26	28	30
		実績値	15	38			
		達成率(達成度)	68.2%	158.3%	0.0%	0.0%	0.0%
			努力が必要	非常に順調			
生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	人	目標値	310	320	330	340	350
		実績値	235	338			
		達成率(達成度)	75.8%	105.6%	0.0%	0.0%	0.0%
			努力が必要	非常に順調			
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.22	3.22	3.22	3.22	3.22
		実績値	3.22	3.06			
		達成率(達成度)	100.0%	95.0%	0.0%	0.0%	0.0%
				順調			

●基本方針の現状

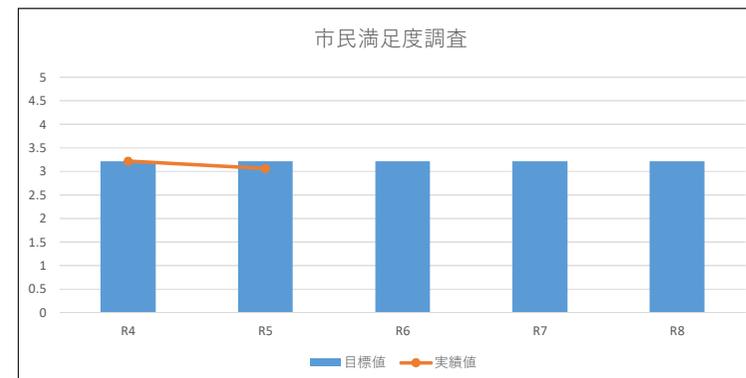
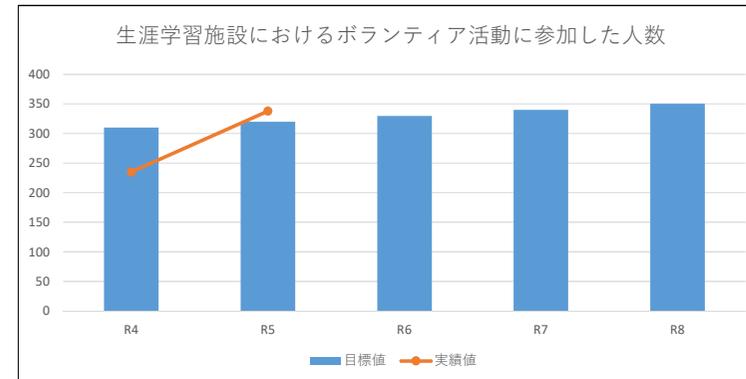
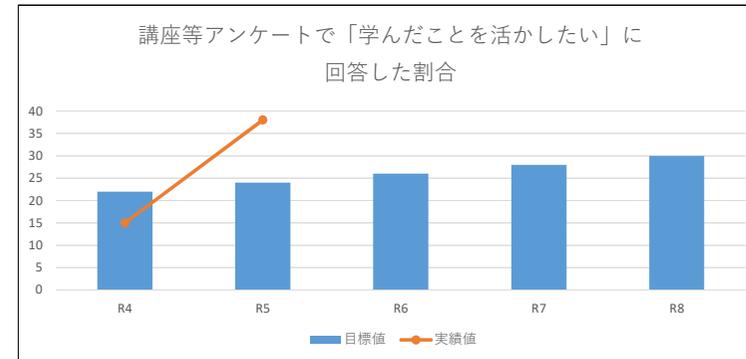
- 行政機関・民間機関等多様な場で、子どもから大人までを対象とした多くの学びや文化芸術に親しむ機会が提供されている。
- 学びや習熟した文化的技能を活用し、人から人へつなげ、まちづくり等の社会貢献や地域課題解決に結びつける仕組みの確立が必要である。
- 多様性を認め、世代を超えた交流から、まちづくりの人材発掘、地域力の向上につながる事が求められている。
- 読書は、自ら考える力や生きる力を育むものとして重要であり、読書習慣の定着とともに学びにつなげる主体性や本を活用する力の育成が課題である。
- 生涯学習施設は老朽化しており、あり方の検討や、場にこだわらない事業展開が求められている。

●課題

- 人口減少や高齢化に伴い、学びや文化芸術に親しむ機会が減少、あるいは固定化することが考えられる。
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大等に起因した人のつながりの希薄化により、支え合い共存する力、ひいては地域力の低下が想定される。
- 情報社会において技術革新が進んでおり、生涯学習・文化芸術分野も情報発信に留まらない通信ツールの活用により、学びやつながりを深める必要が出てきている。
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大を契機に読書が見直されており、今後長年にわたり親しんでもらうための取組が必要となる。

●今後の取組の方向性

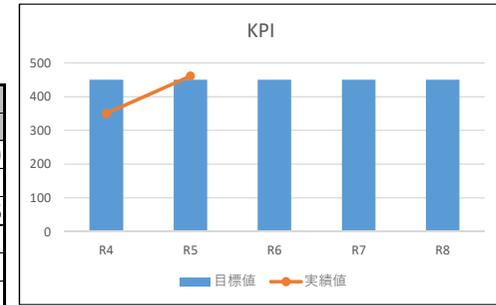
- 市民一人ひとりが文化や芸術に親しみ、生涯にわたり自発的に学び続けることは、社会の一員として自立した個人を育むために、また、豊かな人生を歩むために重要である。私たちは、多くの人とつながりながらこの地域で生活しており、個人やグループが学んだ成果を活かし、生涯学習活動や地域活動を支えることは、諏訪の地域力向上にもつながり、学びや文化芸術活動の定着にもつながる。
- 諏訪の特色を捉えた学びがいつでもどこでも誰でもできること、地域課題の解決に活かせること、学びを通じて仲間を広げ、人と人とがつながることができる諏訪市を目指す。



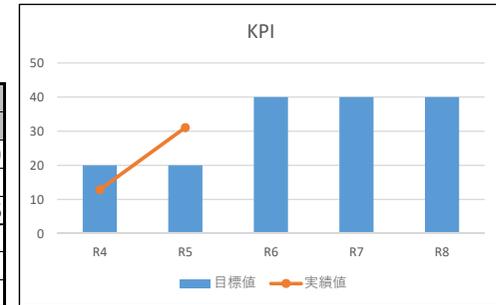
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

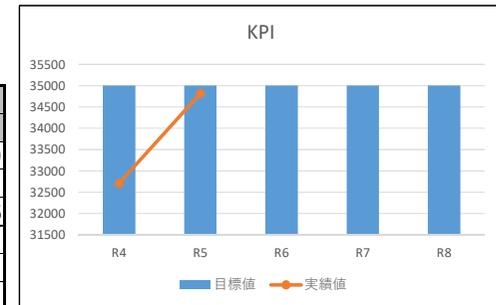
事業名	芸術祭開催事業	担当課・係	生涯学習課 生涯学習係					
事業概要 現状	伝統芸能や音楽など優れた文化芸術に触れる機会を提供するため、諏訪市芸術祭を実施している。(令和5年度は「年忘れ すわ亭」461人参加)	K P I						
		参加人数						
課題	人口減少や高齢化に伴い、学びや文化芸術に親しむ機会が減少、あるいは固定化することが考えられる。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	450	450	450	450	450	450
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	461					
		達成率	102.4%	77.8%	102.4%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	メイン会場である文化センターホールの特徴を活かすとともに、多世代の方々に楽しんでいただくよう公演内容の選定を行う。	必要経費(千円)						
		予算額	2,000	2,000				
		決算額	1,991	2,000	1,991			



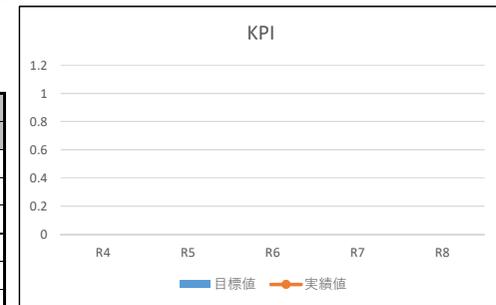
事業名	種まくブック事業	担当課・係	生涯学習課 図書館					
事業概要 現状	18歳新成人へのお祝いに、岩波新書またはジュニア新書を贈る。対象は諏訪市在住または出身の今年度18歳になる市民。申込はなかの電子申請で行う。	K P I						
		対象者に対する申込件数の割合						
課題	申込数が少ない。周知のため、高校の協力のもと、PRコーナーの設置やチラシの配布を行い、未申込者へ再度郵送で通知をするなどしたが、まだ3割にとどまっている。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	20	20	20	40	40	40
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	31.1	12.9	31.1			
		達成率	155.5%	64.5%	155.5%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	申込促進のため、高校やすわっちゃオ等、対象者が集まる場所で、チラシを配布する、SNSを活用するなど、事業のPRを行う。未申込者へは再度郵送で案内を送る。選書の幅を広げ、岩波新書だけでなく岩波文庫等も選べるようにする。	必要経費(千円)						
		予算額	594	1,741	594			
		決算額	261	629	261			



事業名	公民館四館施設整備事業	担当課・係	生涯学習課 公民館					
事業概要 現状	諏訪市公民館の四条例館は、築30年以上が経過し、建物の経年劣化、設備の老朽化が進んでいるため、計画的かつ効率的な施設整備を行っている。また同時に、本館及び別館の近い将来の解体に備え受入体制の整備を実施。	K P I						
		年間利用者数						
課題	引き続き経年劣化や地盤沈下の影響による突発的な不具合に対する修繕等が必要となっている。本館及び別館の解体に伴う受入体制の整備に当たり、駐車場の増設が大きな課題となっている。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	34,817	32,710	34,817			
		達成率	99.5%	93.5%	99.5%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	生涯学習活動の拠点、地域防災の一次避難所として計画的修繕を実施しつつ、今後の条例四館のあり方を踏まえた施設整備を行っていく。	必要経費(千円)						
		予算額	31,567	28,989	31,567			
		決算額	27,669	28,230	27,669			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
		目標						
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
		達成率						
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	① スポーツ振興	主関連課	スポーツ課
誰もが気軽に楽しく親しめるスポーツ			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
スポーツ施設利用者数	人	目標値	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000
		実績値	212,002	243,390			
		達成率 (達成度)	111.6% 非常に順調	128.1% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合	%	目標値	92.6	93.2	93.8	94.4	95.0
		実績値	91.7	93.6			
		達成率 (達成度)	99.0% 順調	100.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
		実績値	3.20	3.15			
		達成率 (達成度)	100.0% 順調	98.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

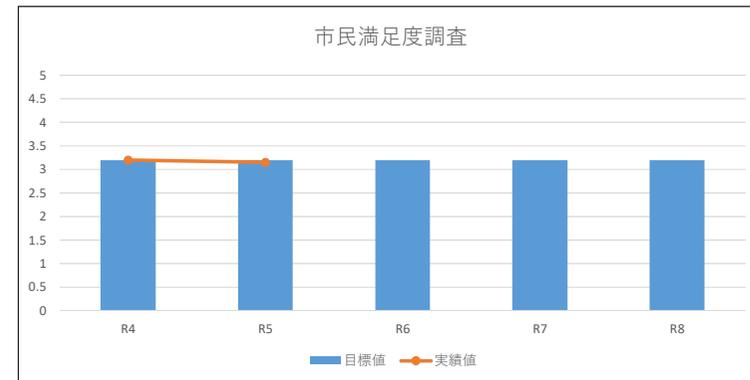
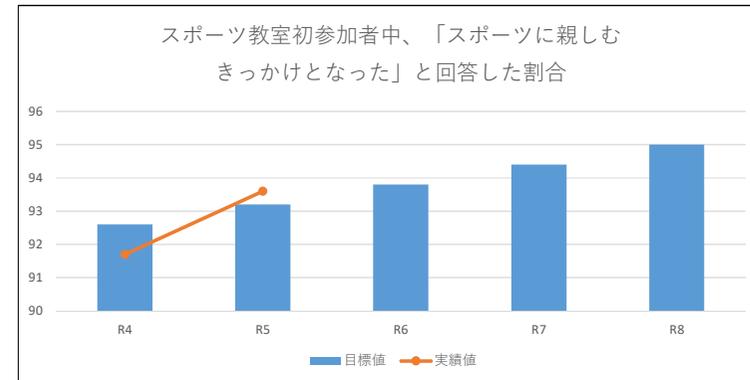
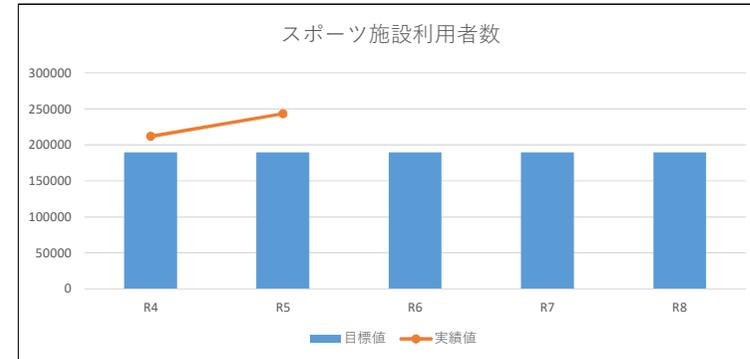
- ・市スポーツ協会や市スポーツ少年団は会員の減少が続き、年少人口を中心にスポーツ人口は減少している。
- ・スポーツの振興・活性化を図るため、指導者やリーダーの確保・養成が必要となっている。
- ・幼少期から無理なく楽しく身体を動かすきっかけづくりとして実施している、保育園での「運動あそび教室」を、さらに小学校入学後や家庭での取組へとつなげる方策が必要となっている。
- ・市内スポーツ施設は全体的に老朽化が進んでいる。定期的な点検・整備、計画的な改修が必要である。

●課題

- ・少子化の進行により、子どもたちが希望するスポーツをできる機会が減少する可能性がある。
- ・スポーツ施設を維持していくため、機能の集約や廃止の検討を進めていく必要性が高くなることが想定される。
- ・高齢化による社会保障費の増加が課題であるが、医療費の安定化やいきいきとした生活を実現するため、今以上に健康寿命の重要度が高くなることが想定される。

●今後の取組の方向性

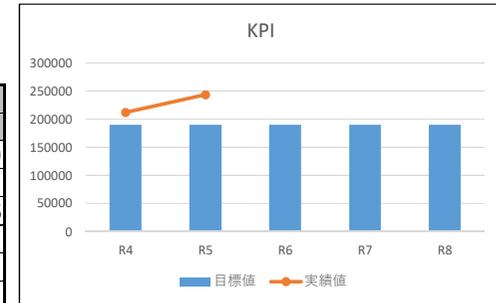
- ・健康づくりや生きがいを求める意識が高まる中、日常生活における運動やスポーツの役割はますます大きくなっている。
- ・文字通り健康づくりに取り組むことで健康寿命は延伸し、社会保障費の安定化にもつながる。これを実現するため、普及活動や施設等の環境整備が必要不可欠となる。
- ・スポーツに対する関心を高め、より身近に感じてもらうことで、市民の誰もが、それぞれの年齢、体力、目的や興味等に応じてスポーツに親しむことができるようになり、生活の一部として楽しく気軽に取り組んでいける。そうした取組から、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。



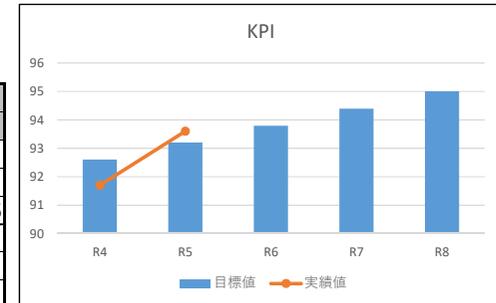
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

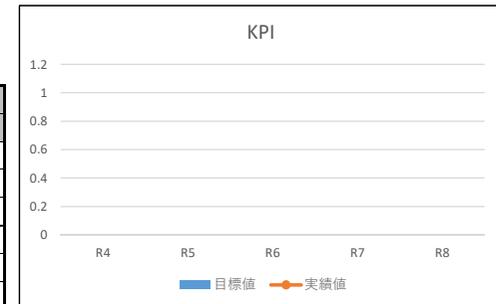
事業名	施設整備事業	担当課・係	スポーツ課 施設管理係					
事業概要 現状	各スポーツ施設の適切な管理・整備等を行ない、施設の利用者が安全、快適にスポーツのできる環境を提供する。		KPI					
			スポーツ施設利用者数					
課題	各施設それぞれ老朽化が進んでいることから、施設の安全性・快適性を保持しながらも維持管理コストを抑え、長寿化していくことが課題となっている。		KPI・必要経費 経年比較					
	単位	人	R4 R5 R6 R7 R8					
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000
			実績	243,390	212,002	243,390		
今後の取組 の方向性	・老朽化する施設の修繕を早期かつ計画的に実施することで、長期的なコスト削減を進めながら延命措置を図る。 ・公共施設等総合管理計画の個別施設計画に沿って、施設の機能移管や機能統合等に取り組んでいく。		達成率	128.1%	111.6%	128.1%	0.0%	0.0%
			必要経費(千円)					
	予算額	258,940	259,717	258,940				
	決算額	254,905	257,354	254,905				



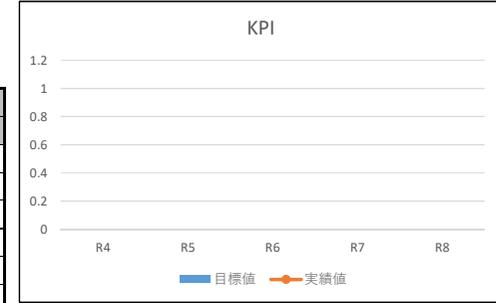
事業名	スポーツ振興事業	担当課・係	スポーツ課 スポーツ振興係						
事業概要 現状	全ての市民が、それぞれの年齢や体力、目的や興味等に応じてスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ教室等を検討・企画し、生涯にわたり気軽に楽しくスポーツに親しむための機会を提供する。		KPI						
			スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しむきっかけとなった」と回答した割合						
課題	・スポーツ協会やスポーツ少年団の会員減少が続いており、年少人口を中心にスポーツ人口が減少している。 ・スポーツ振興や活性化を図るため、指導者やリーダーの確保や育成が必要である。		KPI・必要経費 経年比較						
	単位	%	R4 R5 R6 R7 R8						
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	93.2	92.6	93.2	93.8	94.4	95.0
			実績	93.6	91.7	93.6			
今後の取組 の方向性	・各スポーツ団体と連携を図り、大会や教室の開催といった活動を支援し活動の活性化を図るとともに、指導者やリーダーの育成を支援していく。 ・保育園での運動あそび教室の実施や、小学校低学年までを対象とする親子教室の開催等、幼少期から日常生活の中で運動が定着することを旨とする。		達成率	100.4%	99.0%	100.4%	0.0%	0.0%	
			必要経費(千円)						
	予算額	11,470	11,724	11,470					
	決算額	10,360	10,282	10,360					



事業名		担当課・係						
事業概要 現状			KPI					
課題			KPI・必要経費 経年比較					
	単位		R4 R5 R6 R7 R8					
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標					
			実績					
今後の取組 の方向性			達成率					
			必要経費(千円)					
	予算額							
	決算額							



事業名		担当課・係						
事業概要 現状			KPI					
課題			KPI・必要経費 経年比較					
	単位		R4 R5 R6 R7 R8					
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標					
			実績					
今後の取組 の方向性			達成率					
			必要経費(千円)					
	予算額							
	決算額							



基本方針効果検証			
基本方針	⑫ 文化財保護・活用	主関連課	生涯学習課
諏訪の特色である文化遺産を守り、活かす			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	みんなに愛のあるライフステージ実現	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	%	目標値	32	34	36	38	40
		実績値	10	29			
		達成率(達成度)	31.3% 効果なし	85.3% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
文化遺産関連の保存活動に参加した人数	人	目標値	93	96	99	102	105
		実績値	146	185			
		達成率(達成度)	157.0% 非常に順調	192.7% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28
		実績値	3.28	3.09			
		達成率(達成度)	100.0%	94.2% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

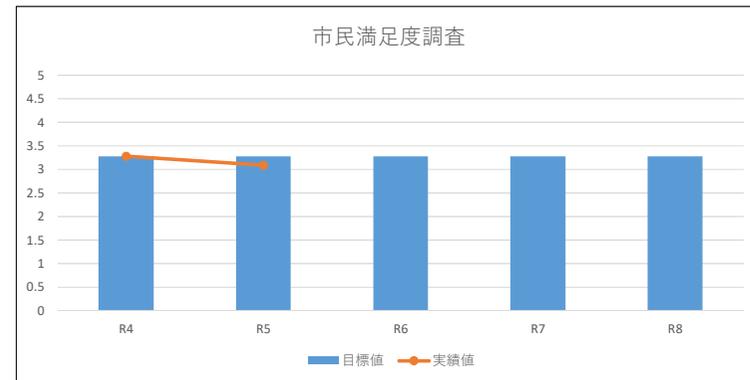
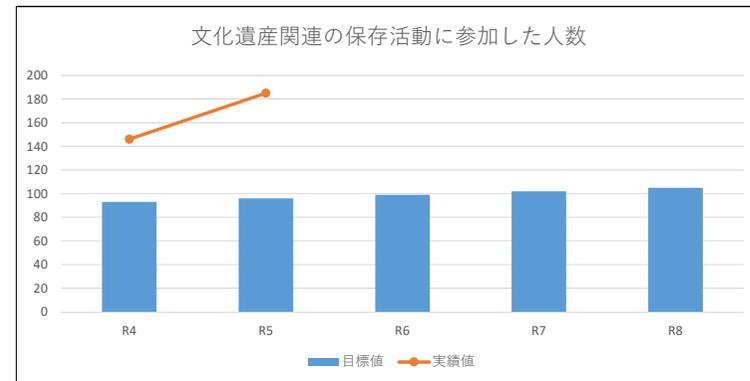
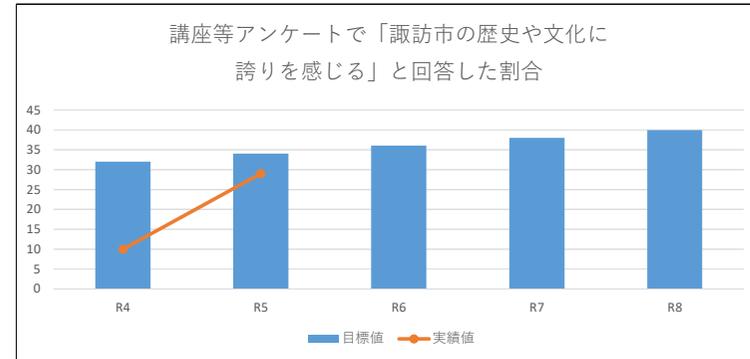
- ・多くの文化遺産が保護を図るべきものとして文化財指定され、また博物館や美術館等に収蔵され保護されている。
- ・各館収蔵庫が手狭になっており、資料が活用しにくい状況であるとともに、館外収蔵施設についても老朽化が進行している。
- ・文化遺産の意義について多くの人に理解を得る必要があるが、わかりやすい説明が不足している。また、文化遺産を歴史的背景、ストーリー等でつなぎ、観光面等多くの分野で広く活用することが検討されている。
- ・文化遺産を守り伝えることは労力や財力を必要とするため、所有者や行政の負担が増している。

●課題

- ・生活様式や価値観、世界情勢等の変化に伴い、歴史資料や近代建築、美術作品等の文化遺産が失われることがある。
- ・価値観の多様化が進む中で文化遺産の保存・継承を継続するためには、その意義を市民と共有し、市民を巻き込んだ保護活動を行うことが必要となっている。
- ・歴史・文化を含む、まちが持つ魅力に気づき活かすことが重要となっている。そのために、文化遺産の確実な保存と、魅力が伝わるような整備と公開を進めることが必要である。

●今後の取組の方向性

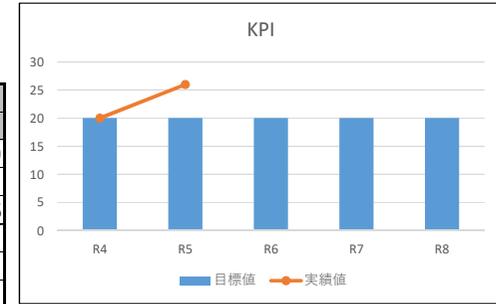
- ・文化財保護事業の明確化と共通理解を図るため、文化財保存活用基本方針の策定に取り組む。
- ・文化財の価値を把握したうえで重要なものを指定し所有者とともに保護に努める。
- ・適切な保存・活用のため、文化財修理等に対して補助金支出により財政支援を行う。
- ・登録文化財となっている公共施設について適切な保存と活用を行う。
- ・地域の歴史・文化を重視した企画展示や講座を充実させるとともに、情報や研究成果、魅力についてわかりやすく効果的に発信する。
- ・文化遺産保護活用に市民の知恵や力を活かす。
- ・資料・作品の収蔵環境向上と情報公開機能拡充を検討する。
- ・文化遺産を歴史的背景や物語でつなぎ、固有の資産としてまちづくりに活用する。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	市内出土遺物保存処理事業	担当課・係	生涯学習課 文化財係
事業概要 現状	遺跡から出土する資料（特に金属製品）には、放置すると劣化が進行し保存が困難になるものがあり、保存処理を施す必要がある。現在は小丸山古墳出土品について、劣化防止と将来の保存活用のため保存処理を進めるとともに、価値の再評価に向けた作業を行っている。	K P I	
		処理資料公開点数	
課題	保存処理には高度な技術を要するため時間や費用がかかる事業であるが、処理が必要な点数は極めて多く、計画的かつ速やかな処置が必要である。また国庫補助を受けて実施しているため、補助金の確保について調整が必要。	単位	点
		目標	20
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	26
		達成率	130.0%
今後の取組 の方向性	保存処理の優先順位について専門家の意見を交えて検討し、より効果的な処理事業を進める。また処理後の活用を積極的に行って事業の意義について周知を図るとともに、価値の再評価を行うことで、市民の地域への関心を高め、地域への誇りの醸成につなげる。	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		必要経費（千円）	
		予算額	2,140
		決算額	1,257



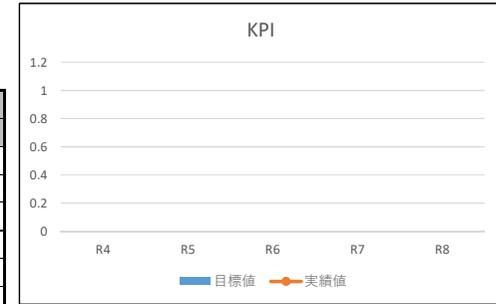
事業名	史跡整備等事業	担当課・係	生涯学習課 文化財係
事業概要 現状	市が管理する高島藩主諏訪家墓所（国史跡）、旧天祝邸などの保存活用のため、現地の維持管理および整備を実施している。現在、諏訪家墓所において整備計画策定の準備を進めている。	K P I	
		パンフレット持帰り数（見学者数）	
課題	管理対象の規模が大きいため良好な見学環境の維持が困難になっている。支障木の伐採や遺構の修復・復元等で多額の費用が予想され、財源確保が必要となる。また現地の案内要員が常駐ではないため、来訪者の当該文化財への関心や理解を高める取組が必要である。	単位	部
		目標	250
評価	B:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	350
		達成率	140.0%
今後の取組 の方向性	定期的な管理作業による環境維持に努め、文化財的価値を増大させる整備を実施して来訪者を増やす。また市の歴史名所としての位置付けを行い、観光スポットとしても積極的に内外にアピールする。あわせて、市民を巻き込んだ史跡の保存活用の手法を検討する。	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		必要経費（千円）	
		予算額	3,391
		決算額	1,940



事業名	文化センター保存活用事業	担当課・係	生涯学習課 文化センター
事業概要 現状	国登録有形文化財である一方、建設から60年経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいる。今後も文化財としての価値を維持しつつ利用者の安全の確保と利便性の向上を図るために改修を行う必要があり、令和5年度に大規模改修工事基本設計を実施した。	K P I	
		利用人数	
課題	文化芸術活動の拠点として駅周辺の魅力向上に寄与すべく、耐震、設備更新等安全の確保や、利便性、快適性向上のため、保存活用計画に基づいた大規模改修を進める必要がある。その際には、市民から寄せられた課題を検討する必要がある。	単位	人
		目標	120,000
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	90,787
		達成率	75.7%
今後の取組 の方向性	駅周辺一体的整備事業の一翼として、関係各所と情報共有をしつつ、大規模改修工事の内容、規模、財源等の詳細検討をし、広く情報を提供し、理解を深め、次のステップへと進める。また、敷地内施設の再編も含め敷地内の外構工事の検討も進める。	K P I ・ 必要経費 経年比較	
		必要経費（千円）	
		予算額	55,531
		決算額	51,956



事業名		担当課・係	
事業概要 現状		K P I	
課題		単位	
		目標	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	
		達成率	
今後の取組 の方向性		K P I ・ 必要経費 経年比較	
		必要経費（千円）	
		予算額	
		決算額	



基本方針効果検証			
基本方針	⑬ 環境保全	主関連課	環境課
緑豊かな自然環境の保全			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO ₂ 削減量	t	目標値	4,235	4,435	4,635	4,835	5,035
		実績値	4,424	4,689			
		達成率(達成度)	104.5% 非常に順調	105.7% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
霧ヶ峰高原草原再生作業(雑木処理)実施面積累計	ha	目標値	140	145	150	155	160
		実績値	137	141			
		達成率(達成度)	97.9% 順調	97.2% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.32	3.32	3.32	3.32	3.32
		実績値	3.32	3.18			
		達成率(達成度)	100.0%	95.8% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

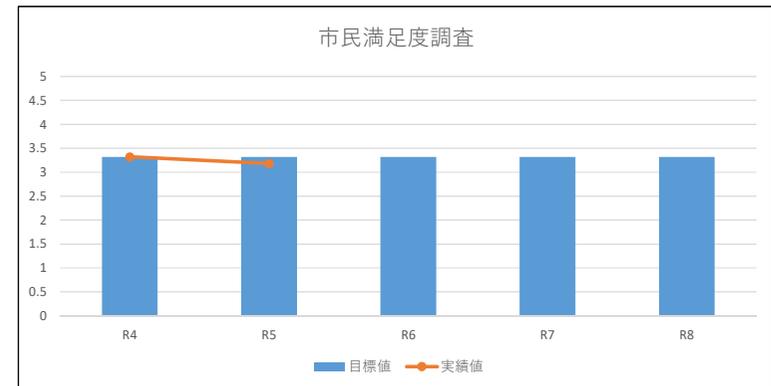
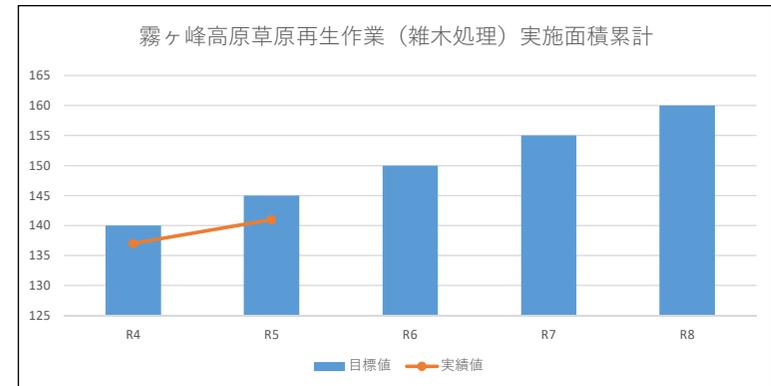
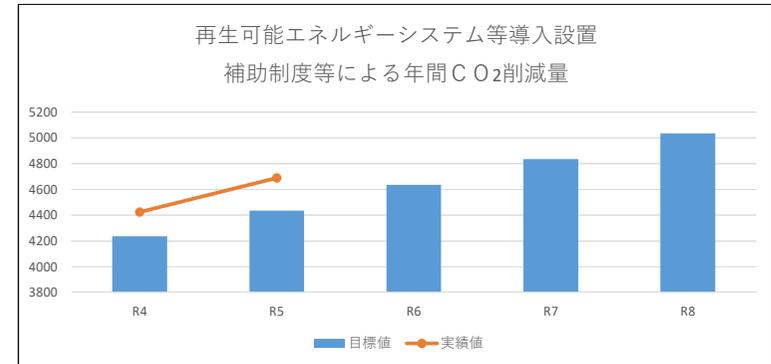
- ・令和4年3月に第三次諏訪市環境基本計画を策定し、計画に基づき各種施策を実施している。
- ・霧ヶ峰高原の豊かな自然環境を守るため、雑木処理やスキ刈り等の草原再生作業やオオハゴソウ等の外来植物駆除作業等を継続して実施している。
- ・諏訪湖の環境保全については、県が主体で作成している諏訪湖創生ビジョンに基づく作業として、ヒシ除去作業や浮遊ごみ除去作業等を継続して実施している。
- ・ゼロカーボンシティ実現に向けて、市民・事業者の意識醸成を推進するとともに、再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査の結果を基に、取組を加速させるための「ゼロカーボンシティ推進戦略」を設定。効果的な取組を推進する体制を整えている。

●課題

- ・霧ヶ峰や諏訪湖で行っている作業は基本的に人による手作業であるため、除去量や作業面積等の実績値では大きな効果は期待できない。このため、自然環境保全への意識醸成に重点を置いた作業とし、一般ボランティアが継続的に参加しなくなる仕組みを考えていく必要がある。
- ・再生可能エネルギー導入については十分なポテンシャルはあるものの、担い手の意識変革による自走した取組を構築して導入につなげていく必要がある。
- ・再エネ電力の調達に関する契約は、可能な限り低コストとなるよう定期的な見直しが必要である。また、本庁舎は建設から56年が経過し、建替えも視野に入るが、更新が必要な設備は速やかに導入し、省エネ化を図っていく。

●今後の取組の方向性

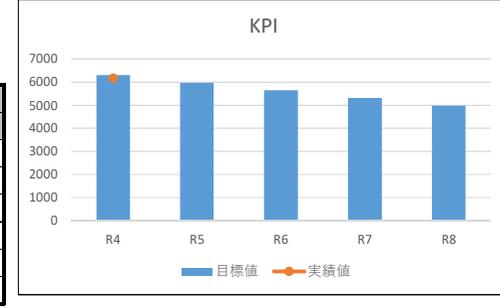
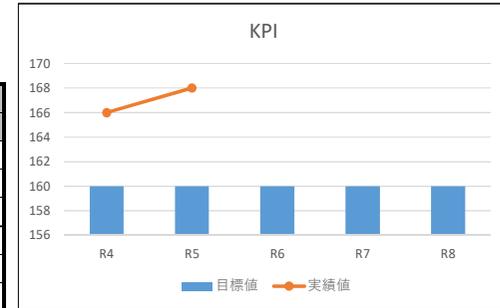
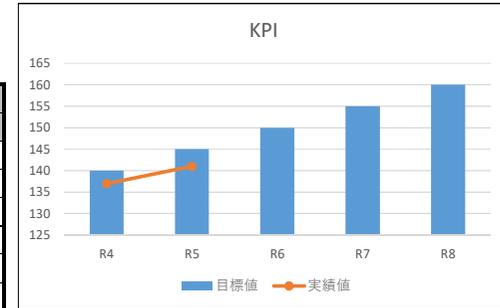
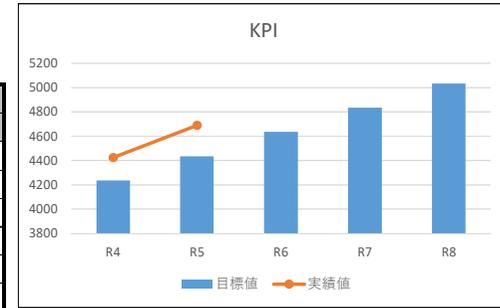
- ・霧ヶ峰や諏訪湖の作業は現状どおり手作業により実施する中で、参加者が楽しみながら参加し、自然環境保全への意識醸成に重点を置いたイベントとなるよう作業を工夫していく。
- ・ゼロカーボンシティ推進戦略に基づいた、創エネ、省エネ、蓄エネ及び基礎構築を推進する。土台となる基礎構築については、参画のハードルを低く感じさせ多くの関係者が気軽に取組をしていくことによる、まちの機運醸成を図る。また、創エネ、省エネ、蓄エネというハード整備系の分野について、まずは代表例として公共施設へのPPA方式による導入を推進するとともに、民間の担い手による自走した再エネ導入の取組を後押ししていく。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	担当課・係	事業概要 現状	課題	評価	今後の取組 の方向性	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係			
ゼロカーボンシティ推進事業	環境課 環境保全係	ゼロカーボンシティ実現に向けて、市民・事業者の意識醸成を推進するとともに、再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査の結果を基に、取組を加速させるための「ゼロカーボンシティ推進戦略」を設定した。	第二次諏訪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における削減目標60%対して積極的な取組が必要。再エネ導入の十分なポテンシャルはあるものの、担い手の意識変革による自走した取組を構築する必要がある。	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係			
						KPI		KPI		KPI			
						再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO ₂ 削減量		※R4繰越明許予算額9,977千円、決算6,118千円		KPI・必要経費 経年比較			
						単位	t	R4	R5	R6	R7	R8	
						目標	4,435	4,235	4,435	4,635	4,835	5,035	
						実績	4,689	4,424	4,689				
						達成率	105.7%	104.5%	105.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
						必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）	
						予算額	3,976	14,004	3,976				
						決算額	2,715	3,249	2,715				
霧ヶ峰草原再生事業	環境課 環境保全係	霧ヶ峰高原の草原再生作業（雑木処理、スキ刈取り等）、オオハングソウ等の外来植物駆除作業などの環境保全活動は、関係機関と協力しながら継続実施している。	現在行っている作業はすべて手作業であり、実施には限界があるが、他に適切な方法がないため、地道に継続していく必要がある。	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係			
						KPI		KPI		KPI			
						霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計		KPI・必要経費 経年比較		KPI・必要経費 経年比較			
						単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8	
						目標	145	140	145	150	155	160	
						実績	141	137	141				
						達成率	97.2%	97.9%	97.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
						必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）	
						予算額	957	477	957				
						決算額	708	257	708				
諏訪湖環境保全事業	環境課 環境保全係	諏訪湖のヒシ除去作業、諏訪湖の浮遊ごみ除去作業、上川河川敷のアレチウリ駆除作業を継続実施している。船やカヤックに乗船し、諏訪湖と触れ合い、楽しみながら参加できる作業を目指している。	各作業はすべて手作業で行っているため、除去量という面においては大幅な増加は望まず、諏訪湖全体の課題としてある、ヒシの大量繁茂等の課題解決にはあまり寄与できていない。	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係	環境課 環境保全係			
						KPI		KPI		KPI			
						ヒシ除去、浮遊ごみ除去、アレチウリ駆除作業参加者数		KPI・必要経費 経年比較		KPI・必要経費 経年比較			
						単位	人	R4	R5	R6	R7	R8	
						目標	160	160	160	160	160	160	
						実績	168	166	168				
						達成率	105.0%	103.8%	105.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
						必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）	
						予算額	458	552	458				
						決算額	234	275	234				
庁舎管理事業	総務課 庁舎車両管理係	令和12年度までに市役所全体の温室効果ガス排出量の削減目標（平成25年度比）を60%と定め、これを達成するため、再生可能エネルギー地産地消のための太陽光発電設備の設置、省エネ化を図るべくエアコン改修及び照明のLED化を進めている。	再エネ電力の調達に関する契約は、可能な限り低コストとなるよう定期的な見直しが必要である。また、本庁舎は建設から56年が経過し、建替えも視野に入るが、更新が必要な設備は速やかに導入し、省エネ化を図っていく必要がある。	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	総務課 庁舎車両管理係	総務課 庁舎車両管理係	総務課 庁舎車両管理係	総務課 庁舎車両管理係	総務課 庁舎車両管理係			
						KPI		KPI		KPI			
						市役所全体の温室効果ガス排出量		KPI・必要経費 経年比較		KPI・必要経費 経年比較			
						単位	t	R4	R5	R6	R7	R8	
						目標	5,972	6,304	5,972	5,640	5,308	4,976	
						実績	6,172	6,172					
						達成率	0.0%	102.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
						必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）		必要経費（千円）	
						予算額	266,379	252,713	266,379				
						決算額	263,278	250,297	263,278				



基本方針効果検証			
基本方針	⑭ 森林保全	主関連課	農林課
貴重な森林を守り育てる			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
森林整備面積	ha	目標値	105.0	107.0	109.0	111.0	113.0
		実績値	83.97	57.31			
		達成率 (達成度)	80.0% 順調	53.6% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
松枯損木の伐倒処理件数	本	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	26	6			
		達成率 (達成度)	173.3% 非常に順調	40.0% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30
		実績値	3.30	3.14			
		達成率 (達成度)	100.0%	95.2% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

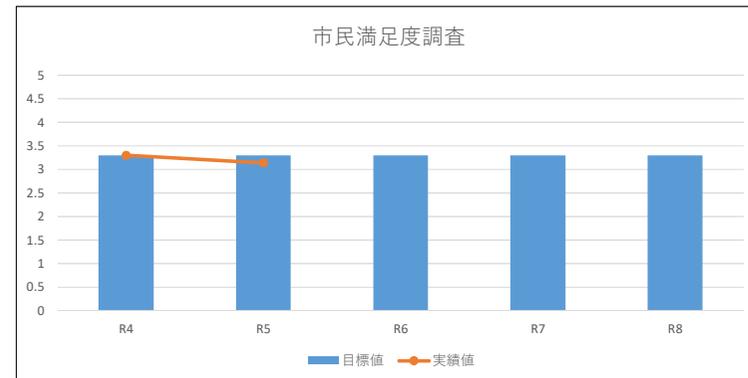
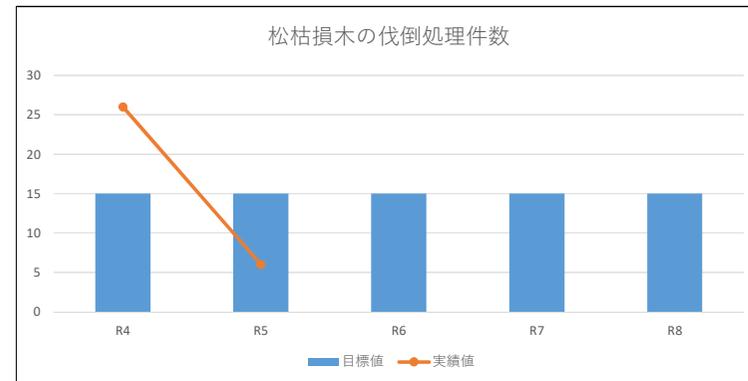
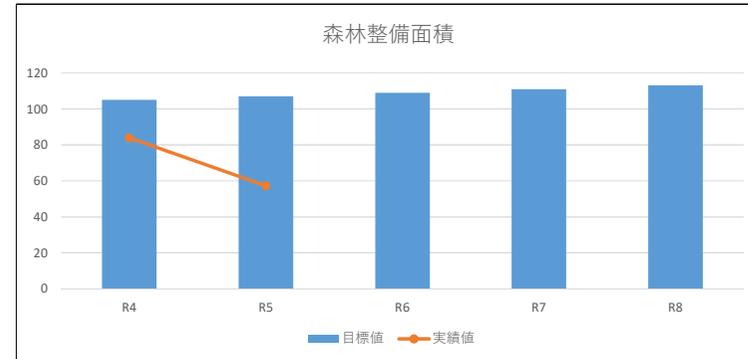
・森林が持つ公益的機能を維持するための間伐等の森林整備を推進している。
 ・主伐期を迎えた森林について、森林の公益的機能の発揮に支障が及ばないよう留意しつつ、適切な主伐を進めて、原木の供給を確保するとともに、売却収入による利益の確保に努めている。
 ・松くい虫被害防止のため、松林巡視員2名による松林巡視と枯れた松の伐採処理を行っている。

●課題

・森林の持つ山地災害防止、水源涵養、景観保全などの公益的・多面的機能が十分に発揮でき、活用の適期を迎えた立木を有効に利用できる森林整備が必要。
 ・山林関係団体が経営的に安定しながら間伐等の森林整備を積極的に実施できるようにする必要がある。
 ・個人有林について、必要な手入れが十分に行われていない森林が多いため、森林整備を推進していく必要がある。
 ・松くい虫被害の拡大を防止するため、松枯損木の早期発見と早期伐採が必要。

●今後の取組の方向性

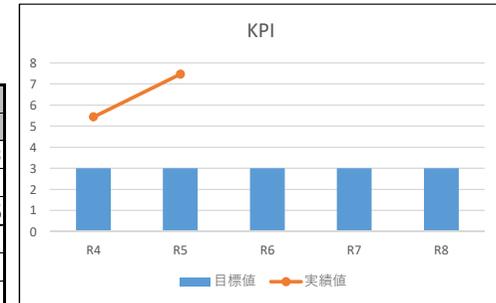
・諏訪市森林整備計画に従い、間伐・間伐材の搬出・植栽等の一連の森林整備を計画的に推進する。
 ・山林関係団体が経営的に安定しながら間伐等の森林整備を積極的に実施できるよう、国・県の補助金に加えて市についても嵩上げ補助を行っていく。
 ・森林環境譲与税を活用し、必要な手入れが十分に行われていない個人有林の森林整備や松くい虫被害の拡大防止を行っていく。



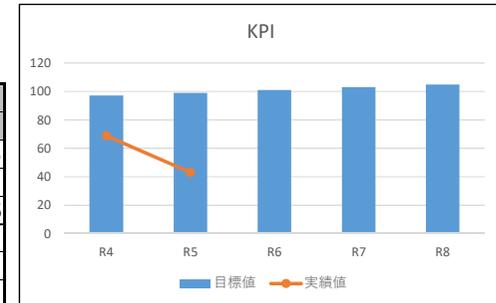
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

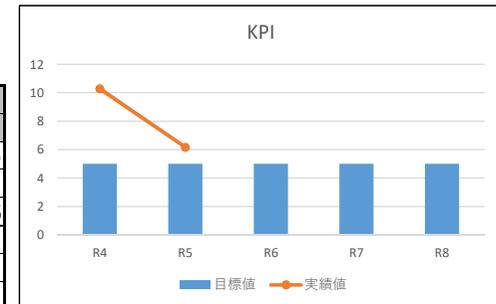
事業名	森林経営管理等推進事業	担当課・係	農林課 耕地林務係						
事業概要 現状	・令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づき個人有林等の間伐等の森林整備を主に進め、併せて松くい虫による被害の拡大防止のための巡視と被害の恐れのある樹木の伐採処理等の森林管理と整備を実施している。	K P I	森林整備面積（個人有林分等）						
			K P I ・ 必要経費 経年比較						
課題	・諏訪市内に存在する個人有林については、長期的な林業の低迷や世代交代等により、森林に対する関心薄れて管理が適切に行われていない懸念があり、災害防止や地球温暖化防止等の森林が有する公益的機能の発揮につながる恐れがある。また、周辺地域で急速な広がりを見せる松くい虫被害について、松茸生産地である諏訪市においてはその被害の発生・拡大について特に大きな懸念を抱いている。	単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標	3	3	3	3	3	3
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	7.47	5.44	7.47			
			達成率	249.0%	181.3%	249.0%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	・適切な整備を進めて森林の有する公益的機能を高めることで、伐採→利用→補栽という循環利用のサイクルを生み出し人工林の再造林及び木材利用の拡大による脱炭素社会の実現に向けた有効な取り組みとなる。また、松林の巡視を行うことは松枯れ被害の早期発見・対策となり、諏訪市の重要な資源である松茸生産の保護につながる。	必要経費（千円）	予算額	17,626	22,085	17,626			
			決算額	17,420	21,904	17,420			



事業名	森林づくり事業（団体有林等）	担当課・係	農林課 耕地林務係						
事業概要 現状	・間伐等の森林整備を各山林関係団体が積極的に安心して実施できるよう、事業内容に応じて森林環境保全整備事業補助金または合板・製材生産性強化対策交付金事業補助金として国・県の補助金に加えて市でも高上げ補助を行っている。また、整備が遅れている集落周辺の里山においても間伐等の森林整備を実施できるように、みんなで変える里山整備事業補助金として国・県の補助金に加えて市も高上げ補助を行う。さらに、路網ネットワーク構築に向けた作業道作設についても高上げ補助を行っている。	K P I	森林整備面積（団体有林分等）						
			K P I ・ 必要経費 経年比較						
課題	・各山林関係団体においては間伐等による伐採木材の売却の他、国・県からの補助金を主な収入源として事業を実施しているが、近年は木材価格の変動や事業経費の高騰により支出の割合が大きくなり、国・県からの補助金のみでは適正な森林経営が困難となっている。それに伴い適切な整備がされず荒廃した山林は防災上のリスクが高くなり、災害時における大きな被害の発生につながる恐れがある。	単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標	99	97	99	101	103	105
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	43.09	68.83	43.09			
			達成率	43.5%	71.0%	43.5%	0.0%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	・高上げ補助は各団体の意欲的な事業の実施に寄与し、持続可能な森林経営につながる。また、適切な森林整備は今の災害等による災害の予防にも効果的であるととも、適切な路網整備を行うことは間伐→主伐→補栽という森林整備における適切なサイクルを生み出し、人工林の再造林及び木材利用の拡大による脱炭素社会の実現に向けた有効な取り組みとなる。	必要経費（千円）	予算額	8,803	7,860	8,803			
			決算額	7,854	7,520	7,854			



事業名	森林づくり事業（市有林）	担当課・係	農林課 耕地林務係					
事業概要 現状	諏訪市森林経営計画に基づき、市有林の整備を行っている。世界的なウッドショックの影響によりカラマツの合板材としての需要は大幅に増加し、販売価格が高騰していることから、現在の計画（第3期諏訪市森林経営計画）にて科の木地区（上諏訪地籍）における複層林上層木のカラマツの伐採及び木材の搬出をより積極的に行っている。	K P I	森林整備面積（市有林分）					
			K P I ・ 必要経費 経年比較					
課題	・現在、市有林の多くは伐採適齢期（約50年～70年）を迎えている。成長しすぎた木材は合板に過ぎず価値、需要とも大きく下がるため、適齢期に伐採及び搬出を行う必要がある。また、適切な整備がされず荒廃した山林は防災上のリスクが高くなり、災害時における大きな被害の発生につながる恐れがある。	単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	5	5	5	5	5
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	6.17	10.28	6.17		
			達成率	123.4%	205.6%	123.4%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	・伐採適齢期を迎えた立木の搬出間伐を計画的に行うことで安定的な収入となるとともに森林内環境の保全もつながら、昨今の環境する大雨等による災害の予防にも効果も期待できる。さらに森林整備の積極的な実施は、伐採→利用→補栽という循環利用のサイクルによって人工林の再造林及び木材利用の拡大につながり、脱炭素社会の実現に向けた有効な取り組みとなる。	必要経費（千円）	予算額	9,568	5,000	9,568		
			決算額	9,430	4,995	9,430		



事業名	林道整備事業	担当課・係	農林課 耕地林務係					
事業概要 現状	・各地区や各山林関係団体からの要望等に基づき、市内各林道施設の継続的な活用のための改良事業を実施している。	K P I	改良林道延長					
			K P I ・ 必要経費 経年比較					
課題	・木材を有効活用するためには、整備の行き届いた林道が必要。施設の老朽化が進んでおり、また、近年ゲリラ豪雨等の影響による路面の洗掘や法面の崩落等が小規模ながらも度々発生しているため、定期的な林道整備が必要。	単位	m	R4	R5	R6	R7	R8
			目標	60	60	60	60	60
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	66	69	66		
			達成率	110.0%	115.0%	110.0%	0.0%	0.0%
今後の取組 の方向性	・森林整備や木材の搬出を進めるために、継続的な林道の改良工事を進める。	必要経費（千円）	予算額	3,354	3,498	3,354		
			決算額	3,301	3,487	3,301		



基本方針効果検証			
基本方針	⑮ 環境衛生	主関連課	環境課
快適な生活環境を住民に			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
燃やすごみ排出量 (目標値以下)	t	目標値	11,442	11,479	11,471	11,531	11,444
		実績値	12,147	11,662			
		達成率 (達成度)	93.8% 順調	98.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
ごみリサイクル率	%	目標値	23.1	22.9	22.5	22.2	22.0
		実績値	18.1	18.3			
		達成率 (達成度)	78.4% 努力が必要	79.9% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.43	3.43	3.43	3.43	3.43
		実績値	3.43	3.42			
		達成率 (達成度)	100.0%	99.7% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

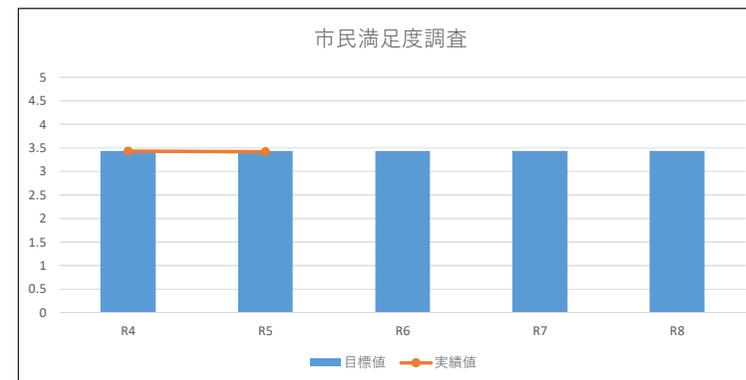
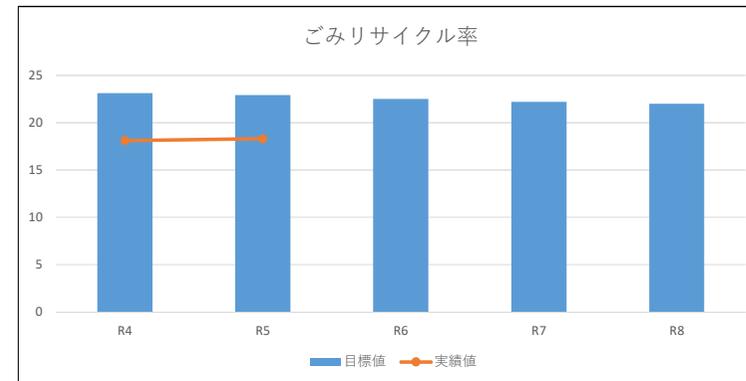
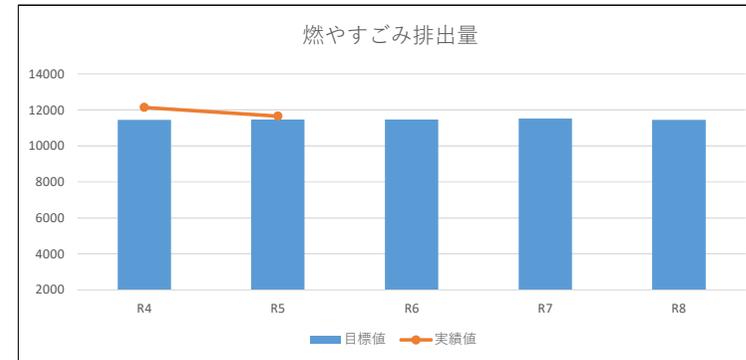
・諏訪湖周2市1町のごみ処理共同化による諏訪湖周クリーンセンターの稼働に伴い、諏訪市に設置する広域最終処分場の早期稼働に向けて、下流域の理解を得るべく、意見交換を継続していく。
 ・家庭系燃やすごみの有料化に伴う、燃やすごみ旧指定袋（黄色・白色）に貼る証紙シールの販売は令和5年度末で終了した。（旧指定袋での排出は証紙シールを貼れば引き続き可能）
 ・循環型社会の実現に向けて、リサイクルの促進、草類の堆肥化、生ごみの堆肥化の推進等の継続実施と、市民や事業者が一体となって取り組むために、積極的な情報提供や意識啓発を引き続き進めていく。

●課題

・ごみ処理基本計画で定めた目標を、残り3年で達成するためにさらなる取組が必要。
 ・アフターコロナにより、イベントの再開や経済活動が活性化することによる事業系燃やすごみの増加を抑制するための取組が必要。
 ・プラスチック資源循環促進法に対応するため、プラスチック類のさらなる資源化を図る必要がある。
 ・大規模災害が発生した場合、災害廃棄物の仮置場の確保等の対策や広域処理の体制が必要となることが想定される。

●今後の取組の方向性

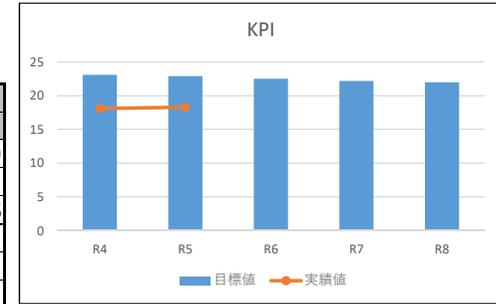
・事業系ごみ減量化対策として、多量排出事業者届出制度を活用した指導のほか、事業者に対し廃棄物減量化の啓発を行う。
 ・令和7年度より軟質プラスチックも一括収集するために、業者との調整や準備を進める。
 ・災害廃棄物処理研修会への積極的な参加や、庁内や湖周2市1町との情報交換を行いながら、災害時の対応に備える。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

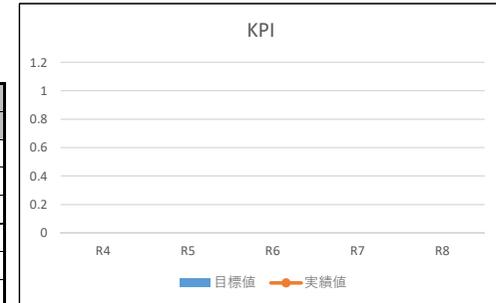
事業名	資源物処理事業	担当課・係	環境課 環境衛生係					
事業概要 現状	循環型社会の実現に向けて、リサイクルの促進、草類の堆肥化等を、市民と一体となって進めている。	K P I						
		ごみリサイクル率						
課題	・プラスチック資源循環促進法に対応するため、プラスチック類のさらなる資源化を図る必要がある。 ・4Rを更に促進するため、更なる資源物の分別の促進が必要である。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	22.9	23.1	22.9	22.5	22.2	22.0
		実績	18.3	18.1	18.3			
今後の取組 の方向性	・令和7年度より軟質プラスチックも一括収集するために、業者との調整や準備を進める。 ・市ホームページ、広報誌、SNS、さんあ〜るアプリを活用し、分かりやすい啓発活動を継続する。	達成率						
		必要経費(千円)						
		予算額	221,885	198,639	221,885			
		決算額	219,906	203,069	219,906			



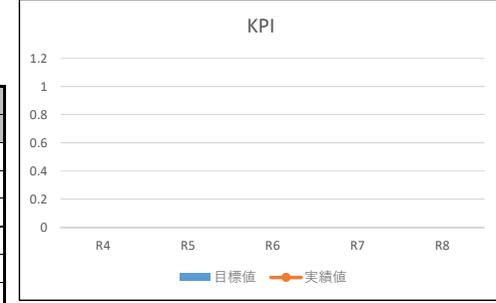
事業名	ごみ減量化推進事業	担当課・係	環境課 環境衛生係					
事業概要 現状	ごみ減量や分別についての市民の意識向上及び協力により、燃やすごみの排出量は減少傾向である。	K P I						
		燃やすごみ排出量 (目標値以下)						
課題	・燃やすごみ排出量は減少傾向であるが、ごみ処理基本計画で定めた目標値は達成できていない。 ・イベントの再開や経済活動が活性化することによる事業系燃やすごみの増加を抑制するための取組が必要。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	t	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	11,479	11,442	11,479	11,471	11,531	11,444
		実績	11,662	12,147	11,662			
今後の取組 の方向性	・家庭系ごみ減量対策として、資源物の分別徹底並びに生ごみの減量化についての啓発を強化する。 ・多量排出事業者に対して届出制度を活用した指導を行うほか、一般事業者に対して廃棄物減量化の啓発を行う。	達成率						
		必要経費(千円)						
		予算額	18,831	20,542	18,831			
		決算額	17,699	16,821	17,699			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		達成率						
		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		達成率						
		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	⑩ 道路整備・計画	主関連課	建設課
道路環境整備と広域交通ネットワーク			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
道路舗装整備延長率	%	目標値	3.1	3.6	4.1	4.6	5.1
		実績値	3.1	3.6			
		達成率 (達成度)	100.0% 非常に順調	100.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
都市計画道路整備率	%	目標値	27.8	28.2	28.6	29.0	29.4
		実績値	29.1	29.3			
		達成率 (達成度)	104.7% 非常に順調	103.9% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28
		実績値	3.28	3.14			
		達成率 (達成度)	100.0%	95.7% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

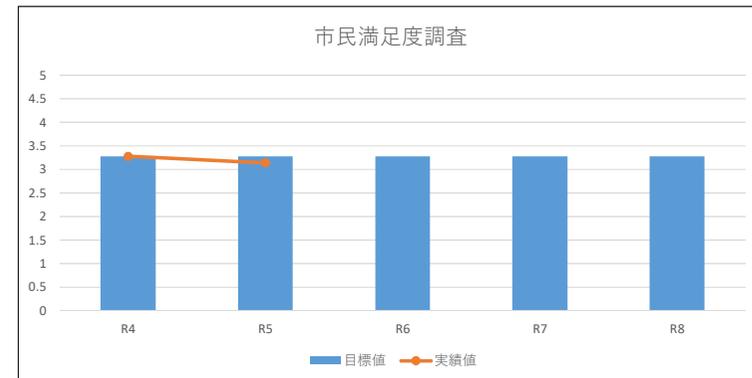
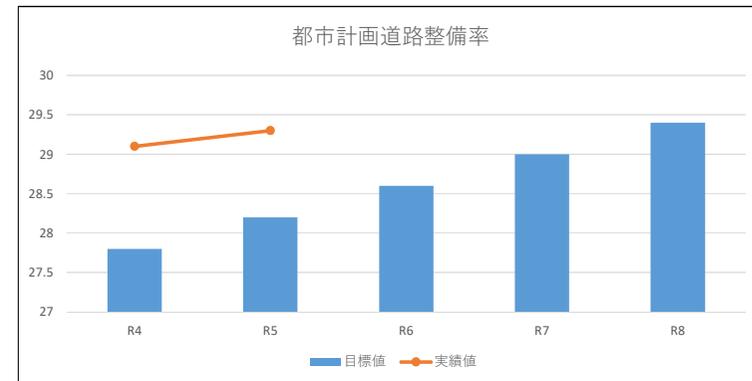
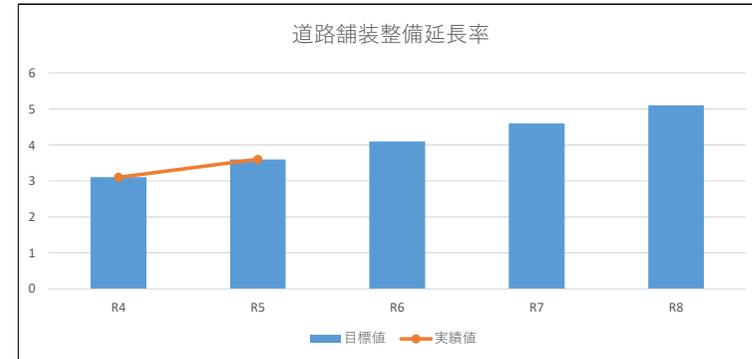
- ・国の補助制度を活用し計画的に道路整備を進めているが、道路整備や計画に関する市民満足度の向上率は伸びない状況にある。
- ・国道20号諏訪バイパスの一部区間は国が事業着手しており、全区間の事業化と整備に向けた協議や要望活動を行っていく必要がある。
- ・諏訪湖スマートIC整備を進めており、新たな交通体系構築に向けて早期供用開始が待ち望まれている。

●課題

- ・今までに例のない大規模な豪雨災害が発生した場合、水害や土砂崩れ等による交通障害が発生する可能性がある。
- ・諏訪市は地盤が軟弱であること、また寒冷地で地下水位が高いことから、道路の舗装や構造物が傷みやすい地域である。
- ・市民生活の利便性や安全性の向上、地域の経済活動を支えるためには、機能的な都市計画道路の整備が必要である。
- ・大規模な橋梁の老朽化が進行し、加速度的に修繕工事等が必要となってくるが、当該工事は規模が大きいため財源の確保が課題となる。
- ・国道20号諏訪バイパス整備に対する各地区の課題、要望に寄り添った対応が必要となる。

●今後の取組の方向性

- ・舗装長寿命化修繕計画や橋梁長寿命化修繕計画に基づいて必要な財源を確保しながら、効果的かつ効率的に舗装や橋梁の修繕等を進める。
- ・大雪による市民生活への影響を最小限に抑えるため、行政と市民・区が協働して除雪を行い、幹線道路や生活道路の通行確保を行う。
- ・社会情勢や交通需要の変化に応じて、優先度の高い都市計画道路から整備を進める。
- ・国道20号諏訪バイパスの整備においては、丁寧な説明を通じて地域との合意形成を図りながら進める。
- ・地元住民の理解を得ながら諏訪湖スマートICの整備を進め、リニア中央新幹線の中間駅へのアクセス向上等を含めた地域交通の利便性向上、地域産業活性化の推進を目指す。
- ・安全で安心して暮らすことができる社会を目指し、歩行者空間のバリアフリー化や無電中化事業を進める。



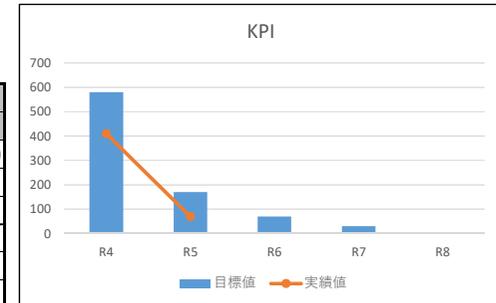
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

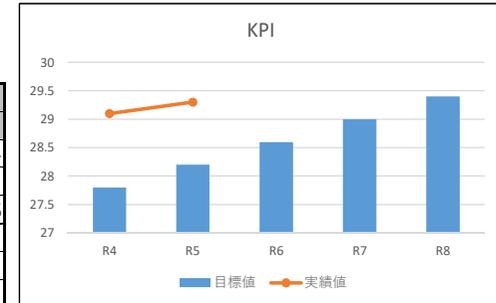
事業名	橋梁長寿命化事業	担当課・係	建設課 建設係						
事業概要 現状	5年ごとに実施する橋梁法定点検に基づき、老朽化の進行状況等を的確に把握するとともに、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行いながら修繕や更新を実施している。								
課題	建設から半世紀以上が経過し、修繕工事等が必要となる橋梁数は加速度的に増加することとなり、多額の費用を要することから、財源の確保が課題となる。								
	単位	箇所	KPI・必要経費 経年比較						
	目標	51	83	51	80	80	80		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	53	83	53			
今後の取組 の方向性	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、損傷が著しく路線の重要度が高い橋について優先的に修繕工事等を実施する。なお、防災・安全交付金はもとより財政的に有利な起債を最大限活用しながら事業展開をする。								
	必要経費(千円)								
	予算額	21,170	86,000	21,170					
	決算額	20,286	44,690	20,286					



事業名	スマートIC整備事業	担当課・係	建設課 建設係					
事業概要 現状	アプローチャ道路（諏訪市施工分）および新設県道（県施工分のアクセス道路）の築造工事を実施中である。工事進捗率（諏訪市施工分）73%であり、県を除いた3事業者の進捗率は90%となっている。							
課題	継続しての道路築造工事となるが、大規模事業となるため財源の確保と、岡谷市ならびに当市の地元住民理解を得ながら事業を進めること。							
	単位	m	KPI・必要経費 経年比較					
	目標	170	580	170	70	30	0	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	70	410	70		
今後の取組 の方向性	令和7年夏頃の供用に向けて、県や岡谷市、中日本高速道路㈱と連携し、地元区民の理解を得ながら丁寧かつ着実に事業を推進する。							
	必要経費(千円)							
	予算額	547,131	603,900	547,131				
	決算額	540,869	103,183	540,869				



事業名	都市計画道路整備	担当課・係	都市計画課 計画係					
事業概要 現状	都市の骨格を形成する主要な道路のため優先的に整備し、社会情勢の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを実施しながら計画的な整備に努める。							
課題	都市の再構築の取組を勘案しながら、未整備の路線を中心に、必要性や構造の適格性等を検証・見直しをしていく必要がある。							
	単位	%	KPI・必要経費 経年比較					
	目標	28.2	27.8	28.2	28.6	29.0	29.4	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	29.3	29.1	29.3		
今後の取組 の方向性	整備に際しては、円滑な自動車交通の確保と、誰もが歩きやすい歩行者空間の確保及び既存歩道の改修、個性的で魅力的なアメニティ空間としての道路の整備を目指す。							
	必要経費(千円)							
	予算額	0	0	0				
	決算額	0	0	0				



事業名	国道バイパス推進事業	担当課・係	国道バイパス推進室					
事業概要 現状	国道20号諏訪バイパスの早期建設に向けて、「国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会」等と連携し、国や県との協議、要望活動を実施している。							
課題	一部区間の事業化により事業化区間と未事業化区間で課題が異なってくる。今後の事業の進め方や事業化の見直し等について、各地区に対応した国による適切な説明会、協議会の開催が必要となる。							
	単位	回	KPI・必要経費 経年比較					
	目標	14	14	14	14	14	14	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	15	21	15		
今後の取組 の方向性	住民の理解を深め、地域の機運醸成と地元との合意形成を図るため、関係地区委員を通じて地区ごとの課題の集約を行い、国や県への要望や協議により必要な調査と丁寧な説明を求めていく。							
	必要経費(千円)							
	予算額	3,051	2,587	3,051				
	決算額	1,414	1,103	1,414				



基本方針効果検証			
基本方針	⑦ 都市空間	主関連課	都市計画課
地域特性を活かした快適な住環境整備			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
住宅の耐震診断件数	件	目標値	40	40	40	40	40
		実績値	23	13			
		達成率 (達成度)	57.5% 努力が必要	32.5% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
危険空家等の改善件数	件	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	3	18			
		達成率 (達成度)	75.0% 順調	450.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (都市空間)	-	目標値	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10
		実績値	3.10	2.91			
		達成率 (達成度)	100.0%	93.9% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

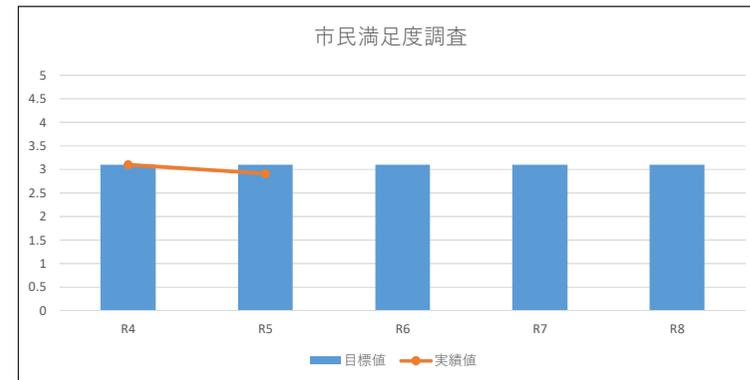
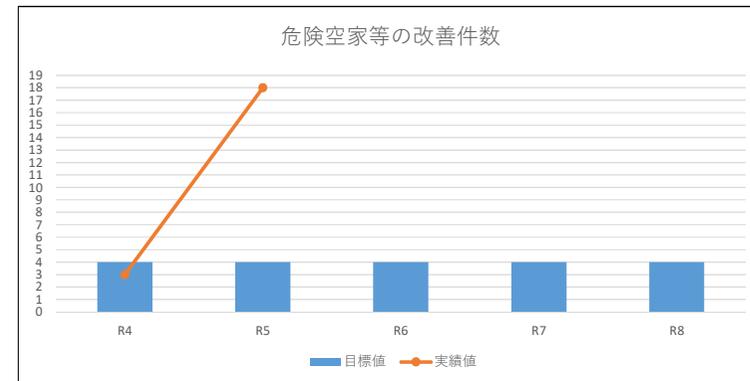
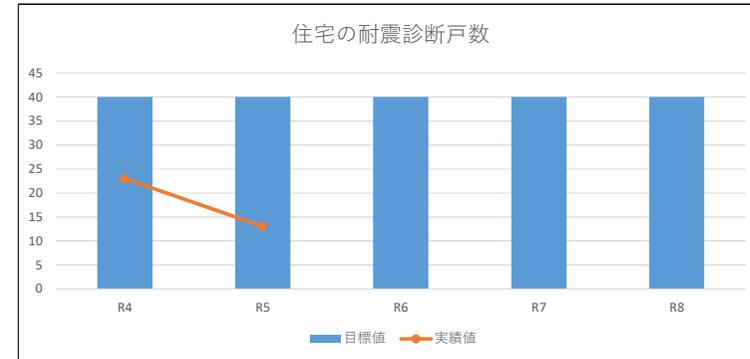
・経年による公園遊具に破損や腐食が見られ、健全度判定の結果も悪化している状況である。そのため国費の補助などの交付を受け、令和4年度より長寿命化遊具更新工事を行っている。
 ・令和5年3月に策定した「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を実現するため、官民が相互に連携しながら持続的なまちづくり活動を実践していく。
 ・全国的に空き家が増加傾向にあり、諏訪市においても同様である。特に上諏訪地区は顕著である。
 ・良好な景観形成の推進のため、民間団体などによる景観形成に係る緑化活動などの経費の一部を補助しているが、地域住民が協力して実施するなど、地区や団体の恒例行事の一環として定着している。

●課題

・公園について、遊具の設置されている状況や特徴により交付対象にならず、更新の予定が立たない遊具の対応等がある。
 ・上諏訪駅周辺地区は、空き家や空き地が増えるなど、中心市街地の衰退が見られるが、アーク諏訪のオープンや柳並線の開通などにより、まちづくりの機運が高まっている。
 ・近年、管理不全空家の苦情が増加しており、相続放棄等により今後の改善が見込めないケースも増加傾向にある。利活用については、官民連携による取り組みについて検討する必要がある。
 ・景観形成を目的とした活動団体が固定化されてきている現状から、新たな団体等への補助制度のアピールについて検討する必要がある。

●今後の取組の方向性

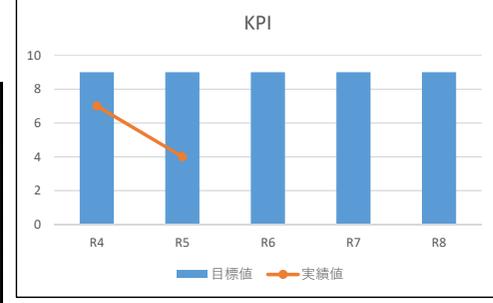
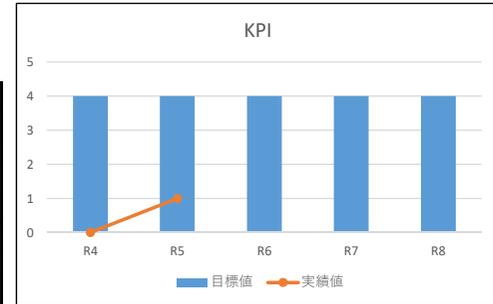
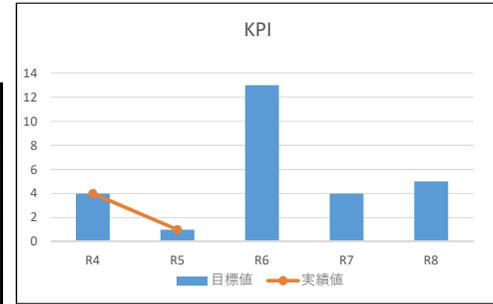
・公園の遊具更新を先行させ、その後遊具以外の施設の更新を計画していく。
 ・未来ビジョンの実現のため、公と民をつなぐ連携体制であるエリアプラットフォームが主体となり、各プロジェクトの検討や試行を進める。
 ・「諏訪市空家等対策計画（第2期）R5.6～」に基づき、4つの方針である「空家等の適正管理の推進」、「空家等の利活用の促進」、「特定空家等の問題解決の実施」、「新たな時代への対応」に沿った各種取り組みを実施する。
 ・景観形成について活動している団体は、営利を目的とせず自らの活動により、沿道や水辺、公園、広場などにおける緑化活動等を行い、地域の景観・生活環境の向上に大きく寄与しているため、今後も継続していく。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	都市公園整備事業	担当課・係	都市計画課 公園緑地係
事業概要 現状	経年により遊具に破損や腐食が見られ、健全度判定の結果も悪化している状況である。そのため国費の補助などの交付を受け、令和4年度より長寿命化遊具更新工事を行っている。	KPI	更新対象公園数
課題	要件を満たせず国庫補助の対象にできない公園の遊具、施設について更新を計画していく。	単位	箇所
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	R4 R5 R6 R7 R8
今後の取組の方向性	遊具更新を先行させ、その後遊具以外の施設の更新を計画していく。	実績	R4 R5 R6 R7 R8
		達成率	R4 R5 R6 R7 R8
		必要経費(千円)	R4 R5 R6 R7 R8
		予算額	R4 R5 R6 R7 R8
		決算額	R4 R5 R6 R7 R8
事業名	上諏訪駅周辺まちなか再生推進事業	担当課・係	都市計画課 街路区画整理係
事業概要 現状	令和5年3月に策定した「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を実現するため、官民が相互に連携しながら持続的なまちづくり活動を実践していく。	KPI	未来ビジョンで掲げたプロジェクトの着手件数
課題	上諏訪駅周辺地区は、空き家や空き地が増えるなど、中心市街地の衰退が見られているが、アーク諏訪のオープンや柳並線の開通などにより、まちづくりの機運が高まっている。	単位	件
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	R4 R5 R6 R7 R8
今後の取組の方向性	未来ビジョンの実現のため、公と民をつなぐ連携体制であるエリアプラットフォームが主体となり、各プロジェクトの検討や試行を進める。	実績	R4 R5 R6 R7 R8
		達成率	R4 R5 R6 R7 R8
		必要経費(千円)	R4 R5 R6 R7 R8
		予算額	R4 R5 R6 R7 R8
		決算額	R4 R5 R6 R7 R8
事業名	空家等対策推進事業	担当課・係	都市計画課 建築住宅係
事業概要 現状	全国的に空き家が増加傾向にあり、諏訪市においても同様である。特に上諏訪地区は顕著である。	KPI	危険空家等の改善件数
課題	近年、管理不全空家の苦情が増加している。また、相続放棄等により今後の改善が見込めないケースも増加傾向にある。利活用については、官民連携による取り組みについて検討する必要がある。	単位	件
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	R4 R5 R6 R7 R8
今後の取組の方向性	「諏訪市空家等対策計画(第2期)R5.6～」に基づき、4つの方針である「空家等の適正管理の推進」、「空家等の利活用の促進」、「特定空家等の問題解決の実施」、「新たな時代への対応」に沿った各種取り組みを実施する。	実績	R4 R5 R6 R7 R8
		達成率	R4 R5 R6 R7 R8
		必要経費(千円)	R4 R5 R6 R7 R8
		予算額	R4 R5 R6 R7 R8
		決算額	R4 R5 R6 R7 R8
事業名	まちなみ景観推進事業	担当課・係	都市計画課 計画係
事業概要 現状	沿道・水辺・広場等の緑化活動(樹木・花等の植栽、プランターの設置及び管理)など、景観形成に係る経費の補助を行う。作業も地域住民が協力し合い実施しており、地区の年中行事や団体の恒例行事の一環として定着している。	KPI	活動団体数
課題	活動している団体が固定化されてきている現状から、新たな団体等への補助制度の周知方法について検討する必要がある。	単位	団体
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	R4 R5 R6 R7 R8
今後の取組の方向性	営利を目的とせず自らの活動により、沿道や水辺、公園、広場などにおける緑化活動等を行い、地域の景観・生活環境の向上に大きく寄与しているため、今後も継続していく。	実績	R4 R5 R6 R7 R8
		達成率	R4 R5 R6 R7 R8
		必要経費(千円)	R4 R5 R6 R7 R8
		予算額	R4 R5 R6 R7 R8
		決算額	R4 R5 R6 R7 R8



基本方針効果検証			
基本方針	⑧ 上水道・下水道	主関連課	営業課・施設課
上水道、下水道の安心利用			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
導送水及び配水管耐震化率	%	目標値	29.3	30.0	30.7	31.4	32.1
		実績値	28.9	30.0			
		達成率 (達成度)	98.6% 順調	100.0% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
耐震化対象下水道管渠耐震化率	%	目標値	66.0	75.0	84.0	93.0	100.0
		実績値	72.5	75.7			
		達成率 (達成度)	109.8% 非常に順調	100.9% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.77	3.77	3.77	3.77	3.77
		実績値	3.77	3.66			
		達成率 (達成度)	100.0%	97.1% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

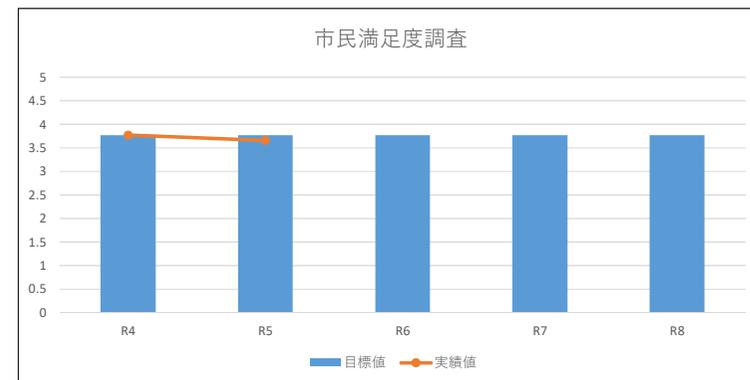
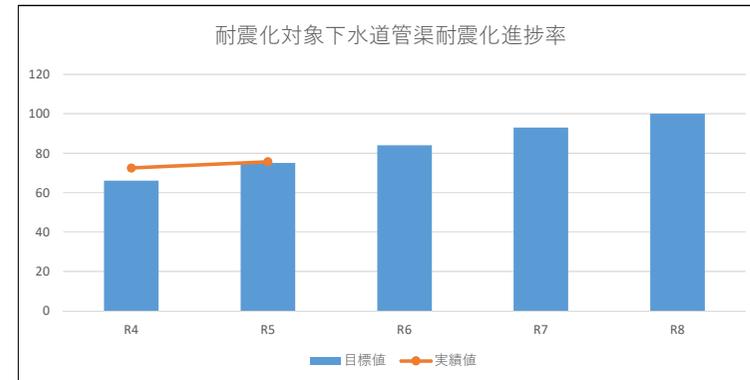
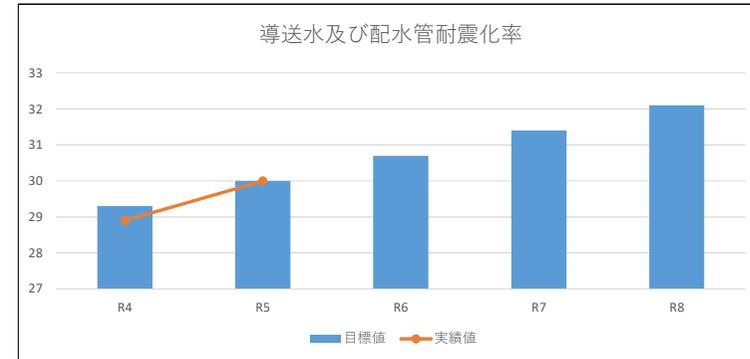
- ・長野県下19市中、上水道料金は最も安く、また下水道使用料は2番目に安いことから利用者にとって低廉な価格でのサービスが実現している。
- ・下水道普及率は全国平均を上回っているが、管渠布設に課題がある未普及地区が存在する。
- ・人口減少および給水用具が節水型に置き換わっているため事業収入は減少傾向にある。
- ・事業拡張時代に設置した上・下水道施設が耐用年数を超え、更新の時期を一齐に迎えている。

●課題

- ・R5年3月に改正した「長野県水道ビジョン」では広域連携に係る項目を「水道広域化推進プラン」に位置付け、現在圏域市町村において「広域連携検討の場」を実施中である。
- ・人口減少に伴う水需要の減少により、水源施設の統廃合の検討がスタートしている。
- ・水道技術職員の減少により、知識や技術の伝承が滞る。
- ・施設・管路の老朽化が進行中、事故のリスクが増大している。また大規模自然災害が発生した場合、重要給水施設への管路等が損傷し、市内広範囲にわたって長期的な断水に至る確率が非常に高い。

●今後の取組の方向性

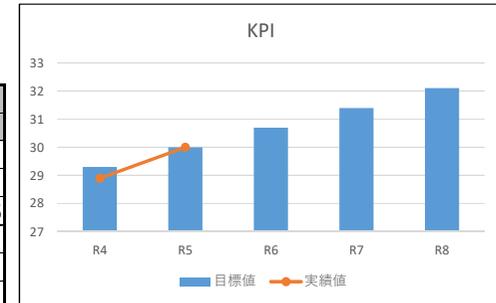
- ・耐用年数を迎えた施設・管路を計画的に更新し、持続的な管理・運営を図る。
- ・代替ルートや新工法による未普及地域解消への取り組みを進め、普及率を更に伸ばす。整備困難地域においては合併浄化槽の設置促進を視野に検討する。
- ・水源林の保全およびクリプト対策を徹底し、安全安心な給水を継続する。
- ・災害に備え緊急資材の確保と関係機関の協力を得ながら体制強化を図る。緊急輸送路等に設置している施設の耐震化や広域避難所へのマンホールトイレの設置を計画的に進める。
- ・安定的な事業経営を図るため、料金改定の検討を進める。また、適正徴収を有効的に実施するために料金徴収業務等の民間委託移行の検討を進める。



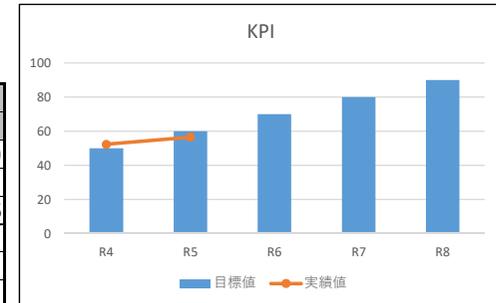
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

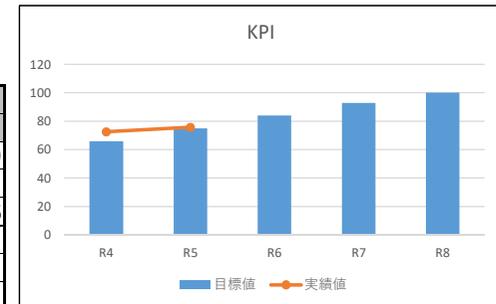
事業名	水道施設改良工事	担当課・係	施設課 上水道係					
事業概要 現状	平成29年度に策定した「諏訪市水道事業ビジョン」に基づき耐用年数を迎えた施設・管路を計画的に更新している。	KPI						
		導送水及び配水管耐震化率						
課題	給水収益減少局面における維持管理財源の確保、高度経済成長期に集中して建設した施設の老朽化、更新・耐震化への対応、施設更新の財源および水道技術職員の確保が課題である。	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	30.0	29.3	30.0	30.7	31.4	32.1
		実績	30.0	28.9	30.0			
今後の取組 の方向性	安心・安全で良質な水道を供給するため水源および水源涵養林の保全、大規模更新事業を行うための人的資源の確保とDB方式を検討するほか、諏訪圏域水道事業広域化に向けて積極的に取り組む。	必要経費(千円)						
		予算額	384,900	442,221	384,900			
		決算額	291,851	370,784	291,851			



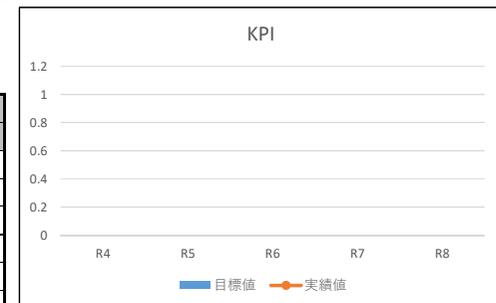
事業名	下水道老朽化対策事業	担当課・係	施設課 下水道係					
事業概要 現状	下水道ストックマネジメント計画に基づいて、国費を活用しながら施設の点検・調査を実施し、計画的な改築工事を行う。R5年度は、緊急度が高い管きよ調査に加え、マンホール鉄蓋147箇所の取替えとマンホールポンプ1箇所の修繕を行った。	KPI						
		点検・調査実施率						
課題	下水道施設の老朽化が起因する道路陥没事故や雨天時浸入水等を防ぐため、ライフサイクルコストの低減や予算の縮減ならびに平準化に努めた改築事業を実施し、持続可能な下水道事業運営を推進すること。	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	60	50	60	70	80	90
		実績	56.6	52.3	56.6			
今後の取組 の方向性	国や県と協議・調整をしつつ下水道ストックマネジメント計画の見直しを行いながら、引き続き国費を活用して効果的かつ効率的な改築事業を実施することで、持続可能な下水道事業運営に取り組んでいく。	必要経費(千円)						
		予算額	150,000	133,000	150,000			
		決算額	134,981	115,174	134,981			



事業名	下水道総合地震対策事業	担当課・係	施設課 下水道係					
事業概要 現状	下水道総合地震対策計画に基づいて、国費を活用しながら設計や対策工事を計画的に実施する。R5年度は、下水道管きよ約200mを耐震化を行った。	KPI						
		耐震化対象下水道管渠耐震化率						
課題	南海トラフ地震等が発生した際、緊急車両の通行を妨げないように緊急輸送路のマンホール浮上を防止し、また、防災拠点の排水を受け持つ下水道の流下機能を確保し、公衆衛生等に重大な影響を及ぼさないようにすること。	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	75	66	75	84	93	100
		実績	75.7	72.5	75.7			
今後の取組 の方向性	国や県と協議・調整をしつつ下水道総合地震対策計画の見直しを行いながら、引き続き国費を活用して計画的な地震対策事業を推進することで、大規模地震に対する防災・減災に取り組んでいく。	必要経費(千円)						
		予算額	96,000	54,000	96,000			
		決算額	38,541	52,712	38,541			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		KPI						
課題		KPI・必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	⑨ 温泉	主関連課	営業課・施設課
天与の恵み 温泉の享受と活用			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
配湯管耐震化率	%	目標値	98.3	98.4	98.5	98.6	98.7
		実績値	98.3	98.5			
		達成率 (達成度)	100.0% 順調	100.1% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
温泉年間新規契約件数	件	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	2	7			
		達成率 (達成度)	40.0% 効果なし	140.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45
		実績値	3.45	3.24			
		達成率 (達成度)	100.0%	93.9% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

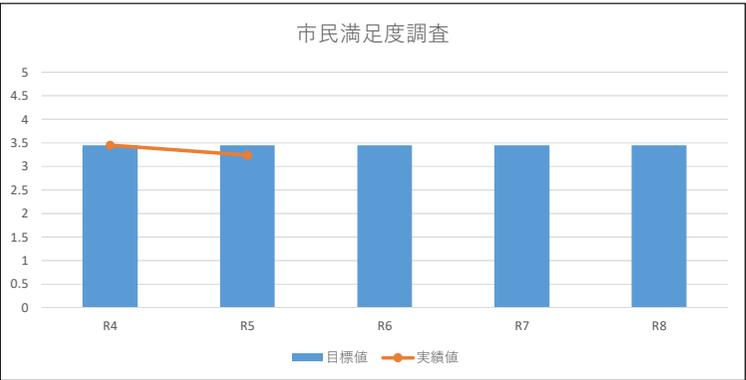
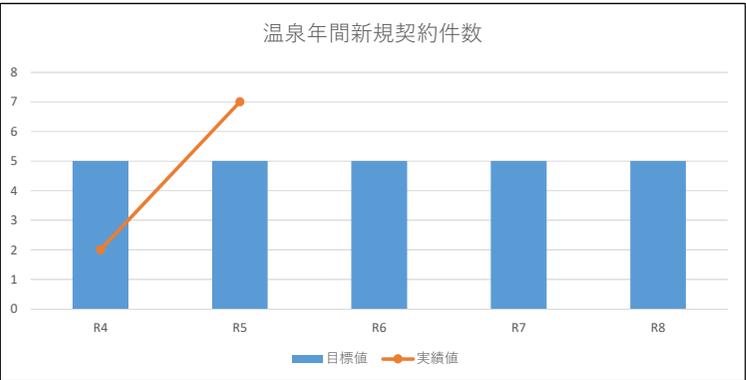
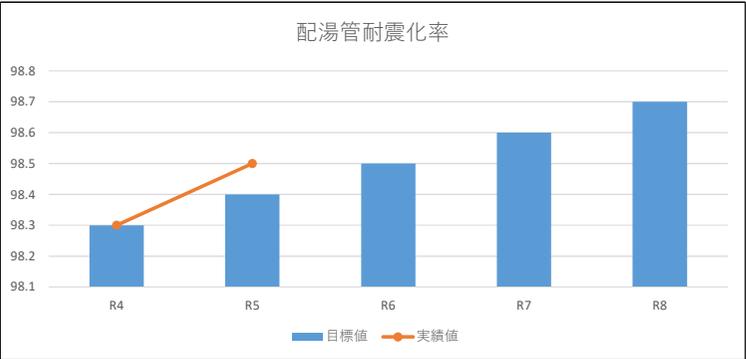
温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら配湯管の更新・耐震化に取り組んでいる。
温泉新規契約件数について、令和5年度は目標値を上回った。

●課題

経過年数や管種、現状を考慮しながら行っているが、給湯者の減少などもあり費用対効果など考慮しながら取り組んでいく必要がある。
温泉契約者について、新規契約者は目標値には届いたものの、廃止件数が多い状況が続いている。

●今後の取組の方向性

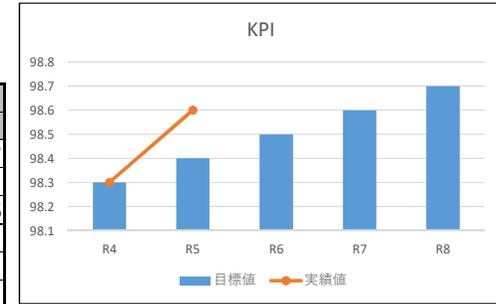
経営戦略の見直しを行いながら、給湯契約状況等も考慮し、耐震化を進めていく。
現状の課題等を加味した新たな経営戦略を令和7年度末までに策定予定である。



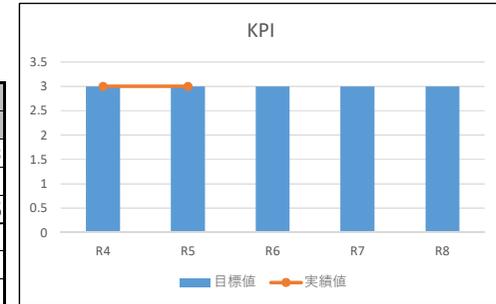
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

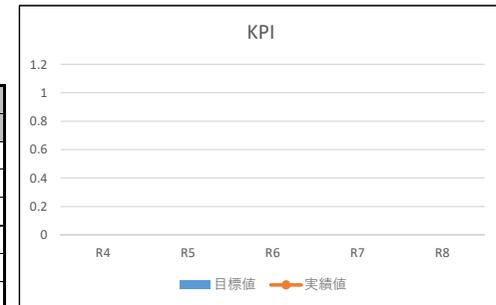
事業名	温泉管改良事業	担当課・係	施設課 温泉係
事業概要 現状	温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら送配湯管の更新・耐震化に取り組む。		
	KPI 配湯管耐震化率		
課題	経過年数や管種、現状を考慮しながら行っているが、給湯契約者の減少などもあり費用対効果などを考慮しながら取り組んでいく必要がある。		
	単位	%	R4 R5 R6 R7 R8
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標 98.4 実績 98.6 達成率 100.2%
	今後の取組の方向性 経営戦略の見直しを行いながら、給湯契約状況及び管路状況等考慮し、更新を進めていく。		
必要経費(千円)			
予算額 157,650			
決算額 149,131			



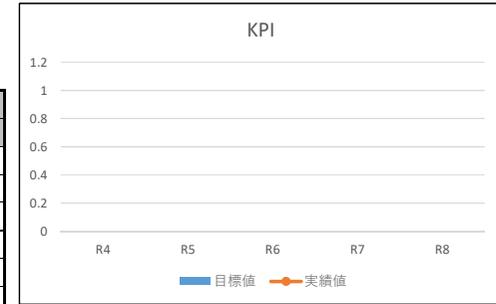
事業名	温泉施設改良事業	担当課・係	施設課 温泉係
事業概要 現状	温泉事業経営戦略に基づき、給湯契約者や温浴及び宿泊施設などへ安定供給を行うため、現状も考慮しながら温泉施設の更新・適正な揚湯量に取り組む。		
	KPI 温泉施設改良件数		
課題	経過年数や施設設備状況を考慮しながら行っているが、給湯契約者の減少などもあるため費用対効果などを考慮しながら取り組んでいく必要がある。源湯の老朽化及び揚湯量・温度の減少低下に対し要検討。		
	単位	件	R4 R5 R6 R7 R8
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標 3 実績 3 達成率 100.0%
	今後の取組の方向性 経営戦略の見直しを行いながら、給湯契約状況等も考慮し、温泉施設設備の更新を行い、安定供給及び適正な量による揚湯・配湯に取り組む。		
必要経費(千円)			
予算額 157,650			
決算額 149,131			



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
	KPI - 必要経費 経年比較		
課題	単位		R4 R5 R6 R7 R8
	目標		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率
	今後の取組の方向性		
必要経費(千円)			
予算額			
決算額			



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
	KPI - 必要経費 経年比較		
課題	単位		R4 R5 R6 R7 R8
	目標		
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率
	今後の取組の方向性		
必要経費(千円)			
予算額			
決算額			



基本方針効果検証			
基本方針	② 地域公共交通	主関連課	地域戦略・男女共同参画課
持続可能な地域公共交通と輸送サービス構築			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
かりんちゃんバス1便当たり利用者数	人	目標値	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
		実績値	6.1	6.5			
		達成率 (達成度)	81.3% 努力が必要	86.7% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
スワンバス1便当たり利用者数	人	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値	12.7	12.8			
		達成率 (達成度)	84.7% 努力が必要	85.3% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84
		実績値	2.84	2.87			
		達成率 (達成度)	100.0%	101.1% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

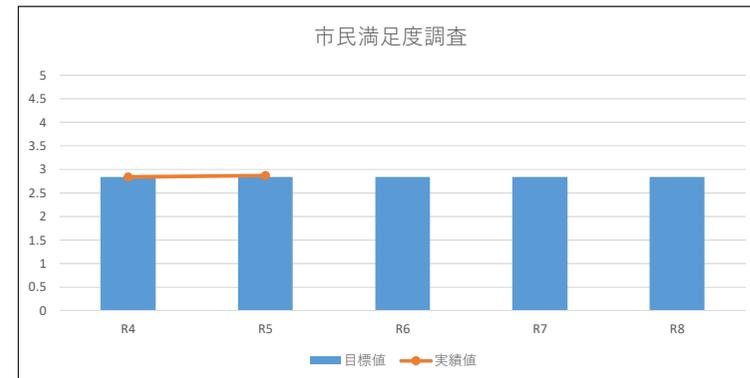
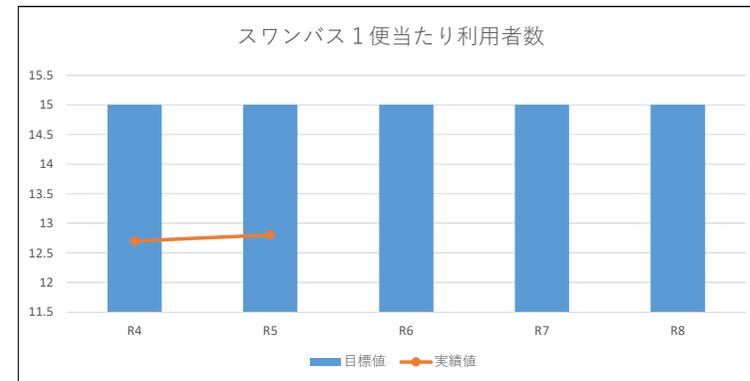
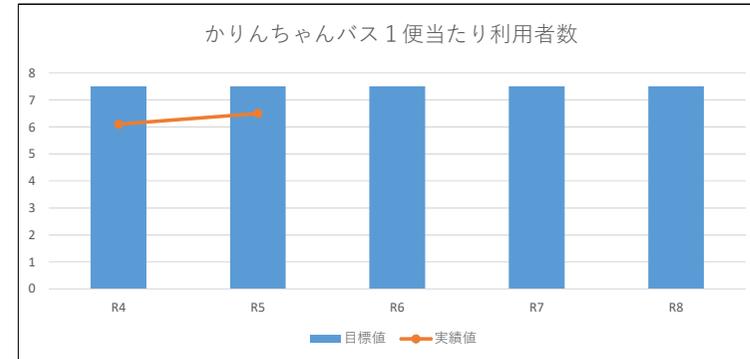
・地域住民の通勤や通学、通院、買い物等の交通手段や観光客の観光地までの移動手段を確保するため、公共交通の維持は必要であり、公共性が高い事業である。
 <令和5年度バス利用実績>
 ・かりんちゃんバス7系統：97,271人、対前年比107.1%
 (令和4年度：90,786人)
 ・スワンバス内、外回り線：65,484人、対前年比101.0%
 (令和4年度：64,842人)

●課題

○諏訪市地域公共交通計画に基づくAIオンデマンド交通のテスト運行実施
 ○人件費、燃料代等の高騰による経費増大
 ○かりんちゃんバスの再編
 ○アルピコ交通（株）が運行している「岡谷茅野線」において利用者減少によりバス事業全体が赤字経営になったため、運行費用に係る行政支援の要望があり、路線バスの運行赤字分について、通過する4市町による補助を行った。
 ○ライドシェアの検討

●今後の取組の方向性

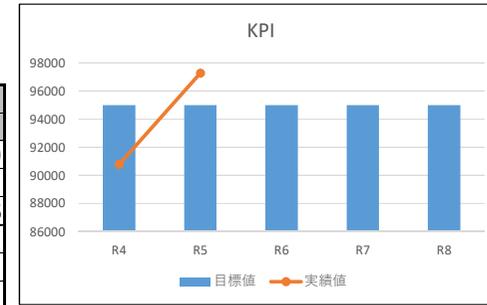
令和6年度に諏訪市地域公共交通計画に基づき、AIオンデマンド交通（チョイソコかりんちゃん）のテスト運行を実施していく。併せて、現行のかりんちゃんバスを再編し持続可能な公共交通体系を再構築するとともにライドシェアの導入について研究していく。
 また、引き続き県が運営する携帯アプリ「信州ナビ」へダイヤ改正情報を提供するとともに、「スマホ乗車券」の普及についても周知に努め、アプリの活用を推進して利用者の利便性向上を図る。昨年に引き続き利用促進事業として福祉団体等と連携した無料乗車体験を実施していく。



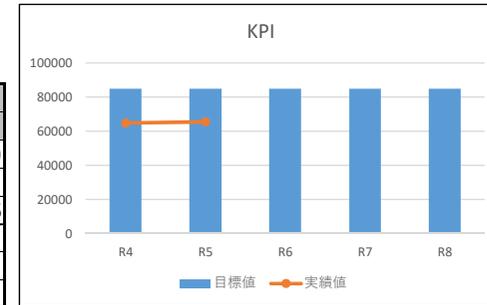
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

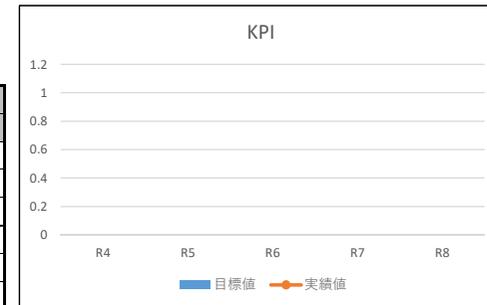
事業名	循環バス運行事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課 地域戦略係					
事業概要 現状	市民の日常交通手段並びに観光客の利便性向上のために、市内公共交通（かりんちゃんバス等）の運行を維持しつつ、AIオンデマンド交通の導入に向けて準備を進めた。	K P I						
		かりんちゃんバス利用者数						
課題	バス利用促進企画と平行して、現行の公共交通を最大限活用しつつ新たな公共交通手段の検討を進める必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	97,271	90,786	97,271			
		達成率	102.4%	95.6%	102.4%	0.0%	0.0%	0.0%
		必要経費(千円)						
今後の取組 の方向性	地域公共交通計画に基づきAIオンデマンド交通のテスト運行を実施するが、運行事業者との調整やシステム構築について進めていく。また、市民周知のため、説明会を開催し、HPやSNSを活用して事前周知に努める。	予算額	121,760	123,634	121,760			
		決算額	102,580	95,624	102,580			



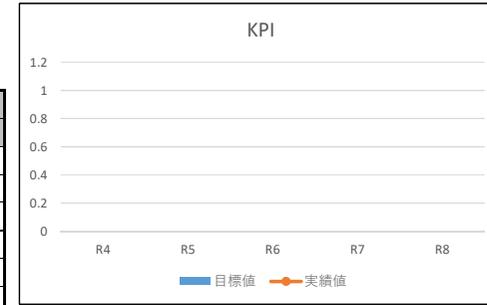
事業名	諏訪湖周バス共同運行事業	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課 地域戦略係					
事業概要 現状	岡谷市、下諏訪町との2市1町により、諏訪湖周を巡回するスワンバスを共同運行し、諏訪湖周の公共交通を確保・維持する。	K P I						
		スワンバス利用者数						
課題	利用促進につながる周知やイベントを引き続き検討し、観光客の第2次交通手段として利用できるよう周知していく。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	65,484	64,842	65,484			
		達成率	77.0%	76.3%	77.0%	0.0%	0.0%	
		必要経費(千円)						
今後の取組 の方向性	諏訪湖周2市1町が運行しているスワンバスは、地域住民・観光客にとって重要な交通手段のひとつとして活用されている。今後も収入増加につながる施策の検討や更なる経費削減への取り組みを検討していく。	予算額	17,013	28,758	17,013			
		決算額	16,038	23,624	16,038			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
		目標						
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
		達成率						
		必要経費(千円)						
今後の取組 の方向性		予算額						
		決算額						



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
		目標						
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績						
		達成率						
		必要経費(千円)						
今後の取組 の方向性		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	② 工業	主関連課	商工課
選ばれ続けるものづくり地域			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

● K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
製造品出荷額等 (目標値以上)	億円	目標値	1,010	1,020	1,030	1,040	1,050
		実績値	861	1,058			
		達成率 (達成度)	85.2% 順調	103.7% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
製造業の従業者数	人	目標値	5,100	5,200	5,200	5,200	5,200
		実績値	5,004	5,235			
		達成率 (達成度)	98.1% 順調	100.7% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.92	2.92	2.92	2.92	2.92
		実績値	2.92	3.09			
		達成率 (達成度)	100.0%	105.8% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

・中東情勢の緊迫化や米国主導の対中輸出規制など地政学的影響による機械装置・部品の生産調整や大手自動車メーカーの減産、さらに円安による原材料等の高騰による経営への影響が懸念される。生産性の向上や業務効率化を図る支援を実施し、企業の経営基盤強化につながる取組を継続的に支援していく。

・令和5年度は、地方創生臨時交付金を活用し、新技術・新製品開発費補助金、展示会出展補助金、AI・IoT補助金導入支援事業補助金の拡充支援を行った。新技術・新製品開発補助制度では、電動モータコア積送品の「円錐カシメ工法」の開発など新技術等13件の申請があり、審査会を経て10件を採択とした。

●課題

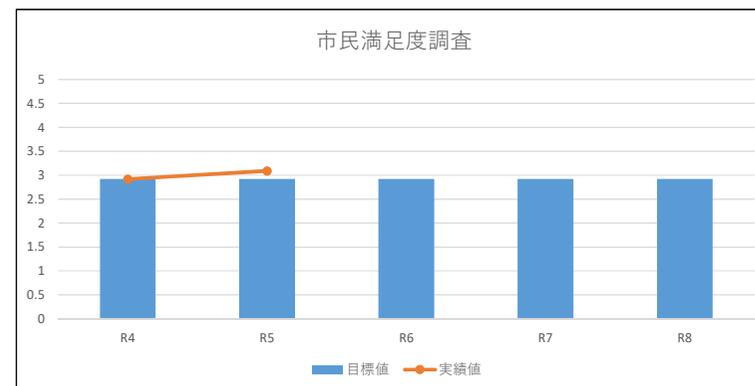
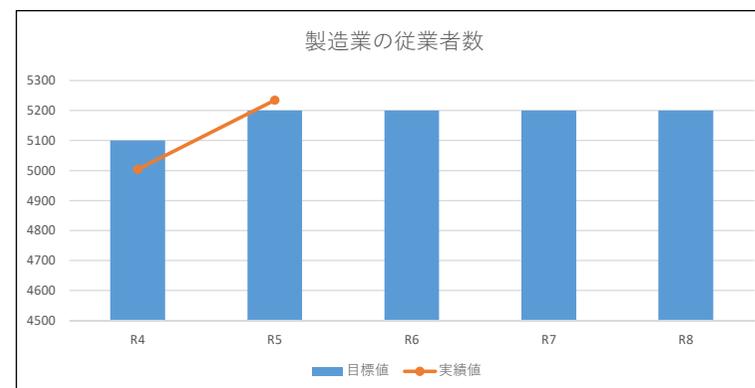
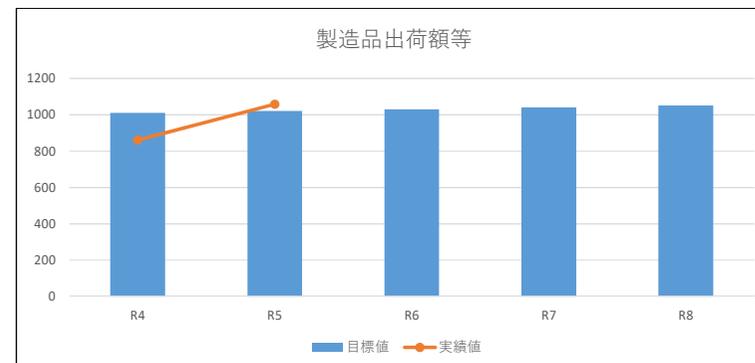
・中小企業にとって賃上げによる人件費の増加分を、どこまで価格に転嫁できるのかが課題である。優秀な人材を確保・定着させるために賃上げを防衛的に実施せざるを得ない企業もあることから、今まで以上に経営基盤の強化を図る取組が重要である。コロナ禍を経て大きく変わる経済情勢や産業の構造的変化に対応しながら、他社との差別化を図るためには新規成長産業分野への参入や、技術力及び研究開発力の向上が不可欠である。

・独自技術など強みを持った企業が新事業を展開する場合には、知的財産権の活用が必要不可欠である。事業戦略、開発戦略に加えて知財戦略もあわせることで、企業ブランド力を高め、高付加価値製品（自社ブランド）を創造していくことが肝要である。

●今後の取組の方向性

・世界共通理念である「SDGs」や脱炭素社会の実現は、今後の世界市場で国際競争力を維持・強化を図っていく上で必須のツールである。環境・社会・経済の3側面を踏まえたSDGsが経営戦略として有効となっており、企業は根本的なビジネスの変革が求められる過渡期となっている。

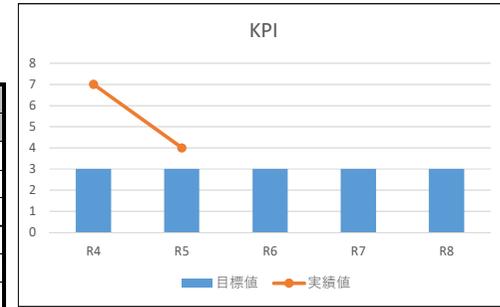
・カーボンニュートラルを目指すためのSBT、TCFD、RE100など認証取得は、温室効果ガスの排出量算定や排出量削減目標値の設定と公表、削減状況の進捗を報告することにつながり、企業での取組が一層明確になるとともに企業評価を高める効果がある。なかでも中小企業版SBTについては、今後取得の動きが活発化することが予想されるため、「外部人材活用補助金」の対象経費に追加し、拡充支援を実施している。今後は、企業での省エネルギー機器等の導入に係る経費の補助（職場環境整備促進事業補助金）等と併せて、脱炭素社会の実現に向けた複層的な支援を展開する。



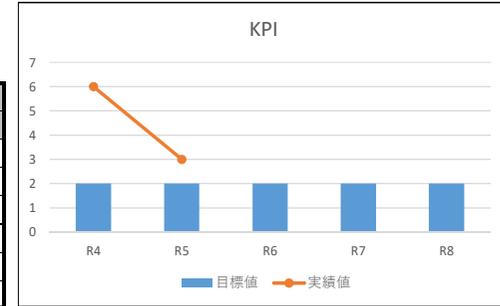
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

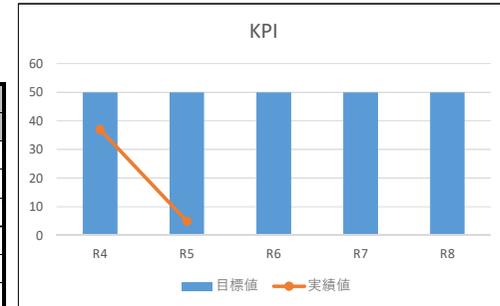
事業名	新技術・新製品開発費補助金	担当課・係	商工課 工業・ブランド振興係
事業概要 現状	企業が独自又は大学等と連携し行った新技術及び新製品の開発に要した経費の一部を補助することで、新技術や新製品の開発に意欲的な企業の育成を図る。		
課題	原材料や人件費高騰による価格転嫁は深刻な課題となっているが、取引先企業との交渉の中で理解を得られない場合もある。価格交渉を有利に進めるためにも、新技術や新製品の開発により高付加価値製品の創生を図ることが重要である。		
	単位	件	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	3
		実績	4
今後の取組 の方向性	コロナ禍を経て、これまでのビジネスモデルからの転換が求められている。新技術・新製品の開発を促すことで、時代の潮流に沿った構造転換が図れるよう支援する必要がある。		
	KPI		
	KPI・必要経費 経年比較		
	達成率	133.3%	233.3%
必要経費(千円)			
予算額 10,000			
決算額 10,000			



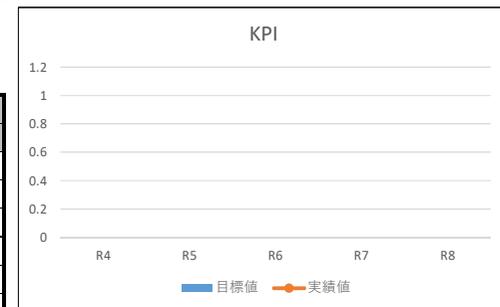
事業名	AI・IoT導入支援事業補助金	担当課・係	商工課 工業・ブランド振興係
事業概要 現状	企業の人材不足対策、従業員の働き方改革を実現するためには、業務の効率化・生産性の向上を同時に実現することが必要不可欠である。AI、IoT分野を実際に導入する企業に対して経費の補助を実施する。		
課題	新たな企業ツールとして期待されるデジタル化は、導入に向けたインシャルコストがネックとなり、デジタル化が進まないことも多い。デジタル化の導入により生産性を向上させることで効率的な環境を構築することが重要である。		
	単位	件	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	2
		実績	3
今後の取組 の方向性	令和5年度からITと経営の両面に精通したプロフェッショナルであるITコーディネータが企業を訪問し、デジタル化のための計画立案を支援している。具体的にデジタル化により何ができるのかをわかりやすくパーケースで提案することで、支援企業の増加へつなげる。		
	KPI		
	KPI・必要経費 経年比較		
	達成率	150.0%	300.0%
必要経費(千円)			
予算額 1,596			
決算額 1,050			



事業名	工場等立地促進助成金	担当課・係	商工課 工業・ブランド振興係
事業概要 現状	識訪市工場等立地促進条例に基づく助成金。市内の特定地域に工場等を新設、移設、増設又は空き工場等を取得して操業を開始した際に、固定資産税相当額を3年間にわたり全額又は一部助成する事業。		
課題	市内では工場用地を確保できないことから、新たに工場を新設する際、市外に用地を求めるといった懸念もある。他の工業支援施策とあわせて複層的な支援を実施することで、市内企業の活性化を図ることが重要。		
	単位	人	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	50
		実績	5
今後の取組 の方向性	生産拠点を市内に残し、従業員を継続的に雇用することは、人口減少の観点からも非常に重要である。既存企業の工場増設や空き工場取得に際し本制度は有効に活用できているため、引き続き企業に寄りそった支援を行う必要がある。		
	KPI		
	KPI・必要経費 経年比較		
	達成率	10.0%	74.0%
必要経費(千円)			
予算額 24,427			
決算額 12,838			



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題	KPI・必要経費 経年比較		
	単位		
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	
		実績	
今後の取組 の方向性	達成率		
	必要経費(千円)		
	予算額		
	決算額		



基本方針効果検証			
基本方針	② 観光	主関連課	観光課
“SUWAらしい”があふれる観光地			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
宿泊客数	人	目標値	420,000	480,000	600,000	606,000	612,000
		実績値	431,312	464,841			
		達成率 (達成度)	102.7% 順調	96.8% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
観光消費額	万円	目標値	1,574,000	1,771,000	1,968,000	1,987,000	2,006,000
		実績値	1,580,166	1,739,487			
		達成率 (達成度)	100.4% 順調	98.2% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.99	2.99	2.99	2.99	2.99
		実績値	2.99	3.29			
		達成率 (達成度)	100.0%	110.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

・令和3年度に策定した諏訪市観光グランドデザイン実現に向けた動きとして、「諏訪市誘客コンテンツ造成プロモーション事業」を令和4年度から実施し、諏訪市への継続的な誘客につながる「誘客コンテンツ」の造成や磨き上げ、イベント等を行う市内の民間事業者を支援することで、公民連携による取組の加速を図っている。

・令和5年5月のコロナ5類移行後、インバウンドを含めた観光需要の復活の動きが顕著であるものの、従来の団体客ではなく個人客や小グループに観光需要が変化している。

・4年ぶりの通常開催となった第75回諏訪湖祭湖上花火大会は、コロナ禍前と遜色ない規模で開催し、コロナ禍からの立ち直りと復活を印象付ける大会として盛大に、且つ無事開催した。同大会では、多くの改善を図り、それらを実行することで花火大会運営への新たな知見を得た。

●課題

・諏訪市観光グランドデザイン実現に向けた取組は、令和4年度から「諏訪市誘客コンテンツ造成プロモーション事業」を開始し、令和6年度まで行うことで一定の成果が見込まれるが、持続的かつ効果的な観光施策の取組を進める必要がある。

・コロナ禍からの復活に向けて、観光DXなどを進めることで観光需要拡大に対応し、安定的な供給能力の体制を整える必要がある。(人手不足の状況打開)

・コロナ5類移行後、主に「為替レートの円安」が追い風となって、インバウンド需要を含めたオーパーツーリズムへの対応を、引き続き行う必要がある。

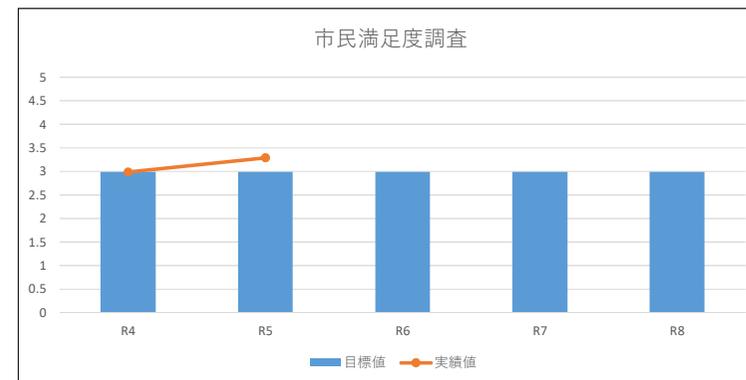
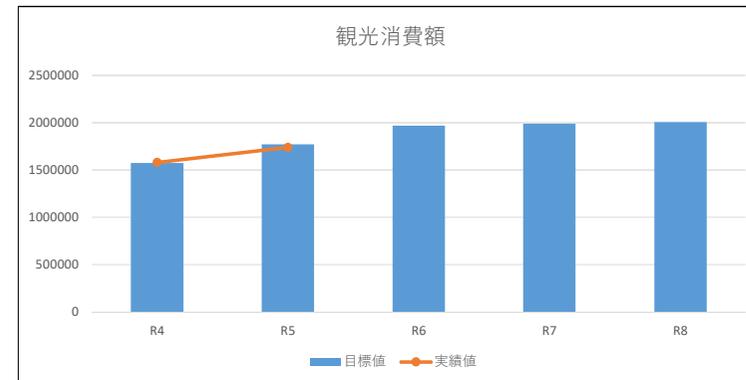
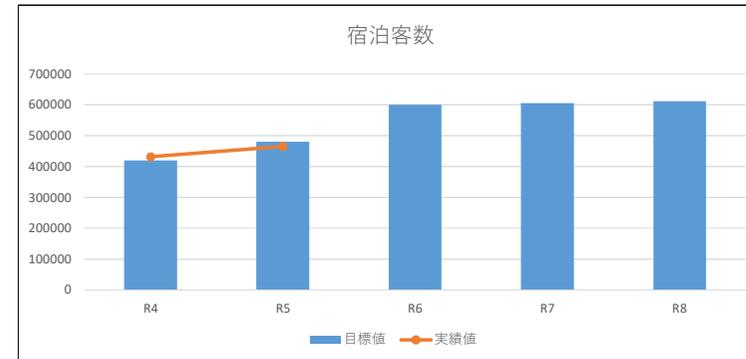
・特に諏訪湖祭湖上花火大会については、新たに民間活力の導入を検討することにより、市職員の負担軽減を図りながらも、より効果的で費用対効果の高い取組を行う必要がある。

●今後の取組の方向性

・諏訪市観光グランドデザイン実現に向けた取組を継続的な動きにしながらも、確実な成果を出していくため、ソフト事業（諏訪市誘客コンテンツ造成プロモーション事業）と、ハード事業（観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」）を組み合わせることにより、宿泊や観光事業者と連携しながら、「ユニバーサルツーリズム」を切り口に、宿泊施設や観光施設の改修による高付加価値化に取り組んでいく必要がある。

・持続可能な形で公民連携のプロジェクト創出の仕組みづくりを行うことにより、「（インバウンド客を積極的に誘致するというのではなく）インバウンド客にも満足していただけるよう施設改修を行い、より多くの観光客に選ばれる温泉地を目指していく。

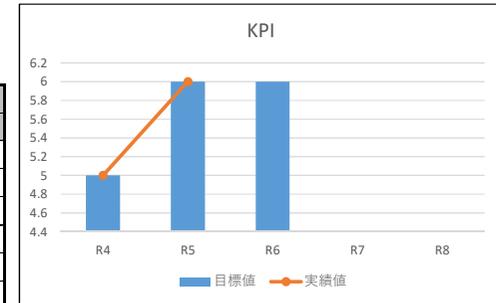
・花火に傾注せざるを得ない観光課の推進体制を見直す必要がある。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

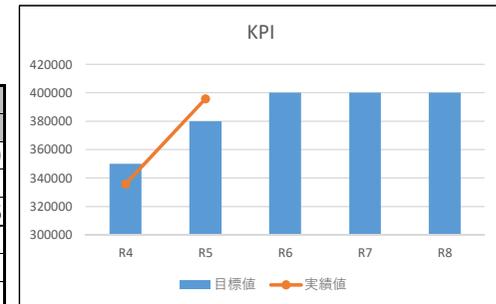
事業名	観光ランドデザイン関連事業	担当課・係	観光課 観光係						
事業概要 現状	「諏訪市誘客コンテンツ造成プロモーション事業」を令和4年度から実施し、諏訪市への継続的な誘客につながる「誘客コンテンツ」の造成や磨き上げ、イベント等を行う市内の民間事業者を支援することで、公民連携による取組の加速を図っている。	KPI							
		観光課が支援する観光プロジェクト数							
課題	令和4年度から「諏訪市誘客コンテンツ造成プロモーション事業」を開始し、令和6年度まで行うことで一定の成果が見込まれるが、持続的かつ効果的な観光施策の取組を進める必要がある。	KPI・必要経費 経年比較							
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	6	5	6	6			
		実績	6	5	6				
今後の取組 の方向性	確実な成果を出していくため、ソフトとハード事業に取り組みながらも、宿泊や観光事業者と連携しながら、「ユニバーサルツーリズム」を切り口に、宿泊施設や観光施設の改修による高付加価値化に取り組んでいく必要がある。	必要経費(千円)							
		予算額	3,700	3,000	3,700				
		決算額	3,696	2,992	3,696				



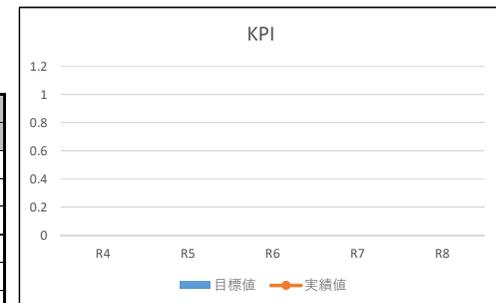
事業名	KRTプロジェクト関連事業	担当課・係	観光課 施設管理係					
事業概要 現状	霧ヶ峰高原の活性化についてのアイデアについて観光・地元関係者、民間事業者、専門家等から諏訪市に対して提言をいただき意見交換をする「場」を設置し、できることから実行していくとともに市有施設については令和6年度に対応方針を決定する。	KPI						
		諏訪市観光動態要覧「霧ヶ峰観光消費額(通年)」						
課題	霧ヶ峰の活性化に向けては、新たなファンの獲得に向けた発信、公民協働、民間活力の導入を念頭に置いた取組を進める必要がある。	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	万円	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	500,000	440,000	500,000	540,000	540,000	540,000
		実績	494,524	438,429	494,524			
今後の取組 の方向性	霧ヶ峰の活性化等に関する具体的なアイデアについては実行に移せるアイデアから随時取り組み、市有施設については令和6年度中に再整備等の方針を決定する。	必要経費(千円)						
		予算額	0	0	0			
		決算額	0	0	0			



事業名	諏訪湖祭湖上火花大会	担当課・係	観光課 観光係					
事業概要 現状	4年ぶりの通常開催となった第75回諏訪湖祭湖上火花大会は、従来規模で開催し、コロナ禍からの立ち直りと復活を印象付ける大会として盛大に、且つ無事開催した。同大会では、多くの改善を図り、それらを実行することで火花大会運営への新たな知見を得た。	KPI						
		諏訪市観光動態要覧「毎年8月諏訪市観光消費額」						
課題	特に諏訪湖祭湖上火花大会については、新たに民間活力の導入を検討することにより、市職員の負担軽減をはかりながらも、より効果的で費用対効果の高い取組を行う必要がある。	KPI・必要経費 経年比較						
		単位	万円	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	380,000	350,000	380,000	400,000	400,000	400,000
		実績	395,697	335,825	395,697			
今後の取組 の方向性	花火に傾注せざるを得ない観光課の推進体制を見直す必要がある。	必要経費(千円)						
		予算額	76,500	6,500	76,500			
		決算額	56,500	6,500	56,500			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		KPI						
課題		KPI・必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	② 商業・流通	主関連課	商工課
生活を支える、ホットする温かさ			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
推せんみやげ品新規登録数	件	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	0	9			
		達成率 (達成度)	0.0%	300.0%	0.0%	0.0%	0.0%
商業連合会会員店舗数	店舗	目標値	235	235	235	235	235
		実績値	232	230			
		達成率 (達成度)	98.7%	97.9%	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67
		実績値	2.67	2.82			
		達成率 (達成度)	100.0%	105.6%	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

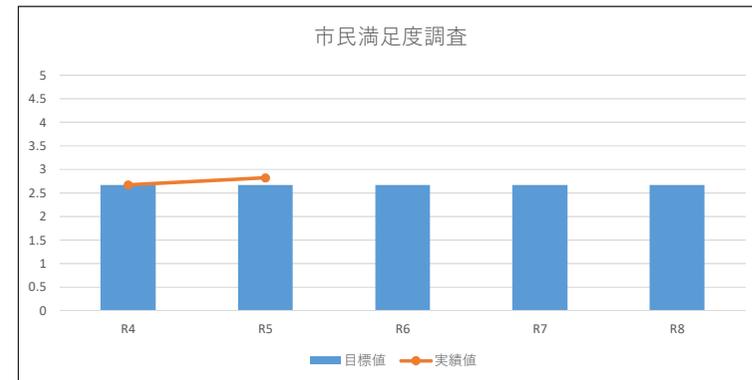
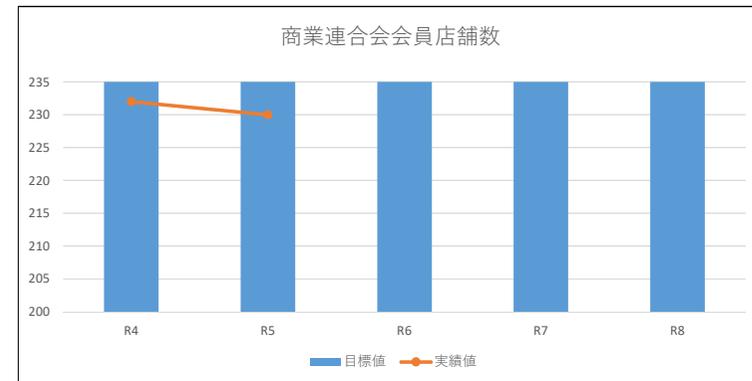
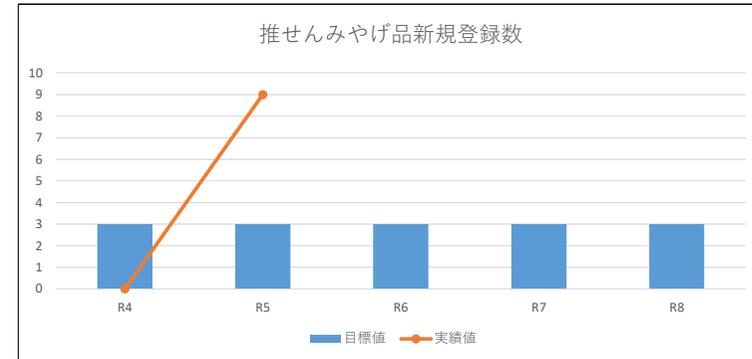
・特に上諏訪地区において地元資本の専門商店が減少し空き店舗が増加している一方で、移住者等の経営者が新規出店しており、新たな商店街形成に向け機運が高まっている。
 ・諏訪地域特有の農産品などの地域資源のブランド化に取り組み生産者支援の継続により、新たな付加価値を見出した製品等（みやげ品、SUWAプレミアム等）が開発されている。
 ・市場審議会による公設市場の閉場の妥当性と食の供給機能を継承する新たな仕組み作りの検討の答申を受け、新市場運営方針検討委員会を立ち上げ市場関係者を中心に今後の市場の運営方針について検討を重ねた。

●課題

・観光客や市民のまちなかへの回遊を実現するためには、多様化した価値観への対応や、新たな価値の創造が必要である。
 ・デジタル端末の普及や利便性がより進み、また新型コロナウイルス感染症対策の経験を活かし、オンラインを活用した販路拡大や発信がより重要になる。
 ・市場や世の中の変化に対応するためには、設備への投資のみならず、商業界においても革新を引き起こすことのできる「人（後継者）」の発掘や育成が必要である。
 ・公設市場を廃止した後の食の供給機能を継承する新たな仕組み作りや、新しい施設の維持管理方法、施設と市の関わり方を検討する必要がある。

●今後の取組の方向性

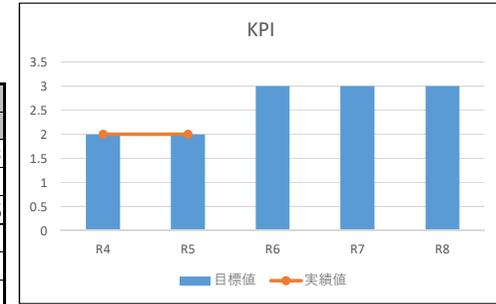
・魅力的な推せんみやげ品の発掘を促すとともに、新規みやげ品の開発を促すことで、生産者の創意工夫を促し、市内外に対してみやげ品を通じた地域ブランドのPRを実現する。
 ・商業会等団体自らが主体となる賑わい創出やPRのための取組を積極的に支援するとともに、既存の取組についても新規要素の導入を積極的に推進する。
 ・郊外型商業地と地域密着型商業地それぞれの特性を生かしたバランスの取れた商業地発展に取り組み、地域住民が安心して生活できる、ほっとする快適な商業環境の創出を目指す。
 ・市場については、令和6年度中に課題を解決し、令和7年度から公設によらない「食の供給機能を継承する新たな仕組み」により民間を中心とした新たな市場を運営していく。



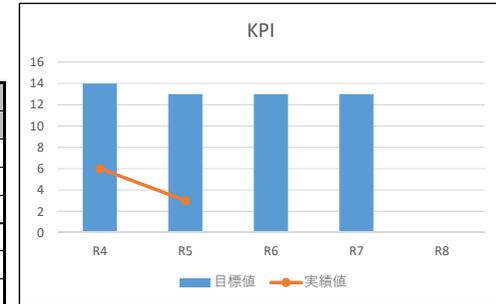
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

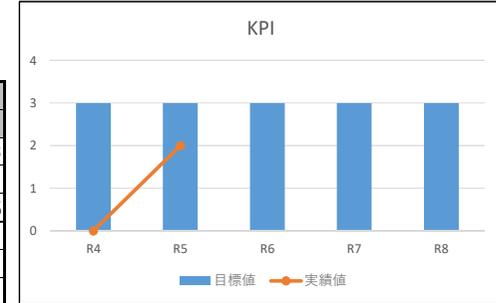
事業名	空店舗等活用補助金	担当課・係	商工課 商業振興係			
事業概要 現状	市内の空店舗等を有効利用し、まちの賑わいづくりにつなげるため、新たに空店舗等を改装して事業を開始する事業者に対して、改修経費の一部を補助し商業振興を図る。	KPI	空店舗等活用補助金の利用件数			
課題	持続可能な地域社会に向け、空店舗等活用補助金は商店街の賑わいづくりに有効な手段であり、若手創業者への支援にもなるが、その後も継続的な支援が必要である。	KPI・必要経費 経年比較				
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	件			
今後の取組 の方向性	若手創業者のスタートアップ支援として有効に活用されていることから、創業後も相談助言などの支援も行いながら、長期的な地域活性化につながるよう行っていく。	目標	2			
		実績	2			
		達成率	100.0%			
		必要経費(千円)				
予算額	1,000	1,000	1,000			
決算額	1,000	852	1,000			



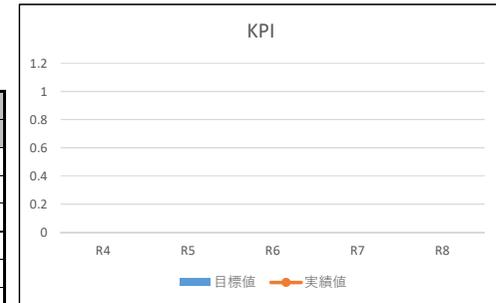
事業名	店舗リフォーム助成事業	担当課・係	商工課 商業振興係			
事業概要 現状	まちの賑わいづくりにつなげるため、市内に店舗を構え事業を営む方が、市内小規模企業者を利用してリフォームをした場合の改修経費の一部を補助し店舗の魅力アップを図る。	KPI	店舗リフォーム補助金利用件数			
課題	地域が衰退しているイメージをもたれないよう、既存店舗の魅力アップを図り集客力を上げる必要がある。	KPI・必要経費 経年比較				
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	件			
今後の取組 の方向性	既存店舗のリフォームを補助することで、リフォーム需要を喚起し、加えて市内小規模企業者への受注を促進させ、まちの賑わいづくりにつなげ市内経済の活性化を図る。	目標	13			
		実績	3			
		達成率	23.1%			
		必要経費(千円)				
予算額	2,500	3,000	2,500			
決算額	1,091	1,361	1,091			



事業名	推薦みやげ品事業	担当課・係	商工課 商業振興係			
事業概要 現状	特性を活かした地域ブランドとして、諏訪市推せんみやげ品をPRすることにより、商業振興及び地域活性化につなげ観光事業への寄与を目指す。	KPI	みやげ品開発事業奨励金の交付件数			
課題	新たなみやげ品の開発を促進するため奨励金を設け、事業者の販売意欲や経営力を高めることにつなげていく必要がある。	KPI・必要経費 経年比較				
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	件			
今後の取組 の方向性	「諏訪市みやげ品開発事業奨励金」制度の周知に努め事業者の開発意欲を促すとともに、販売意識の向上を目指す。推薦みやげ品を各種イベントでPRするため、物販・パンフレットの配布をし、更なる周知を継続していく。	目標	3			
		実績	2			
		達成率	66.7%			
		必要経費(千円)				
予算額	300	300	300			
決算額	200	0	200			



事業名		担当課・係			
事業概要 現状		KPI			
課題		KPI・必要経費 経年比較			
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	件		
今後の取組 の方向性		目標			
		実績			
		達成率			
		必要経費(千円)			
予算額					
決算額					



基本方針効果検証			
基本方針	② 農林漁業	主関連課	農林課
農林漁業を守り、育て、活かす			
関連する重点目標	充実したしごと創出	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
農業の担い手への農地集積率	%	目標値	39.3	41.7	44.7	47.6	50.0
		実績値	37.3	37.6			
		達成率 (達成度)	94.9% 順調	90.2% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
木材搬出面積	ha	目標値	33.5	34.5	35.5	36.5	37.5
		実績値	27.31	23.46			
		達成率 (達成度)	81.5% 順調	68.0% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12	3.03			
		達成率 (達成度)	100.0% 順調	97.1% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

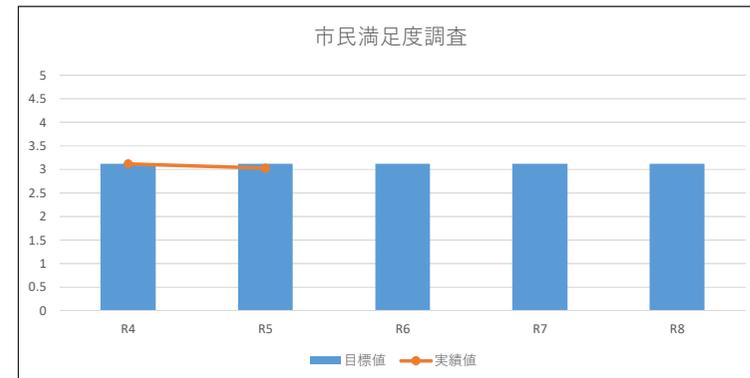
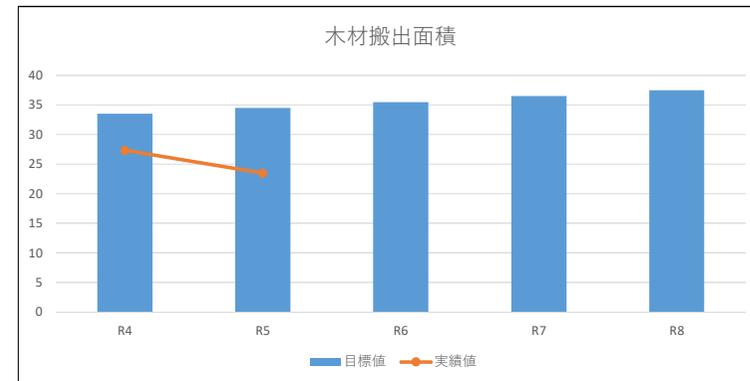
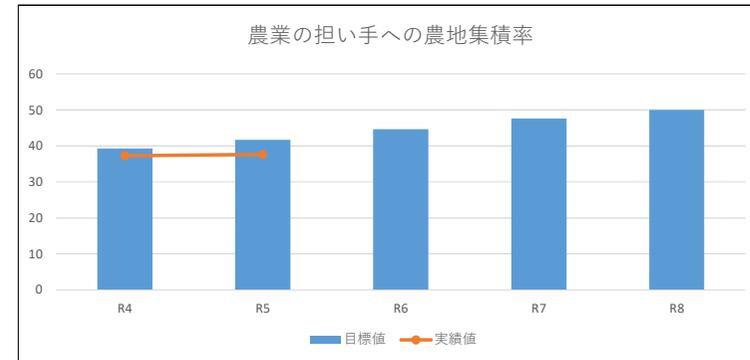
・農業経営安定化のため支援を行い、農業の振興を図るとともに、安全・安心な農作物の提供を目指す。
 ・漁業の生産性向上のため、水産資源の確保・増殖を図る。
 ・県や長野県林業労働財団、諏訪森林組合と連携しながら、林業のための技能・技術が習得できるよう研修への参加を促進している。

●課題

・農業従事者の高齢化や担い手の減少により、耕作放棄地や遊休農地が拡大傾向にある。
 ・有害鳥獣による農作物及び森林被害が深刻な問題となっている。
 ・漁獲量は減少しており、諏訪湖の漁獲資源の確保に関し、外来魚による食害が問題となっている。
 ・次代の森林・林業を担う20代から30代の林業技術者が、地域の森林所有者等が安心して森林経営を任せられるリーダー的存在として成長することが必要。

●今後の取組の方向性

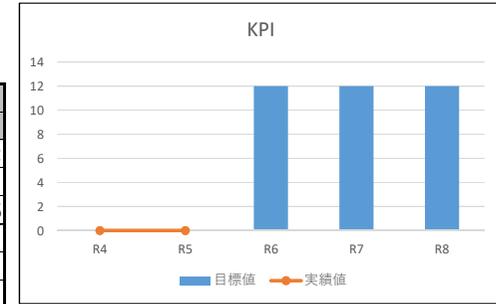
・耕作放棄地や遊休農地の解消を図るため、農業委員会による農地利用最適化に向けた取組を実施していく。また、農業の競争力強化のため、農地中間管理機構を活用した集積と集約化を促進する他、農地基盤整備の実施、農業の担い手の育成、特産品の販路開拓、地産地消の解消など、持続可能な強い農業を目指していく。
 ・県・湖周2市1町との連携により、諏訪湖漁協による外来駆除事業を継続実施し、水産資源の確保を図っていく。
 ・県や他市町村、諏訪森林組合等林業事業者と協力しキャリアアップのための研修等、参加支援をしていく。



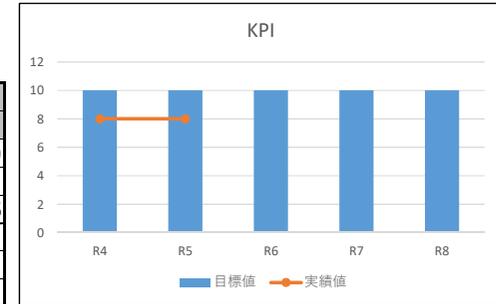
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

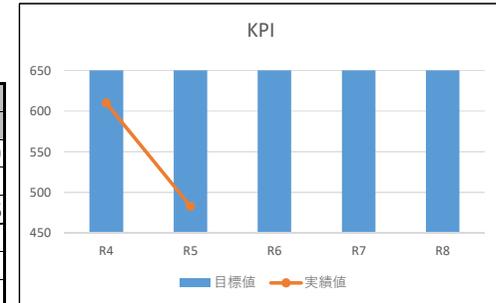
事業名	諏訪平土地改良区農地基盤整備事業	担当課・係	農林課 耕地林務係					
事業概要 現状	換地計画書の作成を行い農地の有効利用や収益性の向上、担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、水田の区画整理や水路のパイプライン化、排水路やポンプ施設の新設や改修、農道の整備等の実施を進めている。	KPI						
		基盤整備面積						
課題	諏訪平地区は第一次構造改善事業等（昭和30年代に実施）により20a程度の良田で整備されたが、各施設の老朽化が顕著であり通常の維持管理が困難になっている。また近年は農家の高齢化や後継者不足等による遊休荒廃化への危惧、ほ場が小さく大型農業機械が導入できないなど、担い手農家が作業しにくい環境が要因となり、国や県が目指す農業競争力強化基盤整備事業施策に係る目標まで集積・集約化が進んでいないという課題がある。	単位	ha	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	0	0	0	12	12	12
		実績	0	0	0			
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
今後の取組 の方向性	地域の担い手と連携した農地の大区画化や排水路管理環境整備、用水量効率化等の耕作条件改善を行うことで、より効率的な営農が可能となり、国の目指す集積・集約化率の目標達成ならびに競争力の高い農業地帯の実現に向けた基盤の構築を目指す。	必要経費（千円）						
		予算額	18,540	24,809	18,540			
		決算額	6,145	15,383	6,145			



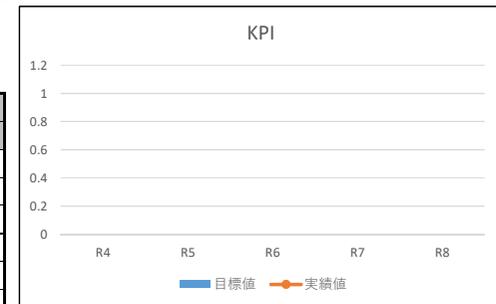
事業名	農道・農業用水路整備事業	担当課・係	農林課 耕地林務係					
事業概要 現状	地元区や土地改良区からの要望に基づく補修や水路の清掃等の維持管理工事や改修工事を行い、改修工事に際して特定の受益がある場合には分担金を徴収し財源の一部としている。	KPI						
		修繕箇所数						
課題	昭和20年代の諏訪平地区をはじめとして過去の土地改良事業により整備された農業用施設の多くが耐用年数を超えており、各所で経年による劣化や損傷が発生している。また諏訪地域特有の軟弱地盤に起因する影響も顕著であり、安定的な耕作の支障となっている。さらに、これら要因が耕作者の意欲減退による耕作放棄地の発生等の問題にもつながっている。	単位	箇所	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	8	8	8			
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
今後の取組 の方向性	耕作に必要不可欠である用水の安定供給に与する農業用施設を適切に維持管理・整備していくことで、安定的な耕作が可能となる。また耕作者の意欲向上による耕作放棄地や荒廃地の防止・解消や、昨今の頻発する自然災害に対する全体的な取組である流域治水対策の推進にも効果が期待できる。	必要経費（千円）						
		予算額	26,422	17,329	26,422			
		決算額	26,351	17,040	26,351			



事業名	鳥獣害対策事業	担当課・係	農林課 農業振興係					
事業概要 現状	諏訪市猟友会や諏訪市鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣駆除の他、諏訪市鳥獣被害対策協議会に対し、鳥獣駆除及び侵入防護柵設置の支援を行っている。	KPI						
		捕獲頭数						
課題	耕作放棄地や遊休農地の拡大傾向により、有害鳥獣による農作物の被害が増加傾向にある。	単位	頭	R4	R5	R6	R7	R8
		目標	650	650	650	650	650	650
		実績	483	610	483			
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
今後の取組 の方向性	有害鳥獣駆除の捕獲強化を図っていくほか、侵入防護柵設置について各団体からの要望を確認しながら進めていく。	必要経費（千円）						
		予算額	14,147	18,295	14,147			
		決算額	7,723	12,576	7,723			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		KPI						
課題		単位		R4	R5	R6	R7	R8
		目標						
		実績						
評価		A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了						
今後の取組 の方向性		必要経費（千円）						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	② 雇用・スタートアップ支援	主関連課	商工課
働きやすさと挑戦の後押し			
関連する重点目標	充実したしごと創出	人と投資を呼び込む	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
新入社員歓迎大会申込者数	人	目標値	300	400	400	400	400
		実績値	354	492			
		達成率 (達成度)	118.0% 非常に順調	123.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
諏訪市の支援を受けて実現した創業数	件	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	17	33			
		達成率 (達成度)	85.0% 順調	165.0% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
		実績値	3.11	2.98			
		達成率 (達成度)	100.0%	95.8% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

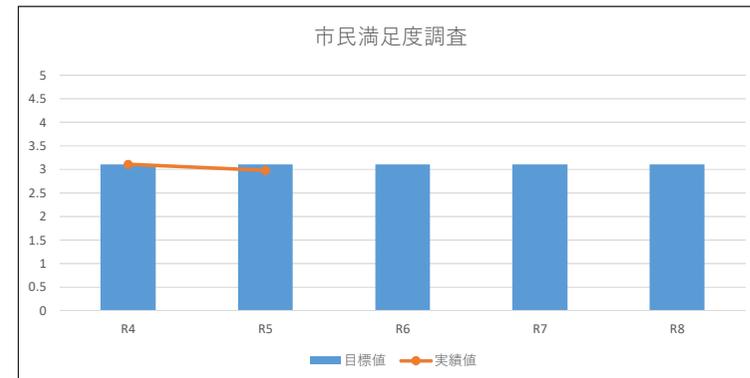
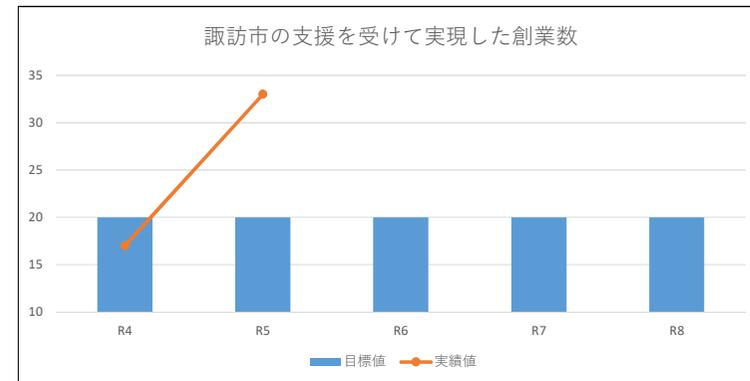
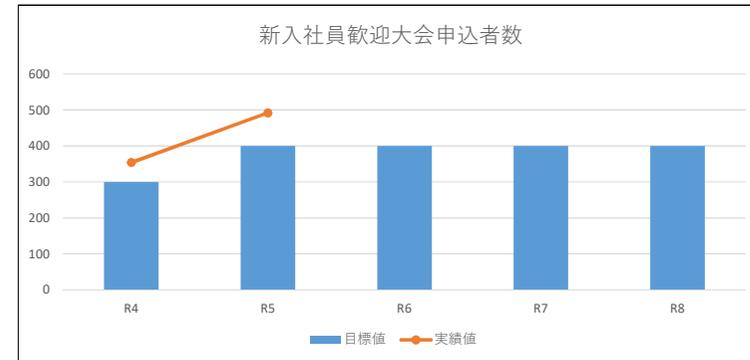
・諏訪市内の企業が持続的に発展し、技術開発や異業種との連携など将来にわたってイノベーションを起こしていくためには、次世代を担う優秀な人材が必要である。少子高齢化・人口減少社会が進展するなか、人材確保に苦慮している状況が顕著となっている。
 ・開業支援を受けた創業数は33件、新入社員歓迎大会はオンラインによるハイブリッド方式で開催し492名の参加があり、共に目標値を達成することができた。
 ・令和5年度は、中小企業者奨学金返済支援制度応援補助金を新たに創設し、従業員の経済的、心理的負担を軽減し、安心して働ける環境を構築した。今後、労働人口がますます減少していくなか、この制度を有効活用し、採用において優秀な人材確保につなげ新たな雇用創出につなげている。

●課題

・ハローワーク諏訪管内、令和6年3月の有効求人倍率は1.32倍で、全国の1.28倍を上回っている。雇用情勢は、着実に改善が進んでいるが、引き続き国内景気や国際情勢の動向が雇用と与える影響を注視する必要がある。特に専門的・技術的職業にかかる求人数は求職者数を大きく上回っており、市内の製造技術者を中心に慢性的な人手不足となっている。
 ・新型コロナウイルスを経験し、対面型の合同就職説明会からオンライン説明会を併用するなど、採用手法の転換が求められている。企業の魅力を如何に発信し、訴求力を高めていくかが課題である。

●今後の取組の方向性

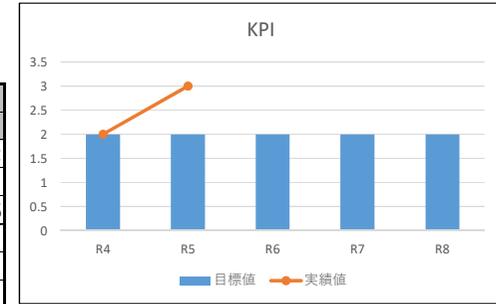
・企業からは、就職後ミスマッチにより転職する従業員も一定数いると聞いている。インターンシップやキャリア教育（中学生・高校生）は、事前に労働環境や業務内容を知ることにより自分の適性にあった職場を見つけることができる有効な手段といえる。ミスマッチを防止するため、インターンシップなどの従業員の定着に向けた取組を支援するとともに、安心して働くことができる職場環境を整備することが大切である。
 ・令和5年度から「中小企業者奨学金返済支援制度応援補助金」を創設し、従業員に対して企業が支払う奨学金返済支援制度（手当）を補助することにより支援している。奨学金返済に対する支援をすることで、従業員の経済的、心理的負担を軽くし、安心して働ける環境を構築する。また、福利厚生面をPRすることで、新卒等採用活動を優位に進め優秀な人材確保につなげる。



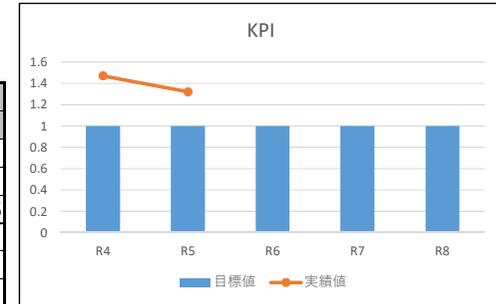
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	職場環境整備促進事業補助金	担当課・係	商工課 工業・ブランド振興係				
事業概要 現状	事業所の職場環境の整備に要した経費の一部を補助することにより、働きやすい職場環境を整備し、従業員の雇用促進及び安定的な雇用を図る。	K P I					
		職場環境整備促進事業補助金の交付実績					
課題	令和4年度から脱炭素社会の実現及び持続的発展が可能な社会の構築を図ることを目的に、省エネルギー機器導入に対しても補助を実施している。温暖化への対応を、経済成長の制約（コスト）と考えるのではなく、成長の機会と捉えることが重要。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	件	R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	2	2	2	2	2
		実績	3	2	3		
今後の取組 の方向性	働き方改革を促進するうえでも、時代に沿った職場環境を構築していくことは重要である。令和6年度からは新たに「ウェルビーイング経営推進事業補助金」を創設し、安定的な雇用に繋がるよう支援を継続する。	必要経費（千円）					
		予算額	831	1,000	831		
		決算額	428	500	428		



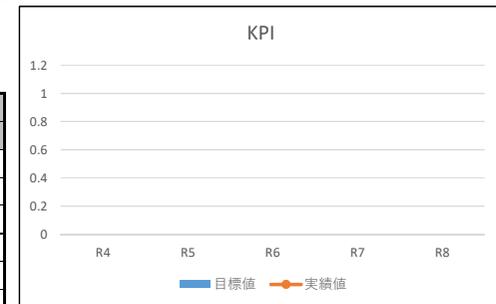
事業名	人材確保推進事業	担当課・係	商工課 商業振興係				
事業概要 現状	雇用の維持や求人開拓、再就職支援等、雇用の確保対策など人材確保を推進する事業である。新型コロナウイルス感染症を契機に、企業での採用活動はオンライン活用が増加してきている。	K P I					
		有効求人倍率(3月)					
課題	優秀な人材確保は、持続可能な地域社会構築の重要な先行投資であるが、KPIなど成果としての数字は計り難い。採用活動は景気動向に大きく左右されるため、長期的な視点で着実に取り組むことが必要。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	倍	R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	1	1	1	1	1
		実績	1.32	1.47	1.32		
今後の取組 の方向性	国内の経済活動は活発化し雇用情勢は改善している。それに伴い企業は新卒・中途など優秀な人材を求めているが、採用に至らない場合も多い。積極かつ効率的に市内企業の情報発信を行い、市内企業と求人者のマッチングの機会を創出する。	必要経費（千円）					
		予算額	39,860	8,974	39,860		
		決算額	38,864	8,101	38,864		



事業名	SUWAプレミアム事業	担当課・係	商工課 工業・ブランド振興係					
事業概要 現状	平成26年4月、諏訪地域の技術力が生みだす優れた商品を「SUWAプレミアム」としてブランド化。販路開拓、情報発信、認知度向上等の活動によりブランドの存在感や価値を高めながら、事業者の後押しを行う。	K P I						
		SUWAプレミアム認定商品数						
課題	主な販路であった旗艦店の対面販売は、コロナ禍の影響を受け令和2年度大幅に減少した。令和3年度以降徐々に回復傾向にあるが、コロナ禍により変容した消費者の購買行動に対し、WEBサイト上の発信・集客を戦略的に展開する必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	点	R4	R5	R6	R7	R8
評価	B:現状のまま継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	104	100	104	108	112	116
		実績	111	102	111			
今後の取組 の方向性	令和6年度の新規事業では、「SUWAプレミアム」を広範に波及させる大手ECモールでのショッブ開設、また工場見学を通して他社に追随を許さない卓越した技術をわかりやすく体験してもらう企画を実施する予定である。	必要経費（千円）						
		予算額	4,060	4,042	4,060			
		決算額	3,957	4,034	3,957			



事業名		担当課・係					
事業概要 現状		K P I					
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位		R4	R5	R6	R7
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標					
		実績					
今後の取組 の方向性		必要経費（千円）					
		予算額					
		決算額					



基本方針効果検証			
基本方針	② 防災・危機管理	主関連課	危機管理室
自分とみんなを災害から守る			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
防災メールの登録者数	人	目標値	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500
		実績値	7,927	8,172			
		達成率 (達成度)	87.1% 順調	88.8% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
諏訪市防災気象情報システムアクセス数	件	目標値	80,200	80,400	80,600	80,800	81,000
		実績値	60,348	106,800			
		達成率 (達成度)	75.2% 努力が必要	132.8% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23
		実績値	3.23	3.08			
		達成率 (達成度)	100.0%	95.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

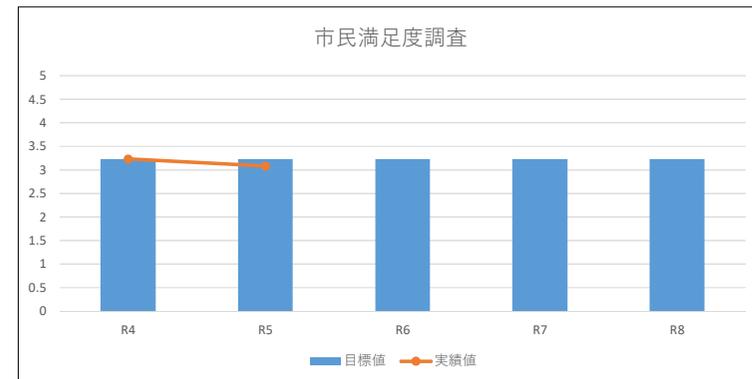
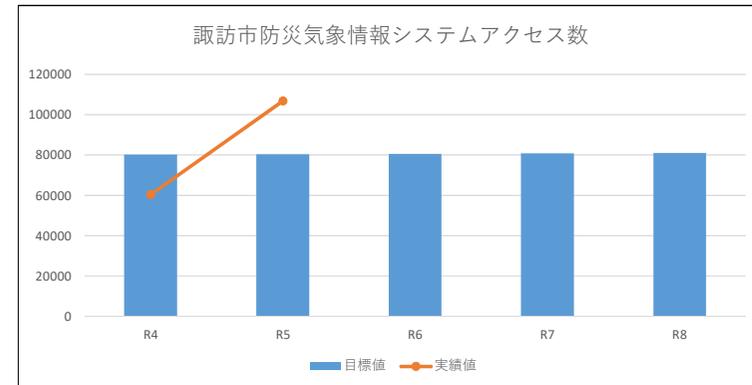
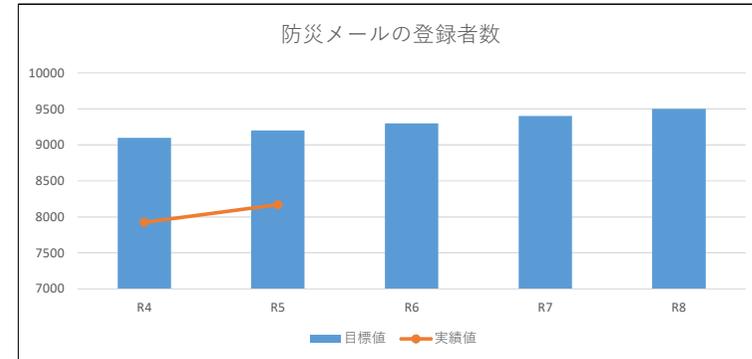
- ・台風や集中豪雨による災害から住民の生命や財産を守るため、防災上、重要な準用河川や普通河川及び基幹水路の改修工事を着実に実施している。
- ・水路・河川の流路確保のための浚渫及び河床整備による河川改修事業により、地区では実施困難な暗渠水路や道路側溝等の土砂撤去を行っている。
- ・近年は大規模災害に伴う人的被害は発生していないが、局地的大雨による低地での内水氾濫が生じており、避難所環境の整備を進めている。
- ・早期の避難行動等に役立てるよう、市内の気象情報を迅速に収集解析し、住民に提供する必要がある。防災行政無線のほかICTを活用した情報管理の取り組みを進めている。
- ・災害時に現場で活躍する消防団員の確保に努めており、消防団員に係る処遇改善を進めている。

●課題

- ・市内各地区から浸水対策に係る要望が多く寄せられており、内水氾濫による被害を軽減させるため、内水排除ポンプの設置の検討が必要である。
- ・地元協議の中で緊急性・必要性を判断し、効果的な整備に向けた取組が必要である。
- ・高齢化により側溝泥上げなど行うことが困難な地区への対応が課題となっている。
- ・市が独自で運用する”すわそらサイト”の一層の周知、活用促進が求められている。
- ・災害発生に備えて、水防用や避難所用の防災倉庫の設置や避難所環境整備が求められている。
- ・災害発生時の共助機能強化のため、地域防災力向上のための体制整備が求められている。
- ・消防団員に対する報酬支払時に、団員自身が入力した個人情報に誤りがあり、正確かつ迅速な支給体制の確立が求められている。

●今後の取組の方向性

- ・河川の氾濫防止と内水氾濫の軽減を図るため、地元や関係機関と調整を図りながら優先順位を定めて計画的に整備を進める。
- ・各地区において実施困難な暗渠水路や道路側溝等の堆積土砂撤去は、地区要望を中心に行うが、地区との協働を念頭に対応し、安心・安全な住民の生活維持に努める。
- ・すわそらサイトを、より多くの方に利用していただくため、利便性の向上に努め情報内容等の一層の充実を図りつつ様々な手法で活用方法を周知する。
- ・避難所や河川付近に防災倉庫を設置する。また地域防災力向上補助金による共助推進を図る。
- ・消防団員の処遇改善にあたっては一定の水準まで引き上げることができた。改めて実働や訓練、行事の必要性を理解してもらい、団員確保に重点を置き、更なる改善を続けていく。



基本方針効果検証			
基本方針	⑦ 安心生活	主関連課	建設課
地域ぐるみで守る安心生活			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
交通死亡事故発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	1	2			
		達成率 (達成度)	—	—			
相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100			
		達成率 (達成度)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.26	3.26	3.26	3.26	3.26
		実績値	3.42	3.16			
		達成率 (達成度)	104.9%	96.9%	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

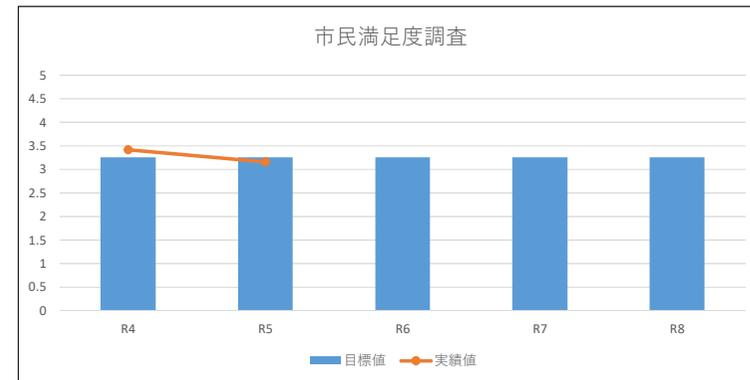
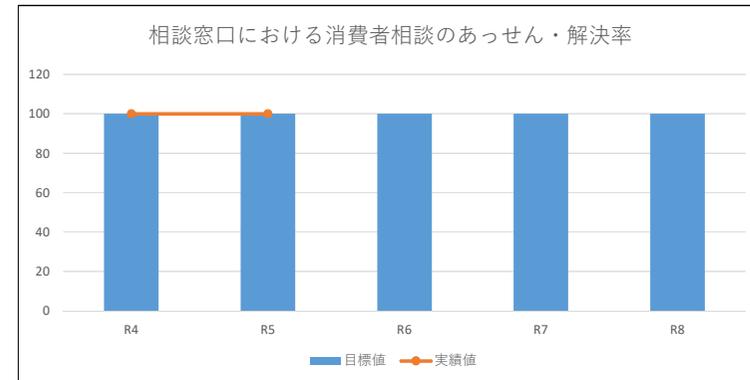
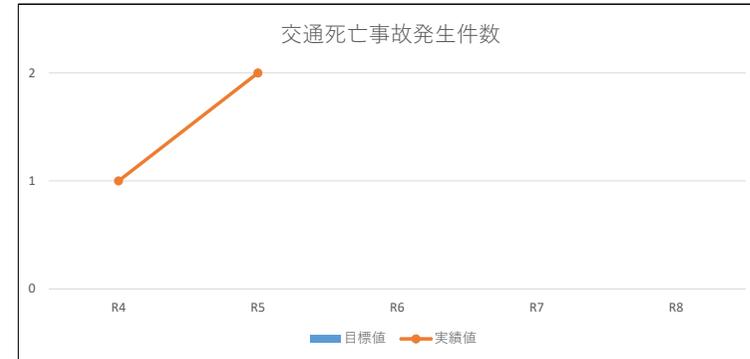
・交通安全施設の整備等の各地区からの要望に関しては、必ず現場確認を実施、必要性の有無を判断して早急に対応している。
 ・各季交通安全運動や、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室及び安全講話の実施により、通学児童の安全確保や高齢者の安全意識の向上を図っている。
 ・消費生活センターに相談員を配置し、消費者からの相談に対し解決に向けた支援を行うとともに、啓発活動による消費者被害の未然防止活動を行っている。

●課題

・各地区から交通安全整備に関する要望が多いため、優先順位を付して実施している。コスト面も含め、すべての要望には対応できない状況である。
 ・高齢化により、交通弱者となる高齢者の増加が想定されるため、交通事故防止が喫緊の課題となっている。
 ・消費者被害を未然に防ぐため、若年者から高齢者までのあらゆる年齢層に向けて、消費生活に関する知識や情報が修得できる機会等の取り組みが必要である。

●今後の取組の方向性

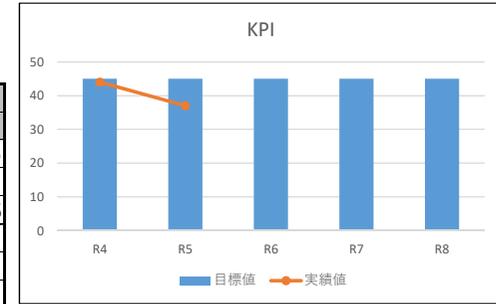
・交通安全施設の充実
 地区要望や交通事故の発生状況を踏まえ、交通事故発生要因を減らすため更なる交通安全施設の整備を進める。
 ・交通安全に対する意識啓発
 子どもや高齢者等の交通弱者を対象とした交通事故防止が重要となることから、警察、交通安全協会等関係機関と協働して、交通安全教育の充実を図る。
 ・消費者に向けた啓発活動
 特殊詐欺、消費者被害の未然防止に向け、広報やホームページからの情報発信を行うとともに、関係機関と連携した街頭啓発や出前講座等により、消費者の自立を支援すべく消費者教育を実施する。



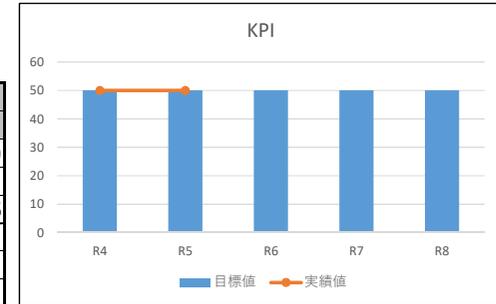
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	交通安全施設整備事業	担当課・係	建設課 交通安全係					
事業概要 現状	各地区からの交通安全施設の整備等の要望に関しては、必ず現場確認を実施、必要性の有無を判断して早急に対応している。	K P I						
		交通安全施設の要望件数に対する対応及び維持修繕件数						
課題	各地区から交通安全整備に関する要望が多いため、優先順位を付けて実施している。コスト面も含め、すべての要望には対応できない状況である。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	45	45	45	45	45	
		実績	37	44	37			
今後の取組 の方向性	地区要望や交通事故の発生状況を踏まえ、交通事故発生要因を減らすため更なる交通安全施設の整備を進める。	達成率	82.2%	97.8%	82.2%	0.0%	0.0%	
		必要経費(千円)						
		予算額	22,549	26,237	22,549			
		決算額	22,138	26,054	22,138			



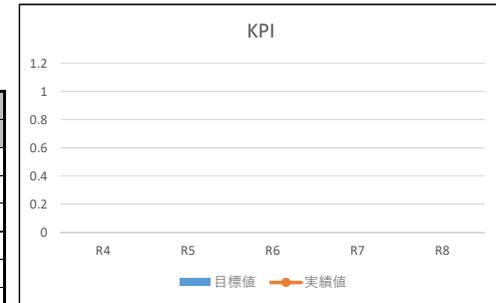
事業名	地域交通安全事業（一般事業・交通安全啓発）	担当課・係	建設課 交通安全係					
事業概要 現状	各季交通安全運動や、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室及び安全講話の実施により、通学児童の安全確保や高齢者の安全意識の向上を図っている。	K P I						
		交通安全講習開催回数						
課題	高齢化により、交通弱者となる高齢者の増加が想定されるため、交通事故防止が喫緊の課題となる。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	回	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	50	50	50	50	50	
		実績	50	50	50			
今後の取組 の方向性	子どもや高齢者等の交通弱者を対象とした交通事故防止が重要となることから、警察、交通安全協会等関係機関と協働して、交通安全教育の充実を図る。	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
		必要経費(千円)						
		予算額	1,342	1,342	1,342			
		決算額	1,342	1,342				



事業名	消費生活センター運営事業	担当課・係	市民課 市民窓口係					
事業概要 現状	消費生活センターに相談員を配置し、消費者からの相談に対し解決に向けた支援を行うとともに、啓発活動による消費者被害の未然防止を図る。	K P I						
		相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率						
課題	消費者被害を未然に防ぐため、若年者から高齢者までのあらゆる年齢層に向けて、消費生活に関する知識や情報が修得できる機会等の取り組み強化が必要である。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	100	100	100	100	100	
		実績	100	100	100			
今後の取組 の方向性	特殊詐欺、消費者被害の未然防止に向け、広報やホームページからの情報発信を行うとともに、関係機関と連携をした街頭啓発や出前講座等により、消費者の自立を支援すべく消費者教育を実施する。	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
		必要経費(千円)						
		予算額	3,183	3,632	3,183			
		決算額	3,137	3,052	3,137			



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		達成率						
		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	㊸ まちの賑わい創出	主関連課	生涯学習課
集まる賑わい、つながる賑わい			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数	件	目標値	2,940	3,080	3,220	3,360	3,500
		実績値	3,618	4,352			
		達成率(達成度)	123.1% 非常に順調	141.3% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
コワーキングスペース登録有料会員数	者	目標値	21	22	23	24	24
		実績値	26	32			
		達成率(達成度)	123.8% 非常に順調	145.5% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
駅前駐車場利用台数(定期利用除く)	台	目標値	110,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		実績値	88,071	100,416			
		達成率(達成度)	80.1% 順調	83.7% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査(R5年度調査比向上)	-	目標値	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08
		実績値	3.08	2.94			
		達成率(達成度)	100.0%	95.5% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

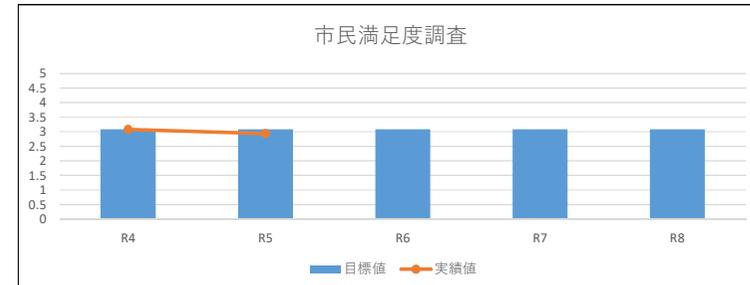
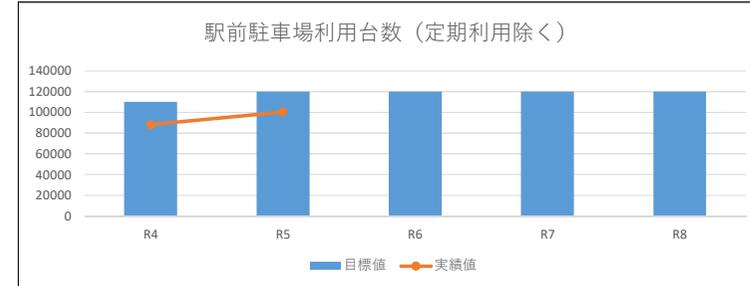
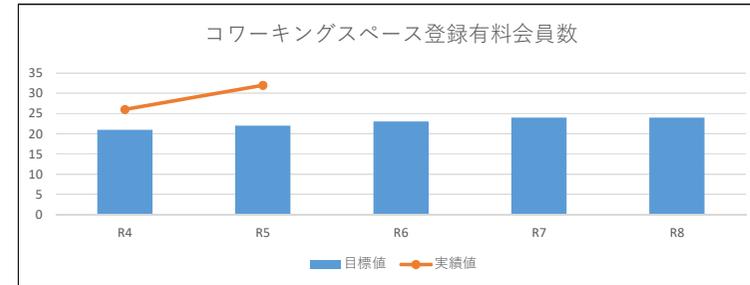
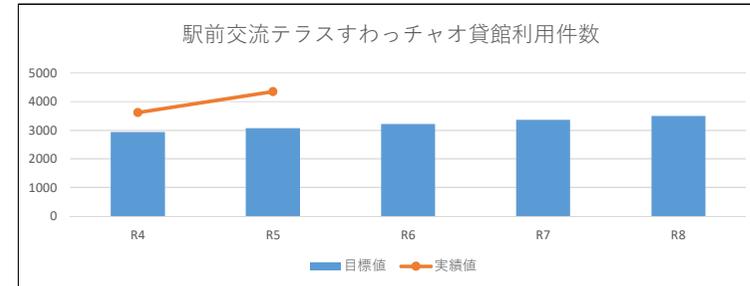
- ・駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数は前年比120%と貸館利用実績は順調に増加。オンライン配信の活用、駅前関係者などと新たな連携事業を実施した。
- ・商店街等が顧客獲得のために実施するセール等のPRイベント事業に対して補助し、イベントによる市内商店街の賑興を図った。
- ・諏訪湖イベントひろば(旧東洋バルブ諏訪工場跡地)の活用に向けて、令和3年度に策定した基本計画を基に、産業振興機能の具体化や民間参入領域の条件検討を行う。令和4年度は、民間活用の可能性を探るため、試行活用の募集を行った。
- ・令和5年3月に策定した「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」を具現化するため、官と民を繋ぐ連携体制(スワ・マチ・ミライ)を構築した。
- ・令和3年度から令和5年度までに、エキまちカイギを計9回実施し、まちづくりの参加への機運醸成を図った。

●課題

- ・駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数の増加に伴い、会議室など予約が取りにくい状況がある。また駅周辺地区とそれ以外で利用差があり、市内全域の認知度及び利用率の向上が課題。
- ・商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街が衰退傾向であるなかで商店街の独自財源での開催は難しく、市の補助が必要である。
- ・諏訪湖イベントひろばの活用は民間参入により実現する事業であるため、基本計画に定められた内容をより具体化し、民間事業者へのヒアリングを実施しながら整備内容を固めていく必要がある。また、併せて文化センターや駅西口広場など、駅周辺の一体的整備が必要となっている。
- ・未来ビジョンの実現のためには、公民がそれぞれの特性を活かした役割を担い、連携・協働をしていく必要がある。

●今後の取組の方向性

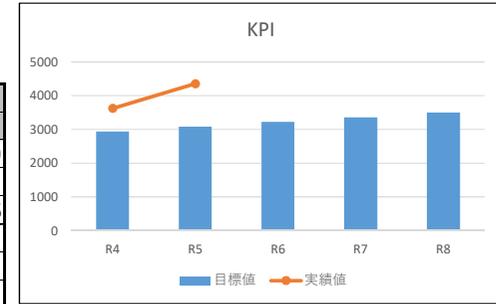
- ・利用者の増加を堅持するため、利用者ニーズの把握に努め、改善に向けて取り組むとともに、施設のイベント情報を効果的に発信していく取り組みを進める
- ・商店街を維持していくためにイベント開催への補助をすとともに、新規要素を取り入れた集客力・販売力が見込まれるイベントとなるよう助言等していく。
- ・文化センターや駅西口広場を含めた駅周辺の一体的整備として内容を検討していくとともに、早急に産業振興機能の具体化を進め、民間事業者へのヒアリングや関係団体等との調整を行い、整備方針の策定を行う。
- ・未来ビジョンに掲げた10年後の姿を見据えながら、段階的に各プロジェクトの検討や試行を進める。



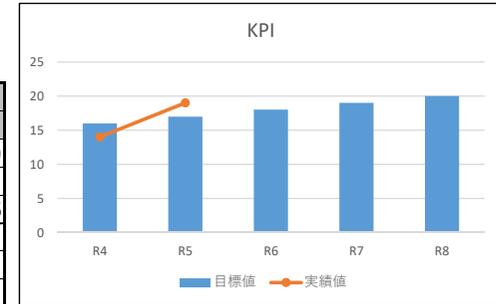
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

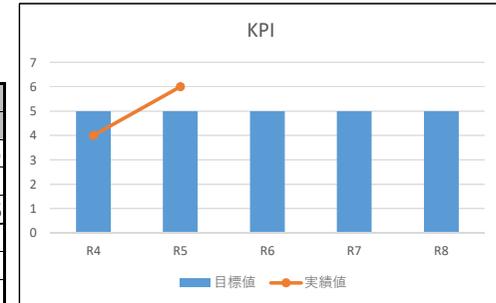
事業名	駅前交流テラスすわっチャオ管理運営事業	担当課・係	生涯学習課 すわっチャオ						
事業概要 現状	貸館利用件数は前年比120%と貸館利用実績は順調に増加している。また、オンライン配信の活用や駅前関係者や小学生保護者、高校生などと新たな枠組みでの連携事業を実施し、駅周辺の賑わいを創出した。	K P I							
		駅前交流テラスすわっチャオ貸館利用件数							
課題	貸館利用件数の増加に伴い、会議室や和室など予約が取りにくい状況がある。また、駅周辺地区とそれ以外の地区で利用状況に差があり、市内全域での施設認知度及び利用率を向上していくことが課題である。	K P I ・ 必要経費 経年比較							
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8	
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	3,080	2,940	3,080	3,220	3,360	3,500
		実績	4,352	3,618	4,352				
今後の取組 の方向性	利用者の増加を堅持するため、利用者ニーズの把握に努め、改善に向けて取り組むとともに、施設のイベント情報を効果的に発信していく取り組みを進める	必要経費(千円)							
		予算額	66,396	67,867	66,396				
		決算額	64,627	63,231	64,627				



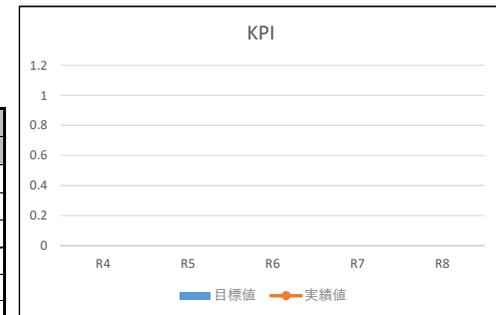
事業名	商店街活性化事業	担当課・係	商工課 商業振興係						
事業概要 現状	商店街等が顧客獲得のために実施するセール等のPRイベント事業に対して補助し、イベントによる市内商店街の振興を図る。	K P I							
		イベント開催件数							
課題	商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街が衰退傾向であるなかで商店街の独自財源での開催は難しく、市の補助が必要である。	K P I ・ 必要経費 経年比較							
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	17	16	17	18	19	20
		実績	19	14	19				
今後の取組 の方向性	商店街を維持していくためにイベント開催への補助をすとともに、新規要素を取り入れた集客力・販売力が見込まれるイベントとなるよう助言等していく。	必要経費(千円)							
		予算額	6,150	3,500	6,150				
		決算額	5,027	1,939	5,027				



事業名	諏訪湖イベントひろば整備事業	担当課・係	企画政策課 企画政策係						
事業概要 現状	諏訪湖イベントひろばを上諏訪駅周辺の一体的整備に位置付け、駅周辺の賑わい創出、諏訪地域の魅力発信の拠点となるよう、基本計画を基に準備を進めている。令和5年度は、現建屋の解体や新たな施設の整備に向け令和6年度実施予定の土壌調査の予備調査を実施した。	K P I							
		本公券参加事業者数(本公券までの間は、継続的に開い合わせ等の参加見込事業者数)							
課題	民間参入により実現する整備事業であり、基本計画に定められた内容をより具現化し、民間事業者等との情報交換・ヒアリングなどを実施しながら整備内容を固めていく必要がある。また、現建屋の解体を含め事業を進めるための基盤整備が必要である。	K P I ・ 必要経費 経年比較							
		単位	者	R4	R5	R6	R7	R8	
評価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標	5	5	5	5	5	
		実績	6	4	6				
今後の取組 の方向性	文化センター改修・利活用、駅西口広場整備とともに、上諏訪駅周辺の一体的整備の一つとして位置付け、民間事業者等へのヒアリング等による産業振興機能の具体化、土壌の本格的な調査等を行うなど、ハード・ソフトの両面から着実に進めていく。	必要経費(千円)							
		予算額	1,000	0	1,000				
		決算額	957	0	957				



事業名		担当課・係						
事業概要 現状		K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位		R4	R5	R6	R7	R8
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	目標						
		実績						
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)						
		予算額						
		決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	㊸ 多様な市民の参画	主関連課	地域戦略・男女共同参画課
多様な人材が活躍できる環境整備			
関連する重点目標	人と投資を呼び込む	気持ちいい、心地いいまちづくり	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
移住サポートによる移住定着率	%	目標値	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0
		実績値	20.1	24.7			
		達成率(達成度)	87.4% 順調	105.1% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	%	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
		実績値	13.8	50.4			
		達成率(達成度)	55.2% 努力が必要	201.6% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
委員会、審議会等における女性登用率	%	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		実績値	34.8	35.1			
		達成率(達成度)	87.0% 努力が必要	87.8% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
		実績値	3.11	2.92			
		達成率(達成度)	100.0%	93.9% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

○移住
諏訪圏移住交流促進事業連絡会と連携を取りながら、移住促進事業を実施している

○ふるさと寄附
寄附増額及び地域経済活性化のためにポータルサイトの充実や返礼品の見せ方の工夫などに取り組んでいる。

○男女共同参画
委員会、審議会における女性の登用率は、令和5年4月時点で35.1%である。(目標値40%以上)

●課題

○移住
新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの変化で、首都圏からの移住が増えている中、移住セミナー等に対面式、ウェブやオンライン等のツールを活用した相談会に参加し、一定の成果を得ているが、更なる効果的な情報発信が求められる。

○ふるさと寄附
ふるさと寄附返礼品にアウトドアの体験型や地場産品を追加して、寄附増額を目指す。

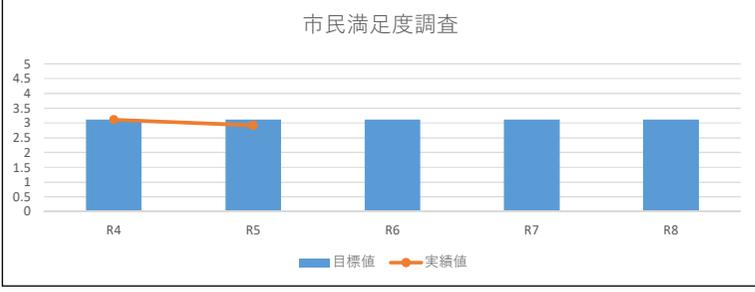
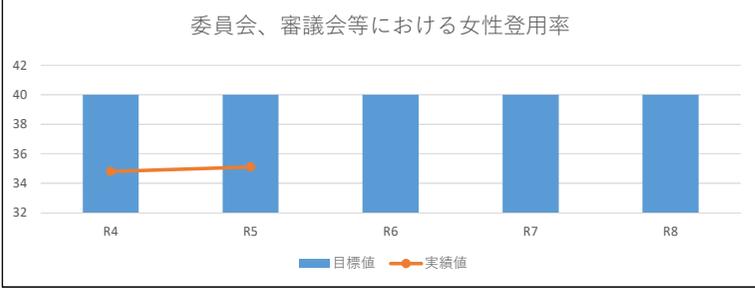
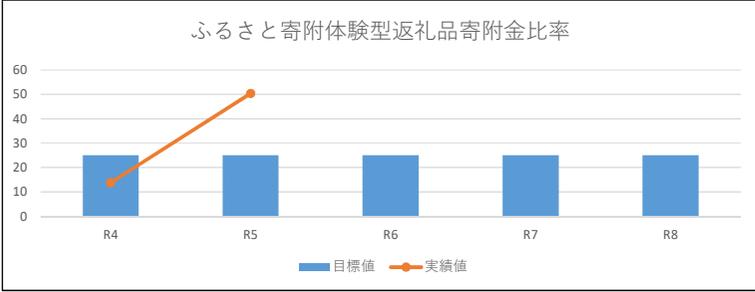
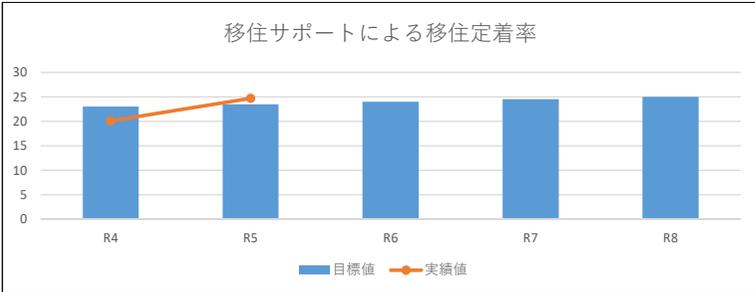
○男女共同参画
委員会、審議会における女性の登用率は、目標値40%以上を掲げているが達成できていない。委員構成の変更等を積極的に行う必要がある。

●今後の取組の方向性

○移住
UIターン補助金において18歳未満の子どもについて更なる増額をしたことを周知してすることで移住促進を図る。

○ふるさと寄附
新たなポータルサイトの追加、返礼品の見せ方の工夫、当市のPRを行うための広告を行うことで寄附増額を図る。

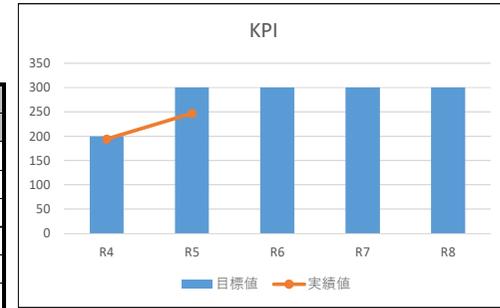
○男女共同参画
第7次諏訪市男女共同参画計画(男女いきいき諏訪プランⅦ)に基づき、男女共同参画の意識啓発に向けて情報を発信していく。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

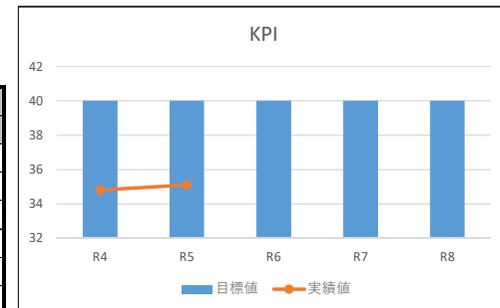
事業名	移住交流促進事業	担当課・係	地域戦略-男女共同参画課 地域戦略係																										
事業概要 現状	首都圏等で開催される移住イベント、セミナー等における移住相談や、ホームページ等を通じた情報提供により、諏訪市への移住・定住を促進する。																												
課題	移住促進に繋がる補助金が各種あるが、更なる拡充と、認知度が低いいため、効果的な情報発信に取り組む必要がある。	KPI																											
		セミナー等での相談者数																											
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了																											
		達成率 82.3%																											
今後の取組 の方向性	移住促進事業の実施にあたっては、諏訪圏移住交流推進事業連絡会と連携を図り、生活圏域である諏訪地域の魅力を伝えつつ新たな事業展開を検討していく。長野県で実施している「おためしナゾ」事業において諏訪市に移住希望のある者に対し、最大6カ月間の家賃を補助し、移住しやすい環境を整える。前工課と都市計画課と連携し、移住希望者向けのパンフレットを作成し、移住支援に努める。	必要経費(千円)																											
		<table border="1"> <tr> <td>単位</td> <td>人</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>247</td> <td>194</td> <td>247</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>82.3%</td> <td>97.0%</td> <td>82.3%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>		単位	人	R4	R5	R6	R7	R8	目標	300	200	300	300	300	300	実績	247	194	247				達成率	82.3%	97.0%	82.3%	0.0%
単位	人	R4	R5	R6	R7	R8																							
目標	300	200	300	300	300	300																							
実績	247	194	247																										
達成率	82.3%	97.0%	82.3%	0.0%	0.0%	0.0%																							
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>7,232</td> <td>3,349</td> <td>7,232</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>6,720</td> <td>1,453</td> <td>6,720</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		予算額	7,232	3,349	7,232				決算額	6,720	1,453	6,720															
予算額	7,232	3,349	7,232																										
決算額	6,720	1,453	6,720																										



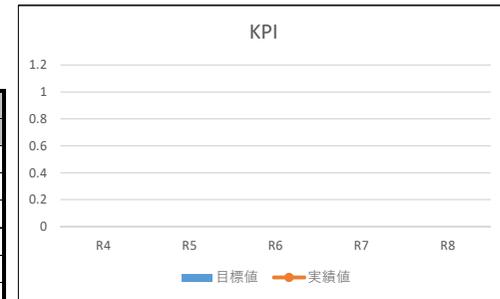
事業名	ふるさと寄附金事業	担当課・係	地域戦略-男女共同参画課 地域戦略係																										
事業概要 現状	諏訪市民以外の方で諏訪市を応援したい、諏訪市に貢献したいとの想いを実現することを主として設けられた寄附金税制を活用して、市の寄附金収入の増加及び地域経済の活性化を図るために、積極的に寄附を募るとともに、諏訪市の土産品を中心とした特産物等をお礼の品として寄附者にお贈りし、諏訪市の魅力を発信する。																												
課題	お礼の品の新たな掘り起こしや登録した品の魅力が100%発信できていないため、より効率的に事務を進めるための手法やシステム導入を検討し、諏訪市の魅力をよりPRできる品を増やしていく。	KPI																											
		寄附金額																											
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了																											
		達成率 126.0%																											
今後の取組 の方向性	新たなポータルサイトを追加し、諏訪市の自然やアウトドアなどの体験型ツアーやサービス提供型などの返礼品を拡充することにより、寄附金額の増加を目指す。	必要経費(千円)																											
		<table border="1"> <tr> <td>単位</td> <td>千円</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>200,000</td> <td>100,000</td> <td>200,000</td> <td>200,000</td> <td>200,000</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>252,041</td> <td>170,475</td> <td>252,041</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>126.0%</td> <td>170.5%</td> <td>126.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>		単位	千円	R4	R5	R6	R7	R8	目標	200,000	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	実績	252,041	170,475	252,041				達成率	126.0%	170.5%	126.0%	0.0%
単位	千円	R4	R5	R6	R7	R8																							
目標	200,000	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000																							
実績	252,041	170,475	252,041																										
達成率	126.0%	170.5%	126.0%	0.0%	0.0%	0.0%																							
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>389,618</td> <td>268,207</td> <td>389,618</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>367,050</td> <td>224,882</td> <td>367,050</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		予算額	389,618	268,207	389,618				決算額	367,050	224,882	367,050															
予算額	389,618	268,207	389,618																										
決算額	367,050	224,882	367,050																										



事業名	男女共同参画推進事業	担当課・係	地域戦略-男女共同参画課 男女共同参画係																										
事業概要 現状	諏訪市男女共同参画計画「男女いきいき諏訪プランⅦ」に基づき、男女共同参画社会の形成に向け市民と協働して事業を実施する。																												
課題	市民団体の委員のなり手不足や高齢化により組織の維持継続が危がまれる中ではあるが、協働しながら継続的に啓発活動を行うことにより「ワークライフバランス」「女性活躍推進」への意識改善を行う必要がある。	KPI																											
		委員会・審議会等への女性の参画状況(4/1時点)																											
評価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了																											
		達成率 87.8%																											
今後の取組 の方向性	令和5~9年度の5ヶ年間を期間として策定した「男女いきいき諏訪プランⅦ」に基づき「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」等の市民団体や関連企業と協働で、様々な視点からあらゆる分野に啓発活動を実施する。男女共同参画推進のための効果的な情報発信について「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」と協働で検討・実施する。	必要経費(千円)																											
		<table border="1"> <tr> <td>単位</td> <td>%</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>35.1</td> <td>34.8</td> <td>35.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>87.8%</td> <td>87.0%</td> <td>87.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>		単位	%	R4	R5	R6	R7	R8	目標	40	40	40	40	40	40	実績	35.1	34.8	35.1				達成率	87.8%	87.0%	87.8%	0.0%
単位	%	R4	R5	R6	R7	R8																							
目標	40	40	40	40	40	40																							
実績	35.1	34.8	35.1																										
達成率	87.8%	87.0%	87.8%	0.0%	0.0%	0.0%																							
		<table border="1"> <tr> <td>予算額</td> <td>1,582</td> <td>1,385</td> <td>1,582</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>1,351</td> <td>1,093</td> <td>1,351</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		予算額	1,582	1,385	1,582				決算額	1,351	1,093	1,351															
予算額	1,582	1,385	1,582																										
決算額	1,351	1,093	1,351																										



事業名		担当課・係	
事業概要 現状	KPI		
課題		KPI・必要経費 経年比較	
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)	



基本方針効果検証			
基本方針	③ 持続可能な地域	主関連課	地域戦略・男女共同参画課
地域活動の活性化による持続可能な自治			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
区・自治会への加入率	%	目標値	87	87	87	87	87
		実績値	82.2	82.1			
		達成率 (達成度)	94.5% 順調	94.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
多国籍市民相談窓口の年間相談件数	件	目標値	800	800	800	800	800
		実績値	587	533			
		達成率 (達成度)	73.4% 努力が必要	66.6% 努力が必要	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12	3.01			
		達成率 (達成度)	100.0%	96.5% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

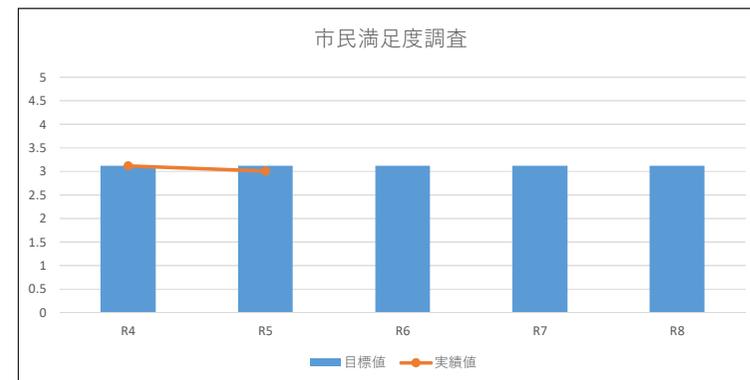
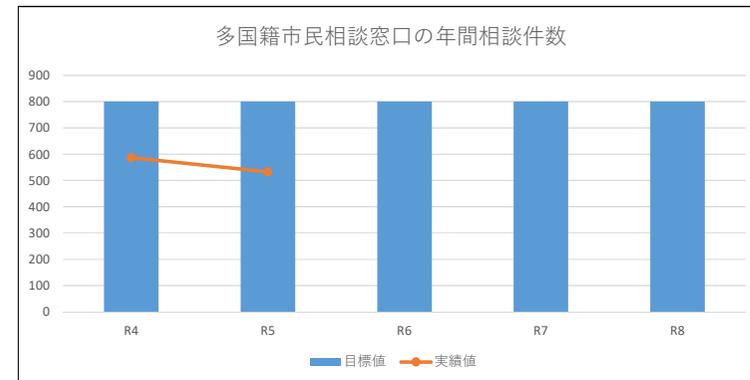
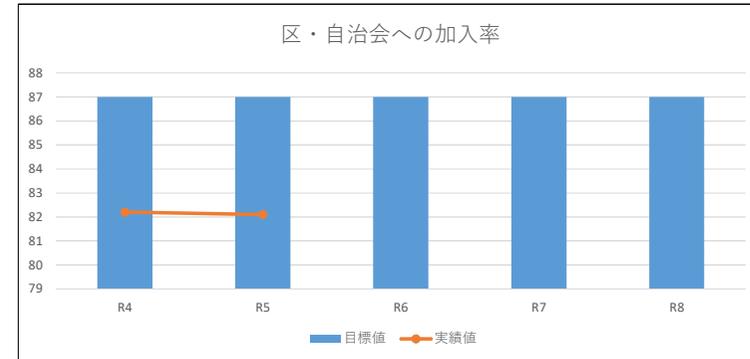
・地域福祉や防災など、複雑多様化する地域課題に対し、身近なコミュニティ組織である区・自治会が果たす役割の重要性が増している。
 ・一方で区・自治会は、役員の担い手不足や負担感の増大などにより、地域活動の停滞・縮小のリスクが高まっている。
 ・持続可能な地域社会を実現するためには、区や自治会さらにはまちづくり団体といった住民自らの主体的な活動を支援する必要がある、この活動と行政が連携し協働した取組を進めることが必要である。

●課題

・人口減少・少子高齢化により、一部の地域では地域力が低下し、それぞれの役割に応じた連携・協働の取組が必要になっている。
 ・地域力の違いにより、複雑多様化する課題に向けた解決力の地域間格差が顕著になっている。
 ・生活様式の変化や価値観の多様化等による複合的な要因により、地域力の向上に必要な区や自治会への加入率が低下傾向にある。
 ・小規模世帯の区が点在する地域を中心に、近隣地域と連携した取組や組織作りが求められている。

●今後の取組の方向性

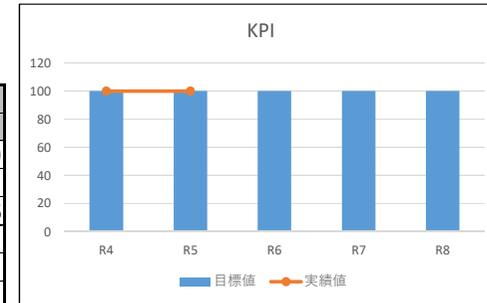
・複雑多様化する地域課題の解決を図るほか、将来を見据えた区長懇談の開催等により、近隣地域との協力連携の取組を支援する。
 ・将来の地域を担う若者やまちづくり団体等が主体となって行う活動を支援するとともに、助成制度等により、将来のまちづくりを担う人材の育成を図る。
 ・外国籍市民相談窓口を通じて外国籍市民及び地域住民双方からの相談に対応し、多文化共生社会の実現を推進する。
 ・「協働の取組の基本方針」に基づき、住民（市民・自治会・ボランティア団体、NPO法人等）と行政が協働の取組を進めることにより、地域課題の解決を図る。



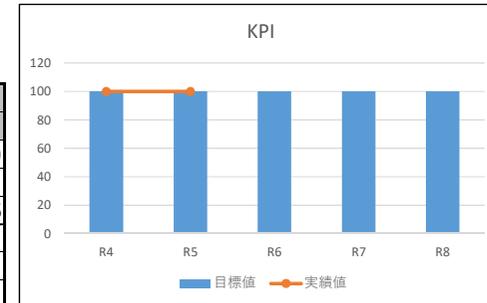
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

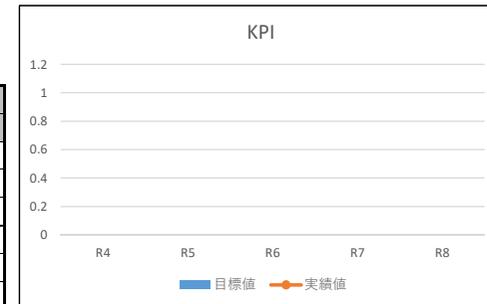
事業名	がんばる地域支援金	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課 地域支援係				
事業概要 現状	地域が抱える諸課題の解決に取り組む区及び自治会に対して支援金を交付することにより、区及び自治会の主体的な取組を後押しし、もって地域力の向上を図る。						
課題	区・自治会など地域が果たす役割の重要性が増している中、複雑多様化する地域課題の解決のため、区や自治会に対する財政的支援により、地域力の向上を推進する必要がある。	K P I					
		実績報告アンケート（本事業が地域に貢献したと回答した人の割合）					
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	%	R4	R5	R6	R7
今後の取組 の方向性	区や自治会の主体的な取組に対する財政的支援は、持続可能な地域社会を実現するために有効な施策であり、継続実施する。	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		必要経費（千円）					
		予算額	2,700	2,700			
		決算額	1,590	1,590			



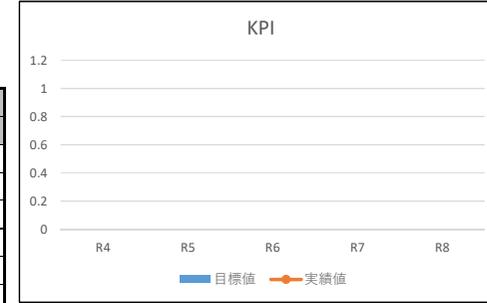
事業名	SUWAを磨くまちづくり支援金	担当課・係	地域戦略・男女共同参画課 地域支援係				
事業概要 現状	まちづくり事業を実施する市民や若者を中心に構成された団体に対して支援金を交付することにより、まちづくりを担う人材を育成するとともに、市民及び若者による主体的な活動を支援し、魅力と活力に溢れる市民主役のまちづくりを推進する。						
課題	人口減少社会において持続可能な地域社会を実現するためには、まちづくり団体など市民の主体的な活動を後押しし、将来のまちづくりを担う人材を育成することが重要である。	K P I					
		実績報告アンケート（本事業が地域に貢献したと回答した人の割合）					
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	%	R4	R5	R6	R7
今後の取組 の方向性	市民が主体となって行う地域活性化の取組に対する支援は、市民からもニーズがあり、将来のまちづくりを担う人材育成を推進する観点からも有効な施策であるため、継続実施する。	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		必要経費（千円）					
		予算額	1,000	1,000	1,000		
		決算額	156	200	156		



事業名		担当課・係					
事業概要 現状	K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位		R4	R5	R6	R7
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	目標					
		実績					
今後の取組 の方向性		達成率					
		必要経費（千円）					
		予算額					
		決算額					



事業名		担当課・係					
事業概要 現状	K P I						
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位		R4	R5	R6	R7
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	目標					
		実績					
今後の取組 の方向性		達成率					
		必要経費（千円）					
		予算額					
		決算額					



基本方針効果検証			
基本方針	③ 健全財政	主関連課	財政課
行政資源の効果的活用			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
将来負担比率 (※前年度については速報値)	%	目標値	76.0	73.0	70.0	67.0	64.0
		実績値	56.5	46.4			
		達成率 (達成度)	134.5%	157.3%	0.0%	0.0%	0.0%
			非常に順調	非常に順調			
財政調整基金・減債基金残高 (目標値以上)	億円	目標値	25	25	25	25	25
		実績値	31	34			
		達成率 (達成度)	124.0%	136.0%	0.0%	0.0%	0.0%
			非常に順調	非常に順調			
公共施設の総延床面積 における縮減率	%	目標値	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
		実績値	7.0	7.1			
		達成率 (達成度)	116.7%	101.4%	0.0%	0.0%	0.0%
			非常に順調	順調			
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96	3.01			
		達成率 (達成度)	100.0%	101.7%	0.0%	0.0%	0.0%
			順調	非常に順調			

●基本方針の現状

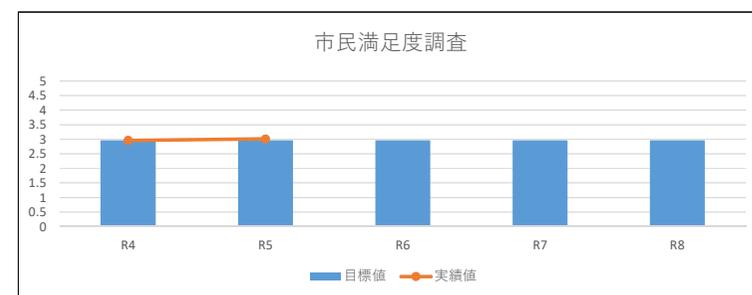
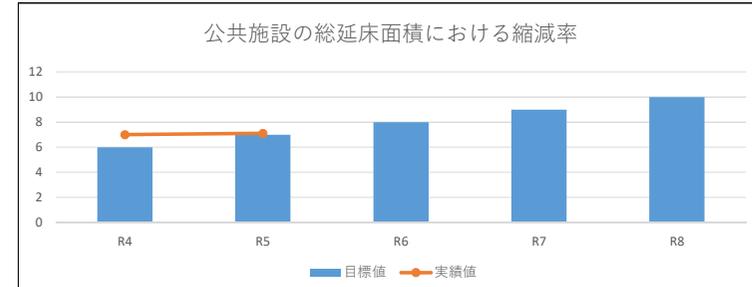
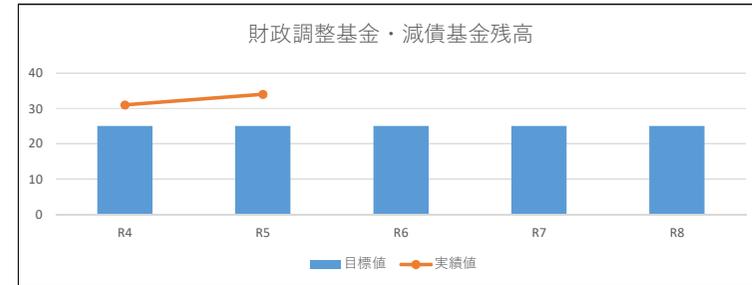
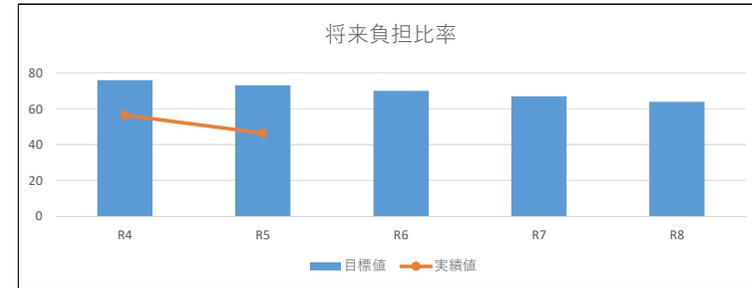
- ・諏訪市土地開発公社の経営健全化に関する計画（第2期：R3～R7）に基づき、毎年概ね2億円程度の優先かつ計画的な買戻しを実施している。
- ・市ホームページへのバナー広告、広報すわ・市の刊行物・公用車への広告掲載、しんきん諏訪湖スタジアムにおけるネーミングライツ、企業版ふるさと納税、ふるさと寄附、クラウドファンディングなどにより自主財源の確保を進めている。
- ・現年課税分の徴収強化を最重要課題として、①早期着手、②滞納者の意識改善、③滞納整理の効率化、の三点を基本方針として滞納整理に取り組む、収納率向上を目指す。
- ・複数基金の合算による定期性預金、環境改善やSDGsを推進するためのグリーンボンド等ESG債券を購入するなど効率的な運用を行っている。

●課題

- ・用地保有（令和5年度末保有地：50,702㎡）が長期化し、簿価（合計3,212百万円）上昇等により、公社の経営状況に与える影響が増加し、将来負担比率にも大きな影響が生じる恐れがある。
- ・増大する扶助費や大型事業を予定する中で、将来にわたり持続可能な財政運営を進めていくためには安定的な財源の確保が必要である。財源の中心は市税となるが、それ以外の様々な方策により自主財源の確保を進めていくことが重要である。
- ・市が実施する公共サービス等の健全な財政運営ができるよう税収を確保する。また、納税の公平性の観点から地方税法に基づき適切な徴収に取り組む。
- ・近年、新規採用職員応募者数の減少や、民間企業が早期に内定を出すことにより、安定的な職員数の確保が難しくなっている。また、内定後の辞退も多くなっている。

●今後の取組の方向性

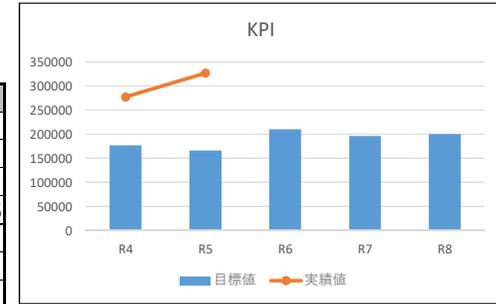
- ・令和6年度以降も健全化計画に基づき計画的な買戻しを継続し、令和7年度末には健全化計画の目標である簿価3,100百万円以下を達成できるように努める。
- ・これまでも行っているホームページへのバナー広告やネーミングライツなどによる自主財源の確保を継続するとともに、他自治体における自主財源確保に係る方策などを参考にし、更なる自主財源の確保に努める。
- ・滞納整理機構と連携を深め、適時適切な滞納処分を実施し、滞納額の縮小を図っていく。また、自主納付を推進するため、口座振替、コンビニ収納、スマホ決済、給与特別徴収、地方税共通納税システム（地方税統一QRコード等含む。）の推進に取り組む。
- ・採用試験の実施を例年より1か月早いスケジュールで実施する。
- ・継続したZOOMでの採用説明会実施や地元就職説明会への参加、大学や企業との連携によるインターンシップ実施等の取組により有為な人材の確保につなげる。



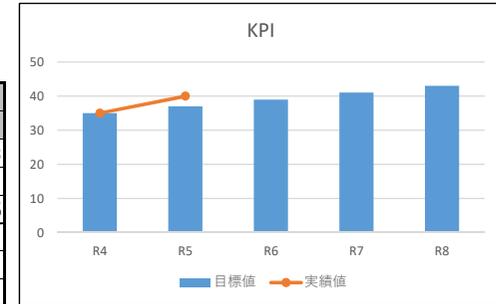
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

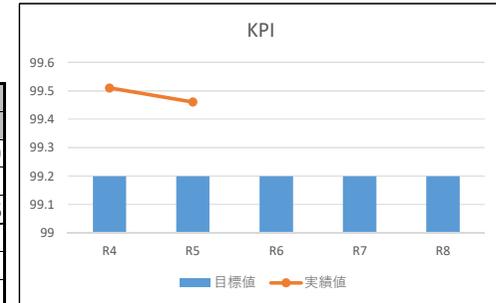
事業名	土地開発公社健全化事業	担当課・係	財政課 管財契約係					
事業概要 現状	諏訪市土地開発公社の経営健全化に関する計画（第2期：R3～R7）に基づき、毎年概ね2億円程度の優先かつ計画的な買戻しを実施している。	K P I						
		健全化計画の計画値に対する達成率（取得金額）						
課題	用地保有（令和5年度未保有地：50,702㎡）が長期化し、簿価（合計3,212百万円）上昇等により、公社の経営状況に与える影響が増加し、将来負担比率にも大きな影響が生じる恐れがある。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	円	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	目標	166,420	177,121	166,420	210,397	196,382	200,000
		実績	326,817	277,297	326,817			
今後の取組 の方向性	健全化計画に基づき計画的な買戻しを継続する。 ・令和6年度：3,079.57㎡（計画値：210,397千円） ・令和7年度：2,864.12㎡（＃：196,382千円）	達成率						
		196.4%						
		必要経費（千円）						
		予算額	326,818	277,298	326,818			
	決算額	326,817	277,297	326,817				



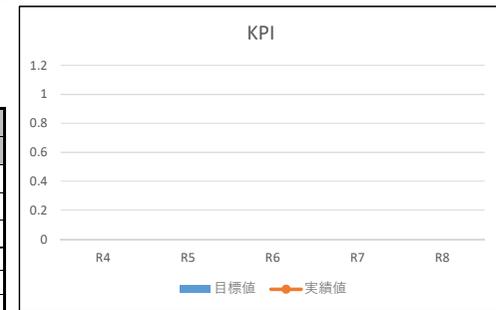
事業名	自主財源確保の取組	担当課・係	企画政策課 企画政策係					
事業概要 現状	市ホームページへのバナー広告、広報すわ市の刊行物・公用車への広告掲載、しんきん諏訪湖スタジアムにおけるネーミングライツ、企業版ふるさと納税、ふるさと寄附、クラウドファンディングなどにより自主財源の確保を進めている。	K P I						
		HPバナー広告及び広報すわ広告掲載件数の合算						
課題	増大する扶助費や大型事業を予定する中で、将来にわたり持続可能な財政運営を進めていくためには安定的な財源の確保が必要である。財源の中心は市税となるが、それ以外の様々な方策により自主財源の確保を進めていくことが重要である。	K P I ・ 必要経費 経年比較						
		単位	件	R4	R5	R6	R7	R8
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	目標	37	35	37	39	41	43
		実績	40	35	40			
今後の取組 の方向性	これまでも行っているホームページへのバナー広告やネーミングライツなどによる自主財源の確保を継続するとともに、他自治体における自主財源確保に係る方策などを参考にしながら、更なる自主財源の確保に努めていく。	達成率						
		108.1%						
		必要経費（千円）						
		予算額	0	0	0			
	決算額	0	0	0				



事業名	市税賦課徴収事業	担当課・係	税務課 収納係				
事業概要 現状	現年課税分の徴収強化を最重要課題として、①早期着手、②滞納者の意識改善、③滞納整理の効率化の三点を基本方針として滞納整理に取り組み、収納率向上を目指す。	K P I					
		現年課税分の徴収率					
課題	市が実施する公共サービス等の健全な財政運営ができるよう税収を確保する。また、納税の公平性の観点から地方税法に基づき適切な徴収に取り組む。	K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位	%	R4	R5	R6	R7
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	目標	99.20	99.20	99.20	99.20	99.20
		実績	99.46	99.51	99.46		
今後の取組 の方向性	・全面的に滞納整理方針が訪問徴収から処分による徴収へと変化したことを受け、平成22年に長野県でも長野県地方税滞納整理機構が設立された。今後も滞納整理機構と連携を深め、適時適切な滞納処分を実施し、滞納額の縮小を図っていく。 ・自主納付を推進するため、口座振替、コンビニ収納、スマホ決済、給与特別徴収、地方税共通納税システム（地方税統一QRコード等含む。）の推進に取り組む。	達成率					
		100.3%					
		必要経費（千円）					
		予算額	2,949	2,766	2,949		
	決算額	2,949	2,766	2,949			



事業名		担当課・係					
事業概要 現状		K P I					
課題		K P I ・ 必要経費 経年比較					
		単位		R4	R5	R6	R7
評価	A：現状のまま継続 B：手段改善の上継続 C：大幅に見直し D：事業終了	目標					
		実績					
今後の取組 の方向性		達成率					
		必要経費（千円）					
		予算額					
	決算額						



基本方針効果検証			
基本方針	② スマート化	主関連課	企画政策課
新時代行政への変革			
関連する重点目標	気持ちいい、心地いいまちづくり	新たな時代への対応	

●K P I

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
市民向けオンライン 手続き件数指標 (R3年を100とする)	件	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151	205			
		達成率 (達成度)	100.7% 非常に順調	102.5% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
I C Tツールの置換時 間指標 (R3年を100とする)	時間	目標値	200	400	600	800	1,000
		実績値	310	630			
		達成率 (達成度)	155.0% 非常に順調	157.5% 非常に順調	0.0%	0.0%	0.0%
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16
		実績値	3.16	2.92			
		達成率 (達成度)	100.0%	92.4% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

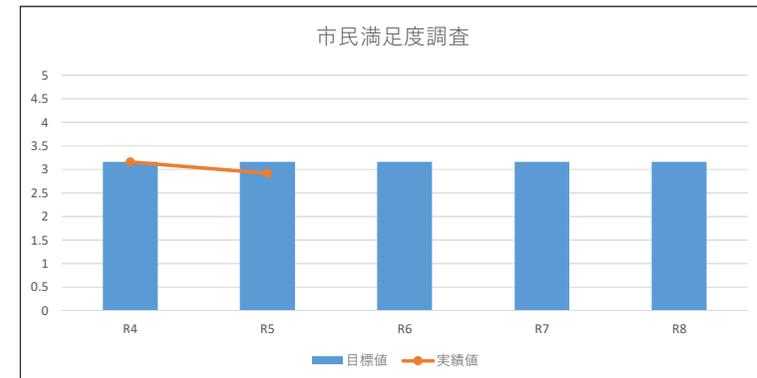
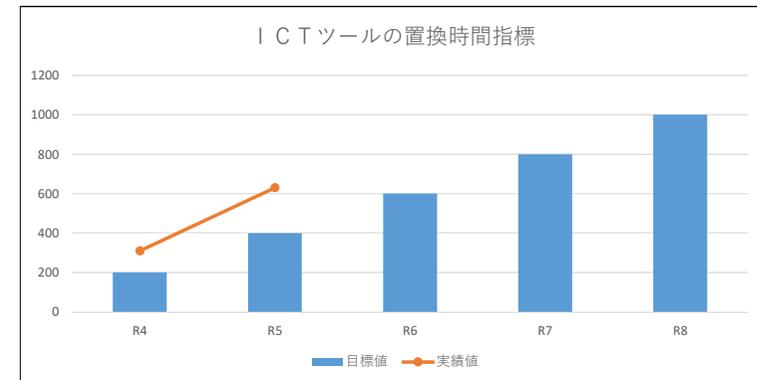
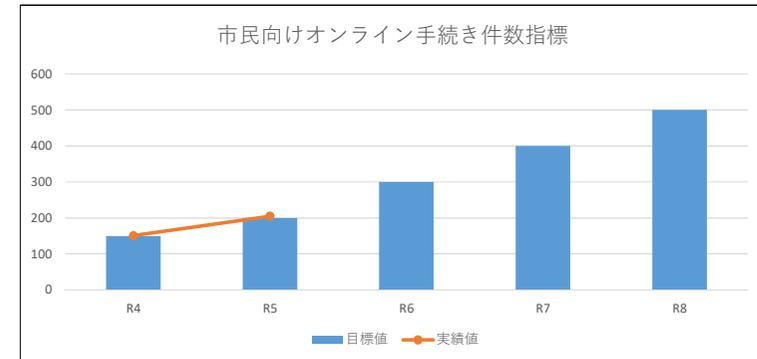
- ・約3年間に及びコロナ禍を経て、社会全体でデジタル技術の活用が急速に浸透した。行政の領域でもインターネット環境を用いた情報発信や受信、各種手続き、イベント、会議などが一般的な手法となりつつある。
- ・国の施策としてマイナンバーカードの普及が進み、利活用の場が広がっている。
- ・少子高齢化の進行に伴い生産年齢人口が減少に向かう中、行政が担う業務は多様化し増加傾向にある。
- ・2040年に迎える高齢化社会のピークに向かい、令和5年度より地方公務員の定年延長制度が開始となった。

●課題

- ・人的資源が縮小に向かう中、限られた職員数で安定した行政サービスを提供し続けるため、デジタル技術を適切に活用した「業務スマート化」の必要性が一層高まっている。
- ・マイナンバーカードを用いた行政手続きの効率化が求められている。
- ・各種手続きや市からの情報発信などにおいてデジタル技術の活用が進む中でも、誰一人取り残さない手法であることが一層重要になっている。
- ・将来に亘り諏訪市役所が安定的な組織運営を維持するため、組織の年齢構成の変化を見越した中長期的な計画に基づく職員確保と最適な職員配置が重要になっている。

●今後の取組の方向性

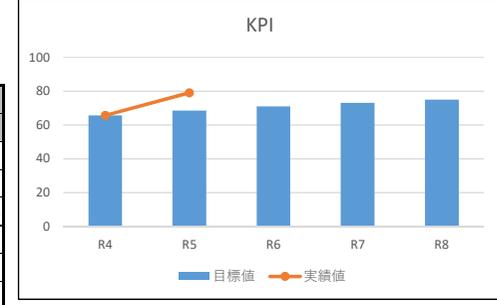
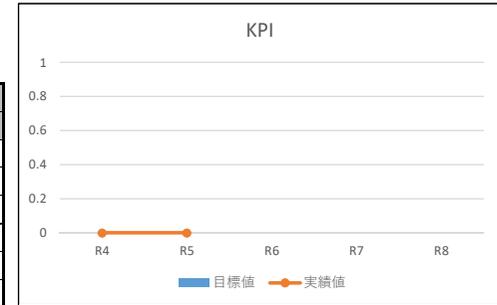
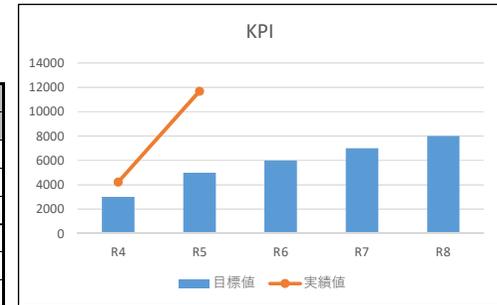
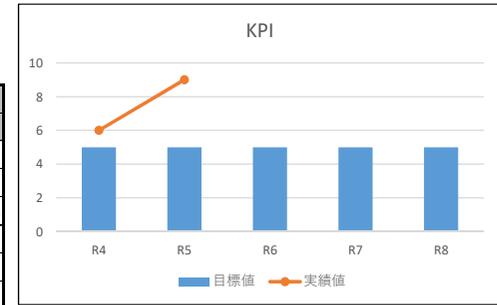
- ・コロナ禍を経て社会全体に浸透したデジタル技術を行政においても十分に活用し、市民目線に立ったサービス向上に努める。情報発信と情報受信の双方を充実させることにより、市民の声をきめ細やかに反映させた施策を検討する。
- ・「誰一人取り残さない」DX推進を念頭に、ICTツール活用により組織に生み出される時間を、直接的な市民対応などにしか出来ない仕事に充てられる組織体制を目指す。
- ・マイナンバーカードを用いた行政手続きの利便性拡大、住民行政に関わる自治体情報システムの全国標準化に向けて国の方針に基づき対応を進める。
- ・人口減少社会における組織運営を見越した職員確保と職員配置を念頭に組織運営を行う。



●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

事業名	業務スマート化プロジェクト	担当課・係	企画政策課 スマート化推進係			
事業概要 現状	将来に亘り市役所の業務を維持できるスマート自治体を目指し、ICTを活用して市民誰一人取り残さない行政サービスの充実、効率化を目指す取組。統合型GIS・公開型GISのデータ拡充、電子申請サービスの拡充等を実施。	K P I DX推進に向けた新規取組(達成)事項の件数				
課題	DX推進のための基礎的なツールやサービスの導入が進み、より市民目線でそれらをどう活用していくか検討が必要な段階に入っている。職員が働きやすい環境づくりによる業務効率化も課題である。	K P I ・ 必要経費 経年比較				
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	件			
今後の取組 の方向性	令和5年度に新たに設置した「業務スマート化推進委員会」及び下部組織の部会、分科会を通じて、部局横断的な推進体制を構築し、全庁でDXを推進する。	目標	5			
		実績	9			
		達成率	180.0%			
		必要経費(千円)				
予算額	17,135	16,573	17,135			
決算額	15,417	13,151	15,417			
事業名	ソーシャルメディアを活用した情報発信強化事業	担当課・係	秘書広報課 広報戦略係			
事業概要 現状	より迅速に情報が伝達できるよう、令和5年度から市公式LINEの各課配信を開始したほか、当市の大きなイベントである諏訪湖祭湖上花火大会での情報発信にも活用し、登録者が大幅に増加した。	K P I 市公式LINEアカウント登録者数				
課題	市民が必要なタイミングで必要な情報が取得できるよう積極的な配信の実施やオプション機能の導入を検討するなど、利用者にとって使い勝手の良いツールとして認知してもらい登録・活用につなげる。	K P I ・ 必要経費 経年比較				
評価	B A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	人			
今後の取組 の方向性	市公式LINE登録者数の更なる増加を目指す。実務担当者に加え管理職員を対象とした研修を実施し人材育成を図るとともに、令和6年度から事業者向けの配信を開始するなど、ツールの有効活用が図られる体制づくりを行う。	目標	5,000			
		実績	11,674			
		達成率	233.5%			
		必要経費(千円)				
予算額	946	851	946			
決算額	946	851	946			
事業名	電子計算機処理事業	担当課・係	企画政策課 スマート化推進係			
事業概要 現状	住民基本台帳、税務、福祉等行政の基盤業務をシステム処理する事業。諏訪広域6市町村で共同構築した基幹業務システムを一括管理し、効果的な運用を行っている。	K P I 住民生活に深刻な影響を与えるインシデント発生件数				
課題	令和7年度末の自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた準備を計画的に進め、システムの変更によるサービスの停滞や混乱を招かないよう課題解決を図る必要がある。	K P I ・ 必要経費 経年比較				
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	件			
今後の取組 の方向性	自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた諏訪市としての準備と、諏訪広域6市町村での協力連携による準備を並行して進めていく。	目標	0			
		実績	0			
		達成率	100.0%			
		必要経費(千円)				
予算額	141,996	159,515	141,996			
決算額	135,991	140,962	135,991			
事業名	マイナンバーカード交付事業	担当課・係	市民課 市民係			
事業概要 現状	各種行政手続きのオンライン申請やマイナンバーカードの保険証利用等、利便性の拡大等に関する情報を提供し、カードの交付枚数率のさらなる向上を図る。	K P I 交付枚数率の向上				
課題	手続きのため市役所に来ることが困難な方(主に高齢者)への対応が課題である。	K P I ・ 必要経費 経年比較				
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	単位	%			
今後の取組 の方向性	令和6年3月末において、交付枚数率は79.0%となり目標を大幅に上回った。今後も引き続き申請者への交付勧奨及び申請が困難な方への申請機会の創出により一層の向上を図る。	目標	68.5			
		実績	79.0			
		達成率	115.3%			
		必要経費(千円)				
予算額	29,526	35,354	29,526			
決算額	22,366	28,808	22,366			



基本方針効果検証			
基本方針	③ 広域連携	主関連課	企画政策課
圏域全体が連携してめざす諏訪の地域力向上			
関連する重点目標	みんなに愛のあるライフステージ実現 気持ちいい、心地いいまちづくり		

●KPI

項目	単位		R4	R5	R6	R7	R8
諏訪広域連合が処理する事務件数 (目標値以上)	件	目標値	15	15	15	15	15
		実績値	15	15			
		達成率 (達成度)	100.0% 順調	100.0% 順調	0.0%	0.0%	0.0%
		目標値					
		実績値					
		達成率 (達成度)					
市民満足度調査 (R5年度調査比向上)	-	目標値	3.31	3.31	3.31	3.31	3.31
		実績値	3.31	3.24			
		達成率 (達成度)	100.0%	97.9% 順調	0.0%	0.0%	0.0%

●基本方針の現状

・諏訪広域連合が主体となり、介護保険、消防、行政情報システム、救護施設など15の事務を実施している。一部事務組合では、ごみ処理、し尿処理、火葬場といった生活に直結した施設等を運営している。

・諏訪地域6市町村で構成する諏訪広域公立大学事務組合による公立諏訪東京理科大学の運営については、公立化により県外からも一定数の優秀な学生を集めることができおり、また、AIやIoT、農業理工学、マネジメントなどの最先端技術などの教育研究が進められ、諏訪地域のものづくり振興に大きく寄与している。

●課題

・圏域全体の連携については、これまでの各々の市町村における様々な取組の運営形態や課題などを整理し、広域で行うことの利点などを見定めることが重要であり、現状では、行政における具体的な共同事務・連携の取組の研究・検討が深まっておらず、地域住民の意識が醸成されていない。

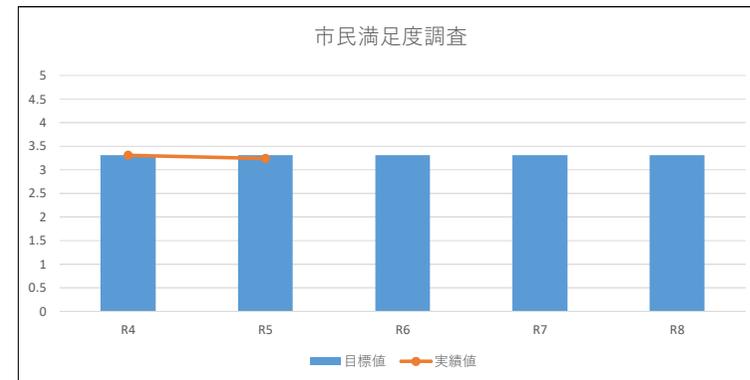
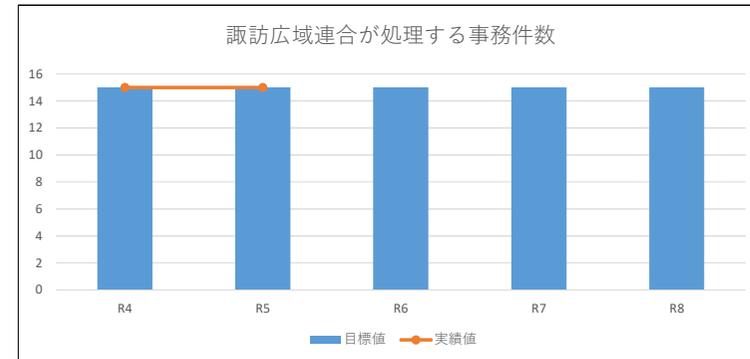
・公立諏訪東京理科大学の令和6年度入学者志願倍率は目標値を下回るものとなり、とりわけ機械電気工学科の志願者数の減少が顕著である。また、県内及び近隣都道府県を出身地とする志願者も減少している。さらに、卒業生の県内就職率の向上という課題も存在することから、今後もこれらの指標の推移について注視するとともに、6市町村における一層の連携強化を図ることが重要である。

●今後の取組の方向性

・第5期諏訪広域連合広域計画（令和4～8年度）を基に、住民サービスの向上や効率的な行財政運営を進めるとともに、広域的な行政課題について取組んでいく。

・人口減少などにより施設の利用形態が大きく変化中、公共施設の共同利用は有効な手段であり、圏域における現状の運用形態や課題等の情報交換をしながら研究をしていく。

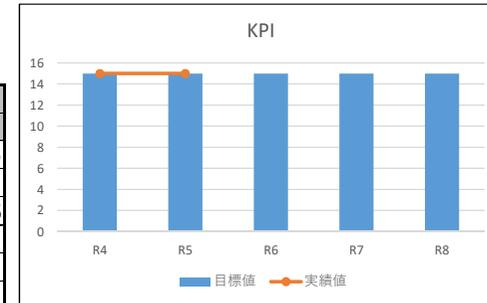
・公立諏訪東京理科大学については、今後も一部事務組合により大学の設置・運営を継続するとともに、6市町村と公立諏訪東京理科大学とのより一層の連携強化を図ることにより、課題の解決を図っていく。



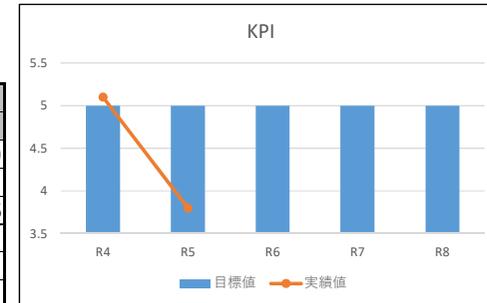
●令和5年度主要事業の取組状況

(金額単位：千円)

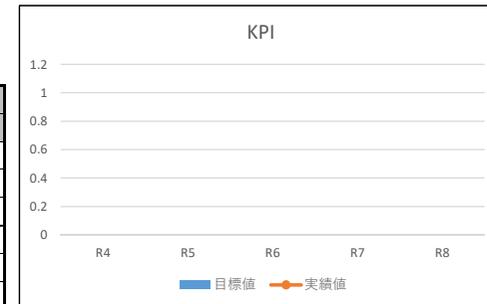
事業名	諏訪広域連合負担金	担当課・係	企画政策課 企画政策係			
事業概要 現状	介護保険、消防、行政情報システム、看護施設など15の事務を実施する諏訪広域連合へ負担金を支払っている。一部事務組合では、ごみ処理、し尿処理、火葬場といった生活に直結した施設等を運営し、連携を維持している。	K P I				
		諏訪広域連合が処理する事務件数				
課題	諏訪広域連合の果たす役割や重要度は年々高まっており、今後も構成市町村が連携し、産業や観光、公共施設利用など様々な分野についてもより一層の効率化を図るため、共同事務を積極的に研究していくことが重要である。	単位	件			
		目標	15			
		実績	15			
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	100.0%			
今後の取組 の方向性	第5期諏訪広域連合広域計画(令和4~8年度)を基に、住民サービスの向上や効率的な行政運営を進めるとともに、広域的な行政課題について取組んでいく。施設の利用形態が大きく変化する中、公共施設の共同利用について情報交換・研究をしていく。	必要経費(千円)				
		予算額	26,932			
		決算額	26,932			
		K P I ・ 必要経費 経年比較				
		R4	R5	R6	R7	R8
		24,522	26,932			
		24,522	26,932			



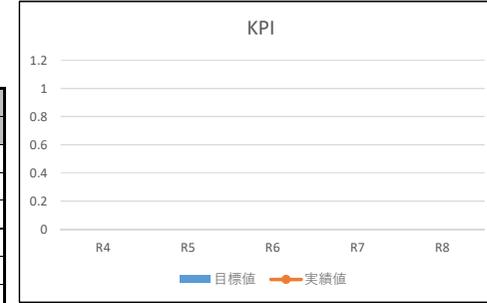
事業名	諏訪広域公立大学事務組合負担金	担当課・係	企画政策課 企画政策係			
事業概要 現状	諏訪広域公立大学事務組合による公立諏訪東京理科大学の運営は、公立化により県外からも一定数の優秀な学生を集めることができている。AIやIoT、農業理工学、マネジメントなどの最先端技術などの教育研究が進められ、諏訪地域のものづくり振興に大きく寄与している。	K P I				
		志願倍率				
課題	志願倍率は目標値を下回るものとなり、とりわけ機械電気工学科の志願者数の減少が顕著である。また、県内及び近隣都府県を出身地とする志願者も減少している。さらに、卒業生の県内就職率の向上という課題も存在することから6市町村における一層の連携が重要である。	単位	倍			
		目標	5.0			
		実績	3.8			
評価	A A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率	76.0%			
今後の取組 の方向性	今後も一部事務組合により大学の設置・運営を継続していくとともに、6市町村と公立諏訪東京理科大学とのより一層の連携強化を図ることにより、様々な地域課題の解決を図っていく。	必要経費(千円)				
		予算額	423			
		決算額	423			
		K P I ・ 必要経費 経年比較				
		R4	R5	R6	R7	R8
		510	423			
		510	423			



事業名		担当課・係				
事業概要 現状		K P I				
課題		単位				
		目標				
		実績				
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率				
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)				
		予算額				
		決算額				
		K P I ・ 必要経費 経年比較				
		R4	R5	R6	R7	R8



事業名		担当課・係				
事業概要 現状		K P I				
課題		単位				
		目標				
		実績				
評価	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	達成率				
今後の取組 の方向性		必要経費(千円)				
		予算額				
		決算額				
		K P I ・ 必要経費 経年比較				
		R4	R5	R6	R7	R8



基本方針KPI一覧

分野	KPI		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①子ども・子育て	子ども・子育て支援事業の充実	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
		実績値	3.38	3.2			
	待機児童ゼロ維持（待機児童数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値	0人	0人			
	満足度調査	目標値	2.87	2.87	2.87	2.87	2.87
		実績値	2.87	2.99			
②地域福祉	地域福祉計画施策評価のうち、総合評価A（そのまま継続）の割合	目標値	45%	50%	55%	60%	70%
		実績値	66%	-			
	ボランティア登録者率	目標値	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
		実績値	25.3%	20.7%			
	満足度調査	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96	3.04			
③障がい者福祉	福祉施設から一般就労への移行者数	目標値	6人	10人	10人	11人	12人
		実績値	6人	9人			
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	目標値	9回	10回	12回	12回	12回
		実績値	13回	20回			
	満足度調査	目標値	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97
		実績値	2.97	3.03			
④高齢者福祉	要介護認定率	目標値	18.5%以下	18.9%以下	19.3%以下	19.6%以下	19.8%以下
		実績値	17.7%	18.0%			
	認知症サポーターの養成累計	目標値	4,380人	4,620人	4,860人	5,100人	5,340人
		実績値	4,117人	4,354人			
	満足度調査	目標値	2.90	2.90	2.90	2.90	2.90
		実績値	2.90	3.05			
⑤社会保障制度	生活困窮者自立相談支援事業による支援決定件数	目標値	43件	43件	43件	43件	43件
		実績値	33件	28件			
	満足度調査	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98	3.10			
⑥健康づくり	特定保健指導の実施率	目標値	50.6%	50.6%	50.6%	60.0%	60.0%
		実績値	59.1%	59.0%			
	特定健診におけるⅡ度高血圧の人の割合	目標値	4.9%以下	4.9%以下	4.9%以下	4.4%以下	4.4%以下
		実績値	10.1%	4.3%			
	満足度調査	目標値	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46
		実績値	3.46	3.41			
⑦地域医療	在宅当番医の利用者数	目標値	1,500人	2,000人	2,500人	2,900人	2,900人
		実績値	2,002人	2,569人			
	諏訪赤十字病院全救急患者における諏訪市民割合	目標値	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
		実績値	49.2%	47.8%			
	満足度調査	目標値	3.56	3.56	3.56	3.56	3.56
		実績値	3.56	3.41			
⑧学校教育	「ものづくり教育」の必要性、重要性の認識度	目標値	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		実績値	83.2%	77.6%			
	奨学金制度の新規利用者	目標値	8人	8人	8人	8人	8人
		実績値	6人	7人			
	満足度調査	目標値	2.98	2.98	2.98	2.98	2.98
		実績値	2.98	3.20			
⑨地域教育	学校支援ボランティア参加者延べ数	目標値	20,000人	20,250人	20,500人	20,750人	21,000人
		実績値	7,602人	8,668人			
	地区育成会等活動支援事業参加者数	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
		実績値	1,249人	1,537人			
	満足度調査	目標値	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13
		実績値	3.13	3.18			
⑩生涯学習・文化芸術	講座等アンケートで「学んだことを活かしたい」に回答した割合	目標値	22%	24%	26%	28%	30%
		実績値	15%	38%			
	生涯学習施設におけるボランティア活動に参加した人数	目標値	310人	320人	330人	340人	350人
		実績値	235人	338人			
	満足度調査	目標値	3.22	3.22	3.22	3.22	3.22
		実績値	3.22	3.06			

⑪スポーツ振興	スポーツ施設利用者数	目標値	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	190,000人/年	
		実績値	212,002人/年	243,390人/年				
	スポーツ教室初参加者中、「スポーツに親しみきっかけとなった」と回答した割合	目標値	92.6%	93.2%	93.8%	94.4%	95.0%	
		実績値	91.7%	93.6%				
	満足度調査	目標値	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20	
実績値		3.20	3.15					
⑫文化財保護・活用	講座等アンケートで「諏訪市の歴史や文化に誇りを感じる」と回答した割合	目標値	32%	34%	36%	38%	40%	
		実績値	10%	29%				
	文化遺産関連の保存活動に参加した人数	目標値	93人	96人	99人	102人	105人	
		実績値	146人	185人				
	満足度調査	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28	
実績値		3.28	3.09					
⑬環境保全	再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度等による年間CO2削減量	目標値	4,235t	4,435t	4,635t	4,835t	5,035t	
		実績値	4,424t	4,689t				
	霧ヶ峰高原草原再生作業（雑木処理）実施面積累計	目標値	140ha	145ha	150ha	155ha	160ha	
		実績値	137ha	141ha				
	満足度調査	目標値	3.32	3.32	3.32	3.32	3.32	
実績値		3.32	3.18					
⑭森林保全	森林整備面積	目標値	105.0ha	107.0ha	109.0ha	111.0ha	113.0ha	
		実績値	83.97ha	57.31ha				
	松枯損木の伐倒処理件数	目標値	15本	15本	15本	15本	15本	
		実績値	26本	6本				
	満足度調査	目標値	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	
実績値		3.30	3.14					
⑮環境衛生	燃やすごみ排出量	目標値	11,442t以下	11,479t以下	11,471t以下	11,531t以下	11,444t以下	
		実績値	12,147t	11,662t				
	ごみリサイクル率	目標値	23.1%	22.9%	22.5%	22.2%	22.0%	
		実績値	18.1%	18.3%				
	満足度調査	目標値	3.43	3.43	3.43	3.43	3.43	
実績値		3.43	3.42					
⑯道路整備・計画	道路舗装整備延長率	目標値	3.1%	3.6%	4.1%	4.6%	5.1%	
		実績値	3.1%	3.6%				
	都市計画道路整備率	目標値	27.8%	28.2%	28.6%	29.0%	29.4%	
		実績値	29.1%	29.3%				
	満足度調査	目標値	3.28	3.28	3.28	3.28	3.28	
実績値		3.28	3.14					
⑰都市空間	住宅の耐震診断戸数	目標値	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	40件/年	
		実績値	23件/年	13件/年				
	危険空家等の改善	目標値	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	4件/年	
		実績値	3件/年	18件/年				
	満足度調査	目標値	3.10	3.10	3.10	3.10	3.10	
実績値		3.10	2.91					
⑱上水道・下水道	導送水及び配水管耐震化率	目標値	29.3%	30.0%	30.7%	31.4%	32.1%	
		実績値	28.9%	30.0%				
	耐震化対象下水道管渠耐震化率	目標値	66.0%	75.0%	84.0%	93.0%	100.0%	
		実績値	72.5%	75.7%				
	満足度調査	目標値	3.77	3.77	3.77	3.77	3.77	
実績値		3.77	3.66					
⑲温泉	配湯管耐震化率	目標値	98.3%	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%	
		実績値	98.3%	98.5%				
	温泉年間新規契約件数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件	
		実績値	2件	7件				
	満足度調査	目標値	3.45	3.45	3.45	3.45	3.45	
実績値		3.45	3.24					
⑳地域公共交通	かりんちゃんバス1便当たり利用者数	目標値	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	
		実績値	6.1人/便	6.5人/便				
	スワンバス1便当たり利用者数	目標値	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	15.0人/便	
		実績値	12.7人/便	12.8人/便				
	満足度調査	目標値	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	
実績値		2.84	2.87					

①工業	製造品出荷額等	目標値	1,010億円以上	1,020億円以上	1,030億円以上	1,040億円以上	1,050億円以上
		実績値	861億円	1,058億円			
	製造業の従業者数	目標値	5,100人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
		実績値	5,004人	5,235人			
	満足度調査	目標値	2.92	2.92	2.92	2.92	2.92
		実績値	2.92	3.09			
②観光	宿泊客数	目標値	420,000人/年	480,000人/年	600,000人/年	606,000人/年	612,000人/年
		実績値	431,312人/年	464,841人/年			
	観光消費額	目標値	1,574,000万円/年	1,771,000万円/年	1,968,000万円/年	1,987,000万円/年	2,006,000万円/年
		実績値	1,580,166万円/年	1,739,487万円/年			
	満足度調査	目標値	2.99	2.99	2.99	2.99	2.99
		実績値	2.99	3.29			
③商業・流通	推せんみやげ品新規登録数	目標値	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年	3件/年
		実績値	0件/年	9件/年			
	商業連合会会員店舗数	目標値	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗	235店舗
		実績値	232店舗	230店舗			
	満足度調査	目標値	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67
		実績値	2.67	2.82			
④農林漁業	農業の担い手への農地集積率	目標値	39.3%	41.7%	44.7%	47.6%	50.0%
		実績値	37.3%	37.6%			
	木材搬出面積	目標値	33.5 ha	34.5 ha	35.5 ha	36.5 ha	37.5 ha
		実績値	27.31ha	23.46ha			
	満足度調査	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12	3.03			
⑤雇用・スタートアップ支援	新入社員歓迎大会申込者数	目標値	300人/年	400人/年	400人/年	400人/年	400人/年
		実績値	354人/年	492人/年			
	諏訪市の支援を受けて実現した創業数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件
		実績値	17件	33件			
	満足度調査	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11
		実績値	3.11	2.98			
⑥防災・危機管理	防災メールの登録者数	目標値	9,100人	9,200人	9,300人	9,400人	9,500人
		実績値	7,927人	8,172人			
	諏訪市防災気象情報システムアクセス数	目標値	80,200件	80,400件	80,600件	80,800件	81,000件
		実績値	60,348件	106,800件			
	満足度調査	目標値	3.23	3.23	3.23	3.23	3.23
		実績値	3.23	3.08			
⑦安心生活	交通死亡事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件
		実績値	1件	2件			
	相談窓口における消費者相談のあっせん・解決率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	100%			
	満足度調査	目標値	3.26	3.26	3.26	3.26	3.26
		実績値	3.26	3.16			
⑧まちの賑わい創出	駅前交流テラスすわっちゃオ貸館利用件数	目標値	2,940件	3,080件	3,220件	3,360件	3,500件
		実績値	3,618件	4,352件			
	コワーキングスペース登録有料会員数	目標値	21者	22者	23者	24者	24者
		実績値	26者	32者			
	駅前駐車場利用台数（定期利用除く）	目標値	110,000台	120,000台	120,000台	120,000台	120,000台
		実績値	88,071台	100,416台			
満足度調査	目標値	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08	
⑨多様な市民の参画	移住サポートによる移住定着率	目標値	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		実績値	20.1%	24.7%			
	ふるさと寄附体験型返礼品寄附金比率	目標値	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		実績値	13.8%	50.4%			
	委員会、審議会等における女性登用率	目標値	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
		実績値	34.8%	35.1%			
満足度調査	目標値	3.11	3.11	3.11	3.11	3.11	
	実績値	3.11	2.92				

⑩持続可能な地域	区・自治会への加入率	目標値	87%	87%	87%	87%	87%
		実績値	82.2%	82.1%			
	外国籍市民相談窓口の年間相談件数	目標値	800件	800件	800件	800件	800件
		実績値	587件	533件			
	満足度調査	目標値	3.12	3.12	3.12	3.12	3.12
		実績値	3.12	3.01			
⑪健全財政	将来負担比率	目標値	76.0%	73.0%	70.0%	67.0%	64.0%
		実績値	56.5%	46.4%			
	財政調整基金・減債基金残高	目標値	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上	25億円以上
		実績値	31億円	34億円			
	公共施設の総延床面積における縮減率	目標値	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%
		実績値	7.0%	7.1%			
	満足度調査	目標値	2.96	2.96	2.96	2.96	2.96
		実績値	2.96	3.01			
⑫スマート化	市民向けオンライン手続き件数指標	目標値	150	200	300	400	500
		実績値	151	205			
	ICTツールの置換時間指標	目標値	200	400	600	800	1000
		実績値	310	630			
	満足度調査	目標値	3.16	3.16	3.16	3.16	3.16
		実績値	3.16	2.92			
⑬広域連携	諏訪広域連合が処理する事務数	目標値	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上	15件以上
		実績値	15件	15件			
	満足度調査	目標値	3.31	3.31	3.31	3.31	3.31
		実績値	3.31	3.24			